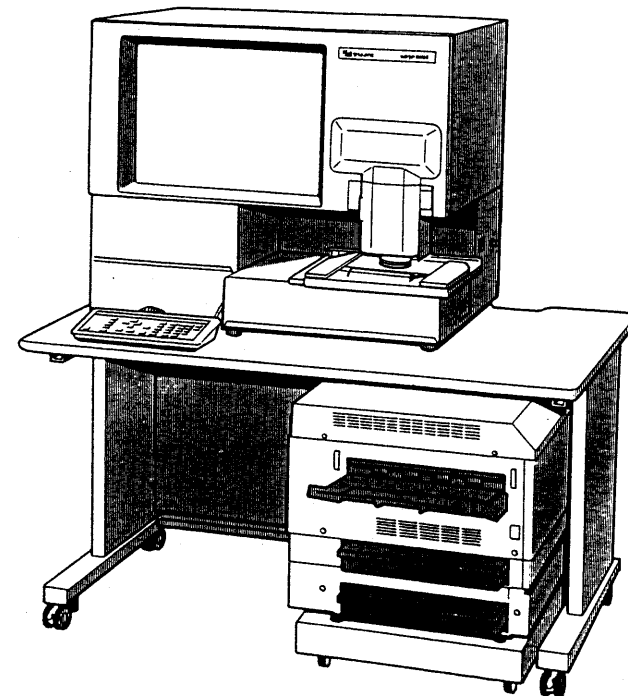




使い方

FUJIX デジタルイメージプリンター FDIP 6200



富士写真フイルム株式会社

東京都港区西麻布2-26-30 〒106

情報システム部

東京都港区西麻布2-26-30 〒106

大阪市中央区備後町3-5-11 〒541

札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 〒060

仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル 〒980

名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル 〒460

広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター 〒732

福岡市博多区住吉3-1-1 〒812

TEL 東京(03)3406-2245

TEL 大阪(06)205-6511

TEL 札幌(011)241-7168

TEL 仙台(022)265-2122

TEL 名古屋(052)203-5273

TEL 広島(082)256-3411

TEL 福岡(092)281-0261

053DC266A

はじめに

このたびはFDIP6200システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本システムを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本書で正しい使い方をご理解いただき、末長くご利用くださいますようお願い申し上げます。

なお、この「使い方」はFDIP6200本体とフィッシュユニットFU10について説明しています。レーザープリンターLP10、ロールユニットRU10、および16mmカートリッジユニットCU12、テンキーコントローラーTC12の取り扱い、それぞれに付属の「使い方」をご覧ください。

また、この「使い方」は操作中に知りたいことがあった時にすぐに見られるように、装置のそばの安全な場所に置いてください。

この装置は、第一種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用する、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

「使い方」に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

おもな特長	1
取り扱い上のご注意	2
1 各部の名称とはたらき	5
2 FDIP6200システムのあらまし	11
2.1 いろいろなコピーがとれます	12
2.2 システムのおおまかな操作	14
2.3 フィルム・フィルムユニットおよび投影レンズ	16
2.4 投影レンズの交換とフィルムユニットの交換	19
3 基本的な操作	21
3.1 電源のON	24
3.2 フィルムの挿入と画像の検索	26
3.3 ピント合わせと画像の位置調整	28
3.4 コピー	31
3.5 電源のOFF	33
4 こんなコピーがとれます	35
4.1 コピーの範囲と電子ズーム	36
4.2 拡大コピーをとる	42
4.3 縮小コピーをとる	43
4.4 部分的なコピーをとる	44
4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる	55
4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる	60
4.7 自動的に倍率を計算してコピーをとる	63
4.8 ページ連写コピーをとる	70
4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる	73
4.10 コピー用紙にコピーする位置を決める	80
4.11 白黒反転コピー・反転なしコピーをとる	82
4.12 コピー濃度をこまかく調整する	84
4.13 ファンクションキー（F1～F4）の使い方	87

目 次

5	使いこなしていただくために	91
5.1	組み合わせて使える機能一覧表	92
5.2	拡張機能の設定内容を見るときは	96
6	消耗品の取り扱い	97
6.1	消耗品の種類と取り扱い上のご注意	98
6.2	用紙のセット	99
6.3	トナーの補給とトナー回収ボックスの交換	101
6.4	投影ランプの交換	106
7	こんなときには	109
7.1	メッセージが表示されたとき	110
7.2	故障かなと思ったら	116
7.3	日常のお手入れ	118
8	設置と仕様	119
8.1	設置と準備	120
8.2	外形寸法・重量	122
8.3	電源	123
8.4	別売品	124
8.5	FDIP6000をお使いの方に	133
8.6	製品仕様	135

おもな特長

- あらゆるマイクロフィルムに対応するユニバーサルタイプリーダープリンター
簡単なユニット交換だけで、マイクロフィッシュ・アパーチュアカード・16mmカートリッジ、16mmおよび35mmロールフィルムなど、あらゆる種類に対応できるリーダープリンターです。
- 多機能コピーもワンタッチ操作
よく使う電子ズーム倍率、コピー濃度、コピー画質などをファンクションキーに登録しておけば、ワンタッチで呼び出すことができますので、複雑なキー操作がいらなくなります。
- 豊富なレンズ群であらゆる形態のマイクロフィルムに対応可能
7.5:1～50:1の単倍レンズ12種類、ズームレンズ（10:1～16:1、20:1～28:1、38:1～50:1）3種類およびプリズムユニットを用意。7.5:1～50:1まで幅広い倍率をカバーしています。またこのレンズ群と50～200%の拡大／縮小が可能な電子ズームと組み合わせることで倍率範囲はさらに大幅に広がります。
- デジタル化による多彩な画像編集・処理機能を内蔵
 - 高精度オートフォーカス機能
 - 拡大／縮小自由自在50～200%の電子ズーム
 - 自動ネガ／ポジ極性切り替え機能
 - マスキング、トリミング、自動黒枠消し機能
 - さらに高いコピー画質を得るために、標準、文字写真、写真、黒地の4つの画質モード・自動傾き補正機能
 - コピー用紙自動選択機能
- 見やすく目にやさしいA3スクリーンとLEDによるコピー範囲表示
画像編集機能で変化するコピー範囲をスクリーンの格子とLEDのランプで正確に合わせることができます。
- 高画質のA3サイズコピー
レーザープリンターLP10の400dpiの高密度画質でA3サイズまでのコピーを高画質でとることができます。また、2段カセット給紙ですから、2種類のコピー用紙サイズをキーボード上から選ぶことができます。
- 広範囲なニーズに応えるシステム拡張性
CAR検索、通信機能などニーズに応じてシステムを拡張することができます。

取り扱い上のご注意

この章にはFDIP6200を安全にお使いいただくために必要な注意事項が書かれています。
FDIP6200をお使いになる前にこの章の注意事項をよく読み、十分に理解してから取り扱うようにしてください。

安全にかかわる注意事項には、「**△警告**」および「**△注意**」のマークがついています。
また、操作上の注意事項には、「**△ご注意**」および「**△アドバイス**」のマークがついています。
それぞれの意味はつぎのとおりです。

△警告

この注意事項に従わないときは、人体に傷害が起こる可能性があります。

△注意

この注意事項に従わないときは、機械の破損などが起こる可能性があります。

△ご注意

操作上守るべきことが書かれています。

この注意事項に従わないときは、FDIP6200が動かないことがあります。

△アドバイス

覚えておくことが書かれています。

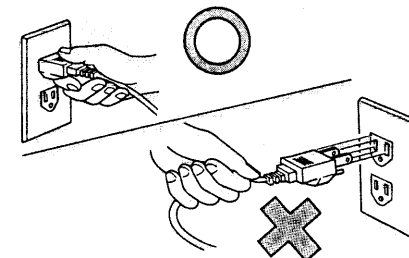
FDIP6200を使いこなすために、ぜひ知っておいてください。

取り扱い上のご注意

△警告

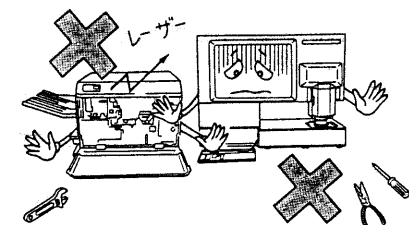
電源プラグやコネクターを抜き差しするときは、必ずつぎのことを守ってください。守らないと感電や故障のおそれがあります。

- ・電源スイッチをOFFにします。
- ・手で電源プラグまたはコネクターを持ち、コードを引っ張らないようにします。
- ・ぬれた手で行わないようにします。
- ・コネクターは、向きを合わせて接続します。また無理な力をかけないでください。



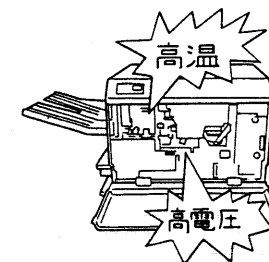
△警告

機械の部品を外したり、改造しないでください。ケガや故障の原因になります。
必要なときは、サービスマンにお問い合わせください。



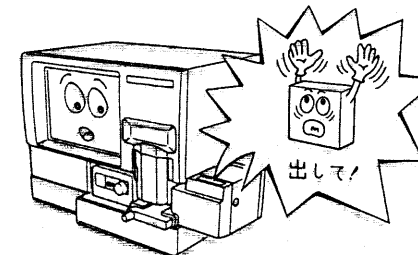
△警告

レーザープリンターLP10の機内には、高温部や高電圧のかかったところがあります。トナーの補給や内部点検のときは、十分に注意してください。
やけどや感電するおそれがあります。



△注意

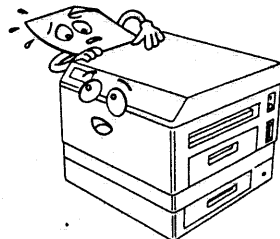
ロールユニットRU10および16mmカートリッジユニットCU12をお使いのときは、電源をOFFにするまえにフィルムを巻き戻して取り出してください。
また、退社時や長時間使わないとき、および停電のときは、必ず電源をOFFにしてください。



取り扱い上のご注意

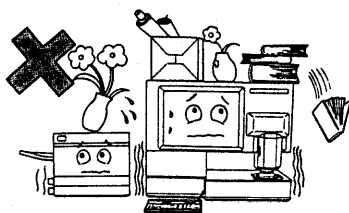
⚠ 注意

コピーしているときは、絶対にレーザープリンターLP10の電源をOFFにしないでください。故障の原因になります。



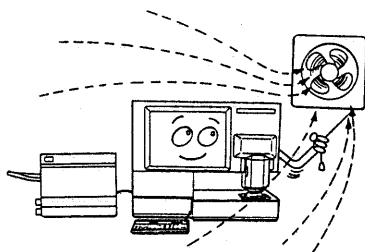
⚠ 注意

FDIP6200やレーザープリンターLP10の上に、重い本や花ピンを置かないでください。故障の原因になります。



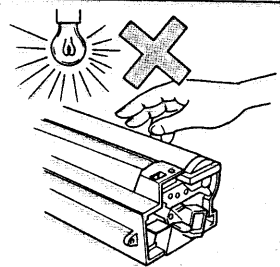
⚠ 注意

狭い部屋でお使いのときは、十分に換気をしてください。



⚠ 注意

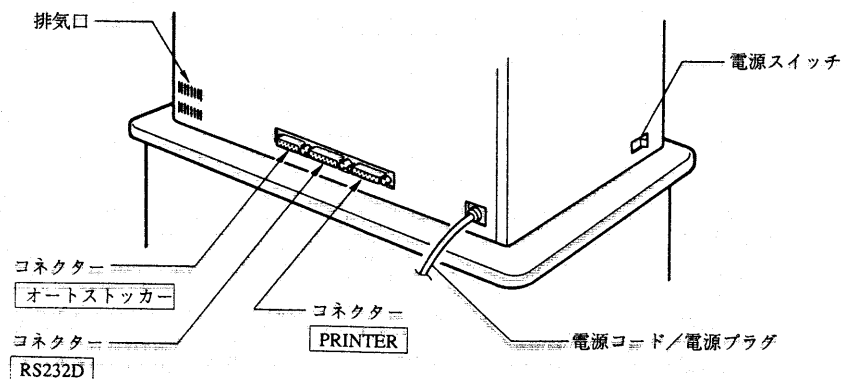
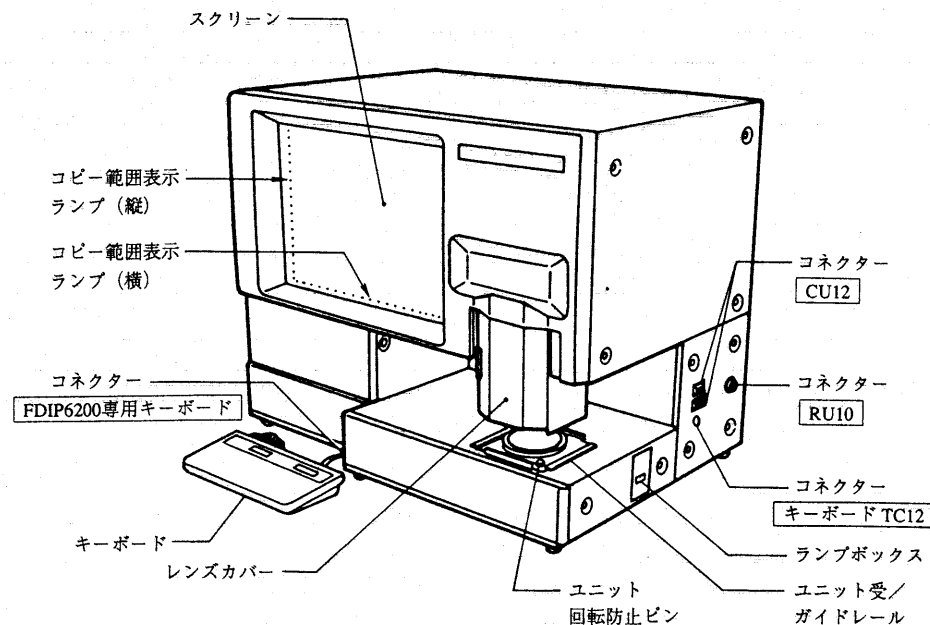
レーザープリンターLP10の感光体は、極めて光に敏感です。室内の光でも急激に性能がおとろえます。必要のないときは絶対に引き出さないでください。感光体の寿命が短くなります。



1 各部の名称とはたらき

この章では、FUJIXデジタルイメージプリンターFDIP6200の本体とキーボードの各部の名称を示し、そのはたらきを簡単に説明します。

1 各部の名称とはたらき



1 各部の名称とはたらき

- スクリーン
ここに画像が投影されます。1cm間隔の目盛はコピー範囲の目安にしてください。
- コピー範囲表示ランプ (縦)
縦のコピー範囲を点灯表示します。
- コピー範囲表示ランプ (横)
横のコピー範囲を点灯表示します。
- コネクタ— FDIP6200専用キーボード
キーボードのコネクタを差し込みます。
- キーボード
あらゆる操作をここでします。
くわしくはつぎのページ (P.8) をご覧ください。
- レンズカバー
投影レンズを交換するときに開けます。
- 排気口
投影ランプの熱を排気します。ふさがないように注意してください。
- コネクタ— オートストッカー
オートストッカー (別売品) 用のコネクタです。
- コネクタ— RS232D
CAR検索するときパソコンなどを接続するコネクタです。
- コネクタ— CU12
CU12のコネクタを接続します。
- コネクタ— RU10
RU10のコネクタを接続します。
- コネクタ— キーボード TC12
TC12のコネクタを接続します。
- ランプボックス
この中に投影ランプが取り付けられています。
- ユニット受／ガイドレール
各フィルムユニットをこのガイドレールに沿わせて取り付けます。
- ユニット回転防止ピン
CU12を取り付ける前にこのピンを差し込み、CU12が動かないようにします。
FU10またはRU10をお使いになるときは、このピンを上へ抜いてください。
- コネクタ— PRINTER
LP10のコネクタを接続します。
- 電源スイッチ
I: ON, O: OFFです
- 電源コード／電源プラグ

○印のコネクタは、別売品の16mmカ=トリッジユニットCU12を取り付けたときにあるコネクタです。

1 各部の名称とはたらき

キーボード

■濃度・倍率キー

つぎの機能进行操作するときに、このキーを押して選びます。キーを押すたびに「■ランプ」が切り替わります。

- ・コピー濃度を変えるとき
- ・電子ズーム倍率を変えるとき
- ・ズームレンズ倍率を変えるとき
- ・プリズムユニットを回すとき

各操作を選んだ後に移動／＋キーを押して操作します。

■コピー範囲移動キー

コピー範囲表示ランプを動かすときにこのキーを押して、「■ランプ」を点灯させます。

その後、移動／＋キーを押して動かしてください。

■拡張機能キー

つぎの機能进行操作するときにこのキーを押して選びます。キーを押すたびに「■ランプ」が切り替わります。

- ・黒枠を消してコピーするとき
- ・画像の傾きを自動で直してコピーするとき
- ・電子ズーム倍率を自動で計算させるとき
- ・ページ連写コピーをするとき
- ・A4サイズのコピー範囲位置を変えるとき
- ・画像をコピー用紙の端に寄せてコピーするとき
- ・投影レンズに合わせて照度を切り替えるとき
- ・フィルム画像に対して、コピー画像の極性をネガまたはポジに変えるとき
- ・AE機能を使わないで、手動でコピー濃度を変えるとき

■部分コピーキー

トリミングおよびマスキングの範囲を設定するときや実際にコピーするときにこのキーを押します。

「■部分コピー」ランプは、このキーを押して設定操作中のときに点灯します。

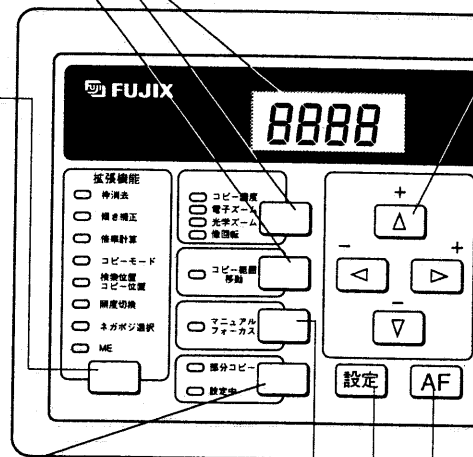
「■設定中」ランプは、実際にコピーするときに点灯させます。

■移動／＋キー

濃度・倍率キー、コピー範囲移動キーなどを押して操作する機能を選び、このキーを押すと数値やコピー範囲を変えることができます。

■濃度・倍率表示

コピー濃度・電子ズーム倍率、ズームレンズ倍率が数字で表示されます。くわしくは、つぎのページ (P.10) をご覧ください。



■マニュアルフォーカスキー

手でピントを合わせるときにこのキーを押して「■ランプ」を点灯させます。その後、移動／＋キーを押してピントを合わせてください。

■設定キー

トリミングおよびマスキングの範囲を設定するときの区切りや、数値を入力したあとに押します。拡張機能の各操作にも使います。

■AFキー

オートフォーカスキーです。押すと自動的にピントが合います。

1 各部の名称とはたらき

■コピー画質キー

コピーの画質を切り替えるときに押します。キーを押すたびに「■ランプ」が切り替わります。

標準：文章や図面などの画像をコピーするときに使います。

文字写真：文字と写真の混在する画像をコピーするときに使います。

写真：写真など、白黒の対照がおどやかなコピーをとるときに使います。

黒地：図版など黒ベタの多い画像をコピーするときに使います。

■表示パネル

用紙サイズ、コピー枚数、操作手順、メッセージなどを表示します。くわしくはつぎのページ (P.10) をご覧ください。

■数字キー

コピー枚数など、各種の数字 (値) を指定します。

■ランプキー

投影ランプを点灯または消灯するときに押します。

■トレイキー

プリンターのトレイ (コピー用紙) を選ぶときに押します。

■コピーキー

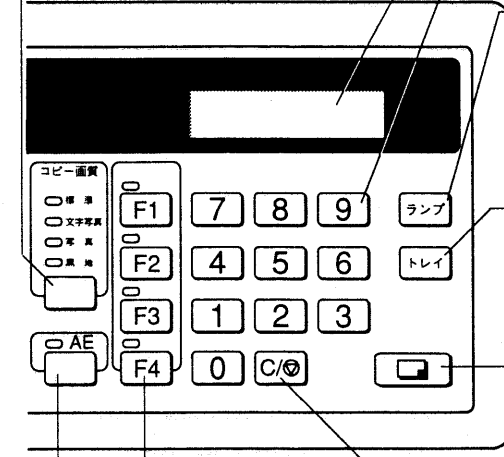
コピーをとるときに押します。

■クリア/ストップキー

数値の押しまちがえを取り消したり、コピーを中止するときに押します。各機能を設定中のときは、このキーを押すと1つ前の表示にもどることができます。

■ファンクションキー (F1~F4)

よくお使いになる機能を4つのキーに登録することができます。登録しておくと、このキーを押すだけで各機能呼び出すことができます。



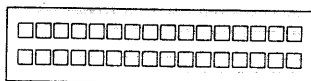
■AEキー

このキーを押して「■ランプ」を点灯させると機械が自動的にコピー濃度を調整します。

■ランプが消えているときは、濃度が一定に保たれます。

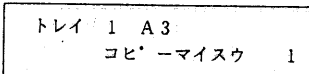
1 各部の名称とはたらき

表示パネル、濃度・倍率表示

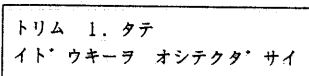


キーボードには、16文字×2行の表示パネルがあります。表示パネルには、コピー枚数や各機能を設定するときのメッセージなどが表示されます。

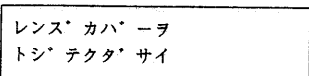
表示例



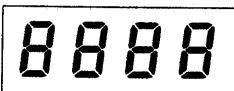
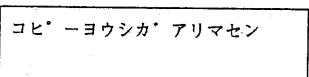
・基本画面
コピー用紙のサイズとコピー枚数が表示されます。



・各機能設定中画面

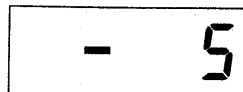


・メッセージ画面

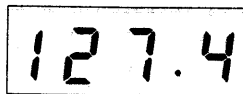


濃度・倍率表示は、4桁のデジタル表示です。コピー濃度、電子ズーム倍率、ズームレンズ倍率が表示されます。

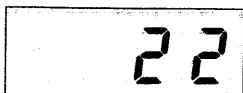
表示例



・コピー濃度表示
-20～20まで21段階表示します。
マイナスにするとコピーがうすくなり、プラスにすると濃くなります。



・電子ズーム倍率表示
50～200%の範囲で0.1%きざみでコピー倍率を表示します。



・光学ズーム倍率表示
ズームレンズを取り付けているときは、現在の倍率を表示することができます。

2 FDIP6200システムのあらまし

この章では、FDIP6200システムの多彩なコピー機能とその操作のあらまし、各フィルムに対応するフィルムユニット、および投影レンズについて説明します。

2.1	いろいろなコピーがとれます	12
2.2	システムのおおまかな操作	14
2.3	フィルム・フィルムユニット および投影レンズ	16
2.4	投影レンズの交換と フィルムユニットの交換	19

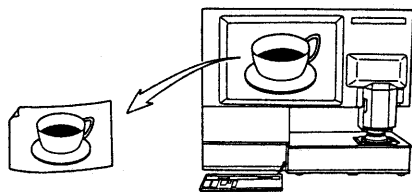
2.1 いろいろなコピーがとれます

FDIP6200システムとは、FDIP6200本体・フィルムユニット・投影レンズで構成されます。
この組み合わせで、スクリーンに投影された画像から、思いのままにコピーをとることができます。

この項では、FDIP6200システムで

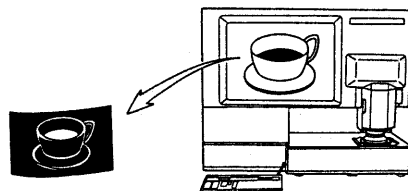
- ・どのようなコピーがとれるのか
 - ・コピーをとるには、機械をどのように操作すればよいのか
 - ・フィルム、フィルムユニット、投影レンズは、どのように組み合わせるとよいのか
- などについて簡単に説明しています。このシステムの操作を始める前に、参考にしてください。

● 通常コピー



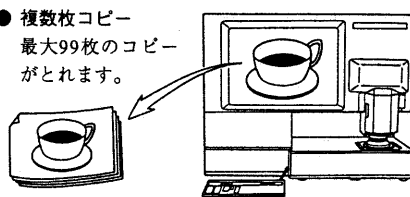
● ネガポジ反転コピー

ポジからポジのコピーもとれます。



● 複数枚コピー

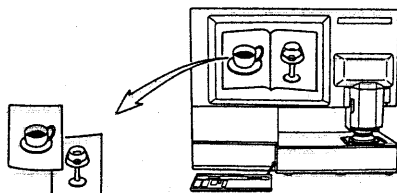
最大99枚のコピーがとれます。



- 別売品のCU12とTC12を取り付けると連続したページのコピーやプログラムコピーがとれます。

● ページ連写コピー

本のように見開きで撮影した画像から、左右それぞれ1ページずつのコピーがとれます。



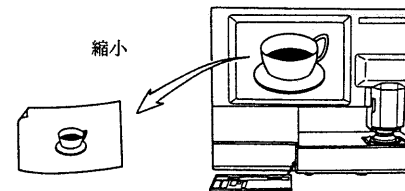
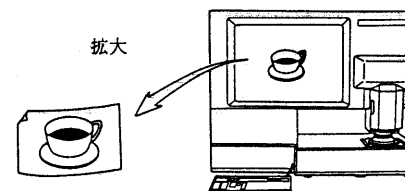
ご注意

ページ連写コピーは、A4サイズのコピー用紙しかできません。

2.1 いろいろなコピーがとれます

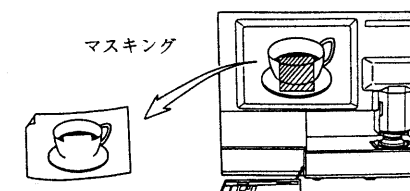
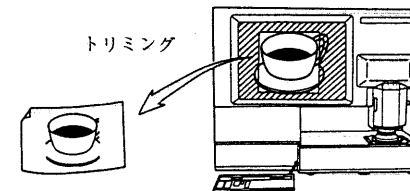
● 拡大・縮小コピー

50%から200%まで、0.1%きざみで倍率を変えてコピーがとれます。



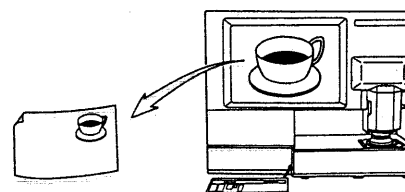
● トリミング・マスキングで部分的なコピー

トリミングした画像の一部をマスキングすることもできます。

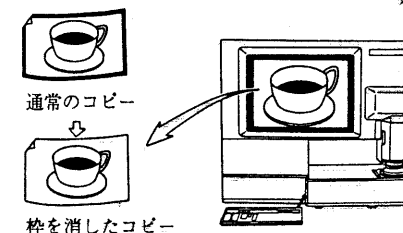


● コピーする位置を用紙に指定したコピー

コピー用紙上の8ヶ所に位置の指定ができます。



● 枠を消してコピー

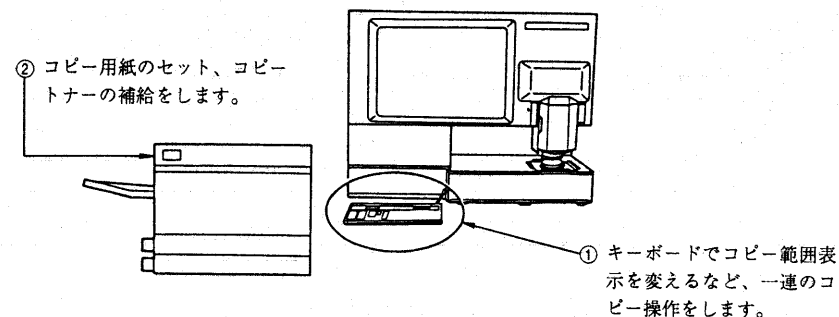


ご注意

ページを連写コピーをするときは、枠を消すことができません。

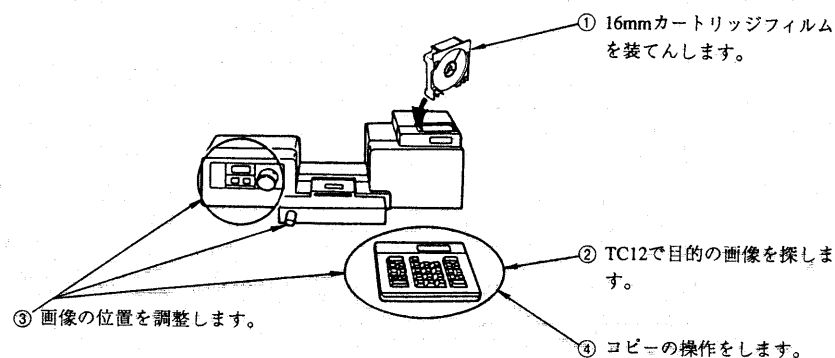
2.2 システムのおおまかな操作

■ FDIP6200の操作は



以上のように、画像の投影とピント合わせ、コピーなどの操作をします。

■ テンキーコントローラーTC12および16mmカートリッジユニットCU12の操作は

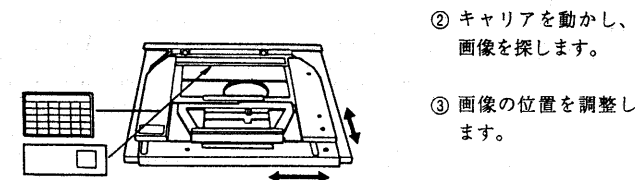


以上のように、16mmカートリッジフィルムを入れて目的の画像を探し、位置を合わせます。また、プログラムコピーなどのコピー操作をすることができます。

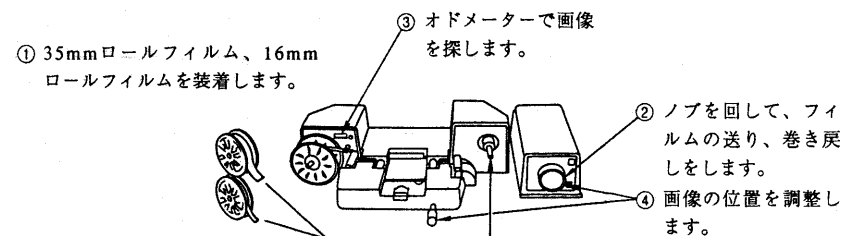
2.2 システムのおおまかな操作

■ フィッシュユニットFU10の操作は

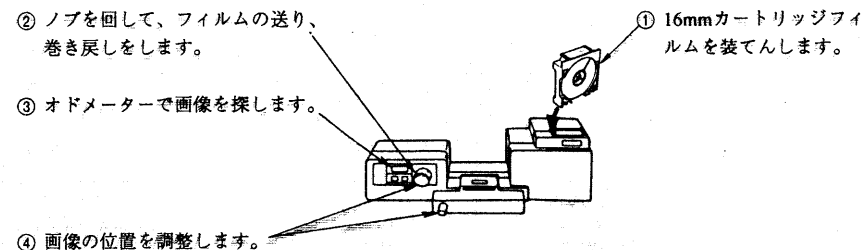
① マイクロフィッシュ、デパーチュアカードを挿入します。



■ ロールユニットRU10の操作は



■ 16mmカートリッジユニットCU12の操作は



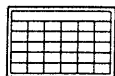
以上のように、フィッシュユニットFU10、ロールユニットRU10および16mmカートリッジユニットCU12は、フィルムを挿入して目的の画像を探し、位置を調整する操作をします。

2.3 フィルム・フィルムユニットおよび投影レンズ

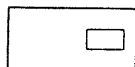
フィルムユニットは、お使いになるフィルムに合ったものを選びます。
また、投影レンズは右の表のレンズ群が用意されています。この表を参考にして、お使いになるフィルムに合ったレンズを選びます。

■ お使いになるフィルム

マイクロフィッシュ



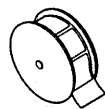
アパーチャカード



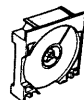
16mmロールフィルム



35mmロールフィルム

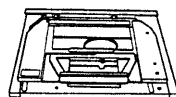


16mmカートリッジフィルム

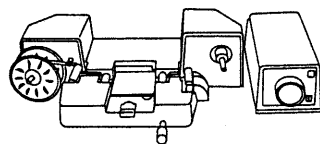


■ フィルムユニット

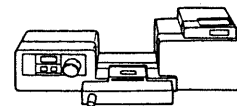
フィッシュユニットFU10



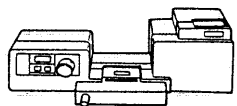
ロールユニットRU10



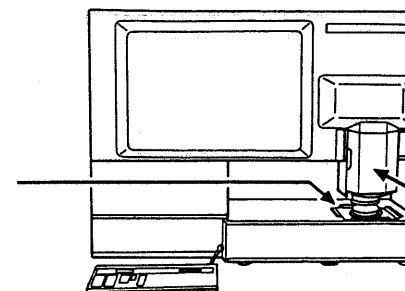
16mmカートリッジユニットCU12



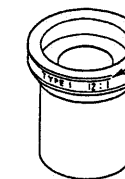
テンキーコントローラーTC12
および16mmカートリッジユニットCU12



2.3 フィルム・フィルムユニットおよび投影レンズ



■ 投影レンズ



倍率を表して
います
(図は12倍の
レンズです)

スクリーン画像の 大きさ		A3 サイズ	A4 サイズ	B4 サイズ	B5 サイズ
使用するフィルム					
マイクロフィッシュ	30 コマ	19:1	12:1	15:1	10:1
マイクロフィッシュ	60 コマ	25:1	19:1	22:1	15:1
マイクロフィッシュ	49 コマ	22:1	15:1	19:1	12:1
マイクロフィッシュ	98 コマ	29:1	22:1	24:1	19:1
COM フィッシュ	63 コマ	22:1	15:1	19:1	15:1
COM フィッシュ	208 コマ	44:1	29:1	39:1	25:1
COM フィッシュ	270 コマ	44:1	29:1	39:1	29:1
COM フィッシュ	325 コマ	50:1	39:1	44:1	29:1
COM フィッシュ	420 コマ	50:1	39:1	50:1	39:1
35mm ロールフィルム	フルサイズ	10:1	7.5:1	9:1	
35mm ロールフィルム	ハーフサイズ	12:1	10:1	12:1	7.5:1
16mm ロールフィルム	フルサイズ	19:1	15:1	15:1	12:1
16mm ロールフィルム	ハーフサイズ	25:1	19:1	22:1	15:1
ジャケットフィルム(25:1) (MICLE 1200, 2200)			25:1	25:1	
ジャケットフィルム(29:1) (MICLE 1201, 2201)			29:1	29:1	
アパーチャカード		10:1	7.5:1	9:1	

このほか、10:1~16:1、20:1~28:1、38:1~50:1のズームレンズ3種類も用意してあります。

で示されたレンズにはズームユニットを取り付けることができます。

2.3 フィルム・フィルムユニットおよび投影レンズ

ご注意

1. 前ページの表は、スクリーンに投影するレンズの倍率を、標準的なフィルムとの組み合わせで表しています。フィルム1コマの画像の大きさも、それぞれのフィルムにより多少異なる場合がありますので、くわしくは弊社営業担当者にお問い合わせください。
2. コピー時には、この画像を電子ズームで50%～200%に縮小・拡大できます。100%がスクリーンの画像そのままの大きさになります。
3. 16mmカートリッジユニットCU12をお使いになるときは、必ずプリズムユニットを取り付けてください。

⚠ 注意

レンズホルダーやズームレンズの歯車リングを絶対に手でまわさないでください。スイッチの破損など、故障の原因になります。

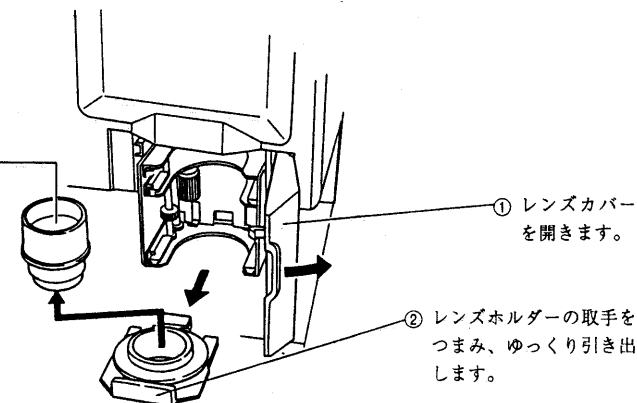
2.4 投影レンズの交換とフィルムユニットの交換

フィルムユニットを交換するときは、必ずレンズホルダーを外してから行ってください。

■ 投影レンズの交換

取り外し

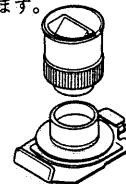
- ③ 投影レンズをまっすぐ上に抜きます。



取り付け

- ① 投影レンズをレンズホルダーに差し込みます。

プリズムユニットを使うときは、投影レンズの上に差し込みます。倍率が19:1以上のレンズに取り付けられます。



- ② レンズホルダーを差し込みます。

- ・ 倍率表示7.5:1～12:1の単倍レンズは上段に差し込みます。
- ・ 倍率表示が15:1～50:1の単倍レンズとズームレンズは下段に差し込みます。

- ④ レンズカバーを閉じます。

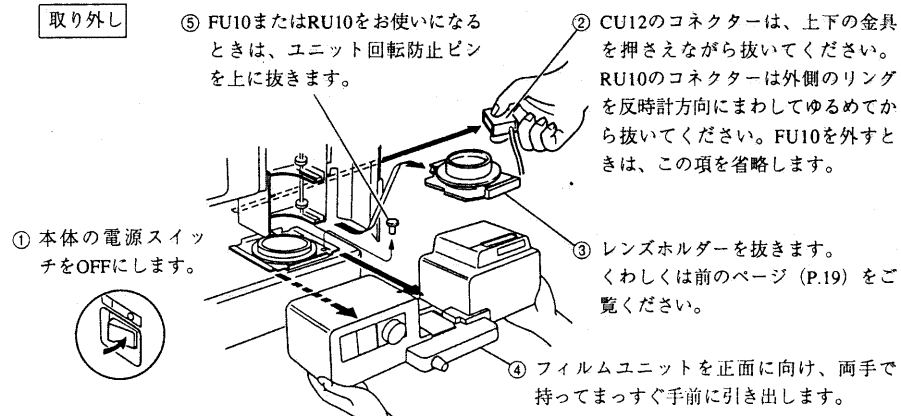
③ 差し込んで止まったら、もう一度強く押してください。位置が決まります。

ご注意

レンズカバーが開いていると、表示パネルに「レンズ' カバ' ー' ラ' ト' シ' テ' ク' タ' サ' イ」と表示されます。しっかり閉じて表示を消してください。

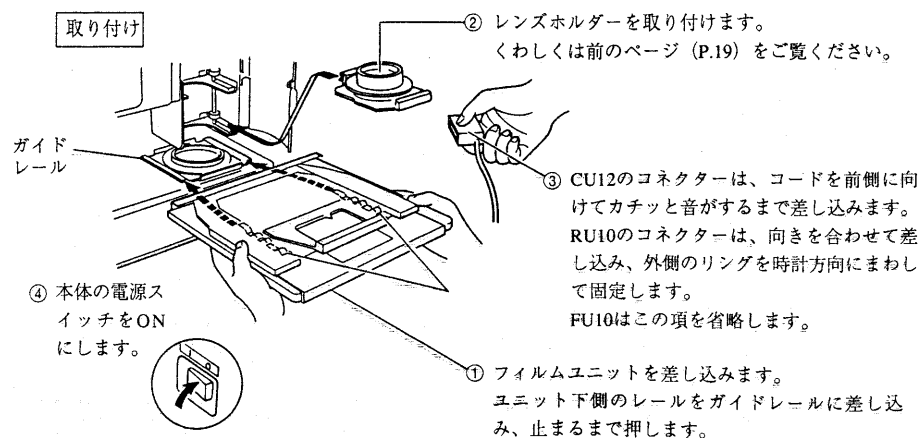
2.4 投影レンズの交換とフィルムユニットの交換

■ フィルムユニットの交換



△ 注意

1. ロールユニットRU10、16mmカートリッジユニットCUI2、テンキーコントローラーTC12を使っているときは、電源スイッチをOFFにする前にフィルムを巻き戻してください。
2. ユニットの接続されているコントローラーやキーボードを、落とさないよう注意してください。



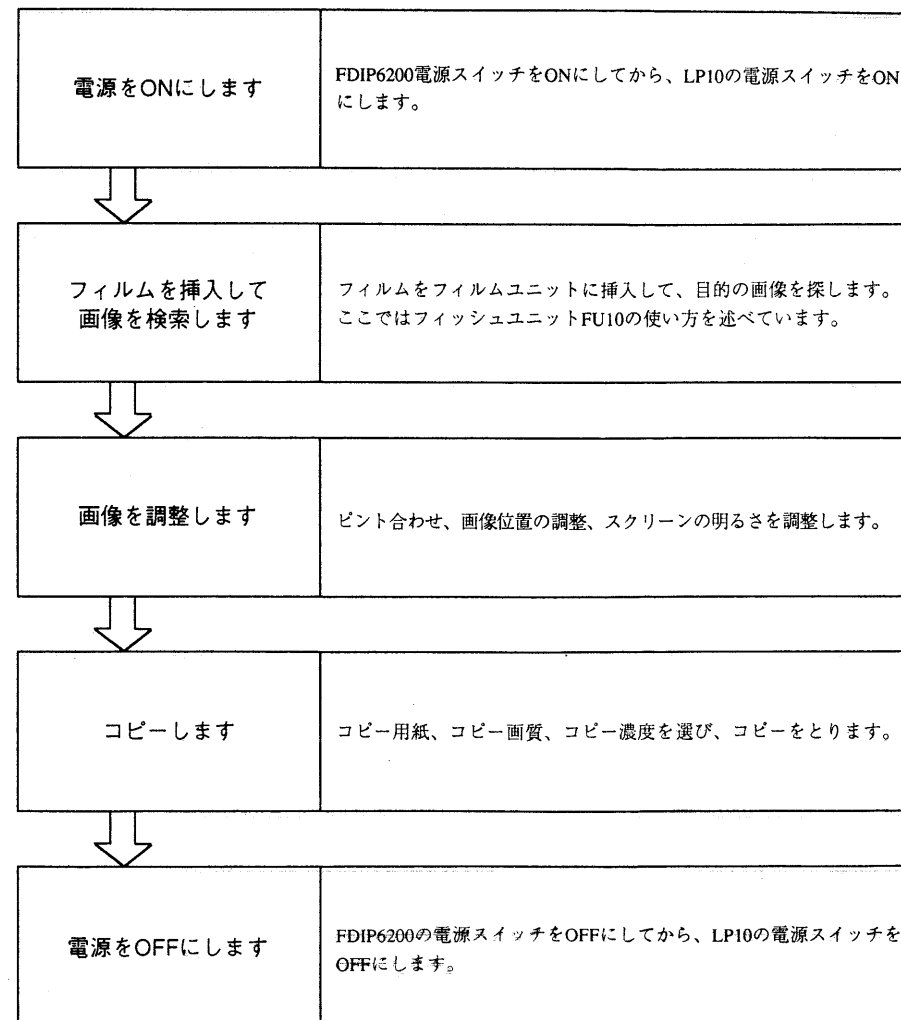
3 基本的な操作

この章では、電源のONから画像の検索やコピーまで、このシステムをお使いいただく上で最も基本的な流れに沿って説明します。簡単な操作でFDIP6200の多彩な機能をご利用いただけます。

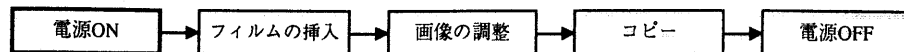
3.1 電源のON	24
3.2 フィルムの挿入と画像の検索	26
3.3 ピント合わせと画像の位置調整	28
3.4 コピー	30
3.5 電源のOFF	33

3 基本的な操作

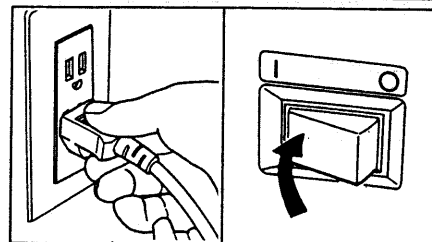
FDIP6200システムの操作の流れは次のとおりです



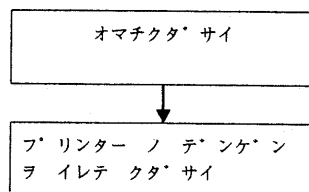
3.1 電源のON



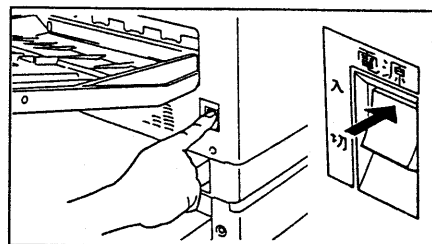
- 1 FDIP6200の電源スイッチをONにします。
電源プラグをコンセントに差し込み、左側面の電源スイッチをONにします。（「I」側に押します。）



表示パネルには「オマチクタ* サイ」が表示されます。
約3秒後表示パネルには「フ* リンター ノ テ* ンケ* ンラ イレテ クタ* サイ」が表示されます。



- 2 LP10の電源スイッチをONにします。
電源プラグをコンセントに差し込みLP10の左側面の電源スイッチをONにします。（「入」側に押します。）



- 表示パネルは「フ* リンター カ* シ* ユンビ* チュウ テ* ス オマチクタ* サイ」と表示されます。

フ* リンター カ* シ* ユンビ*
チュウ テ* ス オマチクタ* サイ

ご注意

長期間コピーをとらなかった場合は、コピーをとる前に、用紙カセット内にある用紙の上1~2枚を取り除いてください。
吸湿のため紙づまりになるおそれがあります。

3.1 電源のON

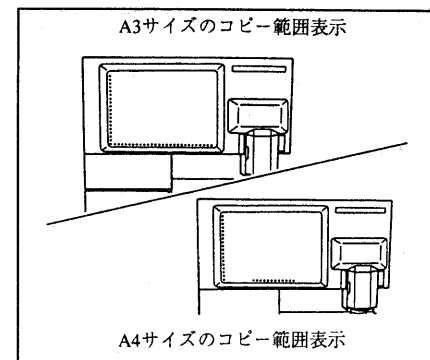
- 3 プリンターの準備が完了すると、スクリーン、キーボードは、次のような自動設定値が表示されます。

① スクリーン部

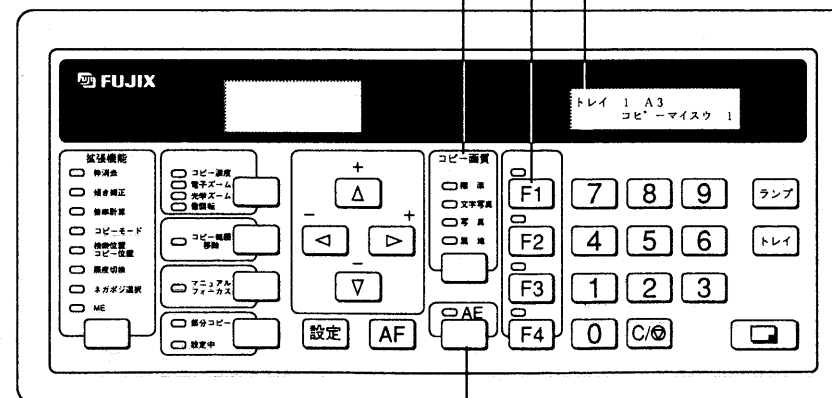
- スクリーンが明るくなります。
- LP10上側用紙カセットの用紙サイズに合わせてコピー範囲表示ランプが点灯します。

- ② キーボード（前回電源を切る前に使っていたF1~F4のいずれかの内容に応じて表示されます。）

表示される項目は、次の●印の項目です。

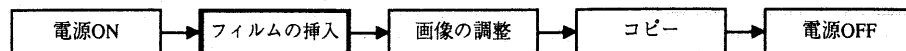


- ファンクションキー
 - コピー画質
- 表示パネルは、トレイ1の「用紙サイズ」とコピー枚数「1」を表示します。



- 「AE」ランプ

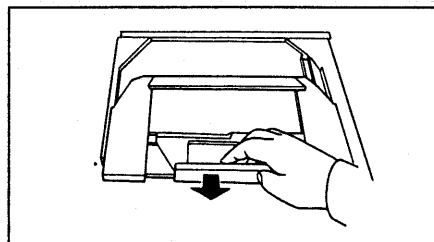
3.2 フィルムの挿入と画像の検索



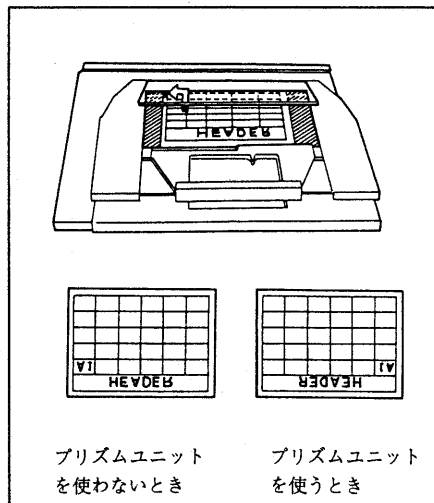
この項では、FU10のフィルム挿入について説明します。

RU10、およびCU12については、各ユニットに付属の「使い方」をご覧ください。

- 1 取手を手前に引き出します。
 圧着ガラスが開きます。
 取手を押すと圧着ガラスが閉じます。



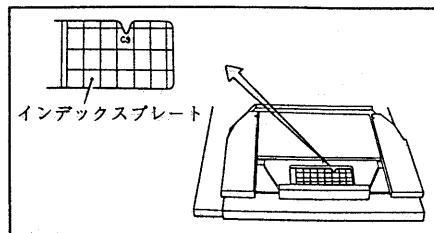
- 2 フィルムを挿入します。
 ① マイクロフィッシュ
 マイクロフィッシュは、ヘッダー部分 (HEADER) を手前にして裏返して挿入します。
 プリズムユニットを使っているときは、裏返さないで挿入します。
 ② アパーチャカード
 アパーチャカードは、画像の上を手前にして裏返して挿入します。



- 3 画像を探します。
 インデックスプレートのこまに、指標を合わせます。そのこまの画像がスクリーンに投影されます。

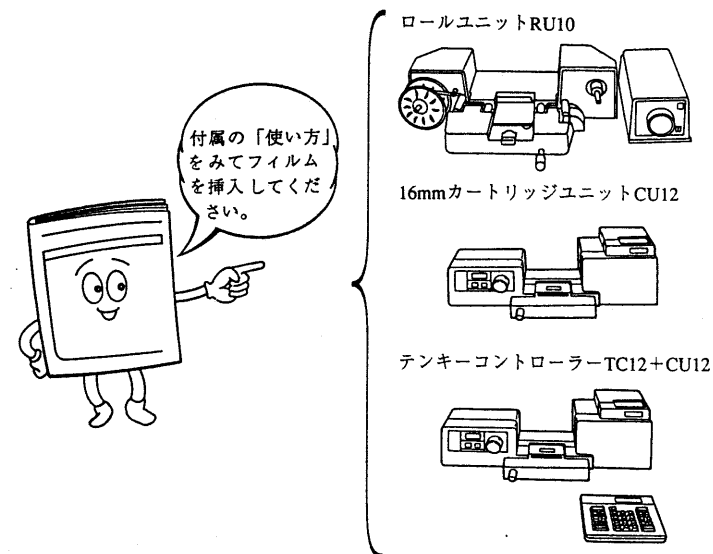
ご注意

インデックスプレートは、お使いになるマイクロフィッシュのこま数に合わせて交換してください。

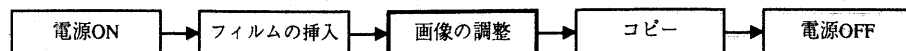


3.2 フィルムの挿入と画像の検索

* RU10、CU12のフィルムの挿入は各ユニットに付属の「使い方」をご覧ください。



3.3 ピント合わせと画像の位置調整



- 1 単倍レンズをお使いのときは、投影レンズに合わせてスクリーンの明るさを切り替えます。撮影レンズの倍率ラベルと同じ「TYPE」をキーボードから設定します。

ご注意

投影レンズを交換したときは必ずスクリーンの明るさを切り替えてください。ズームレンズは必要ありません。

- ① 拡張機能キーを押して「照度切換」ランプを点灯させます。
- ② 投影レンズの倍率ラベルと同じ「TYPE」を選び数字キーで指定します。
- ③ 設定キーを押して、「コピーマウス」の表示に戻します。

アドバイス

投影レンズの倍率と「TYPE」はつぎのようになっています。

倍率ラベル

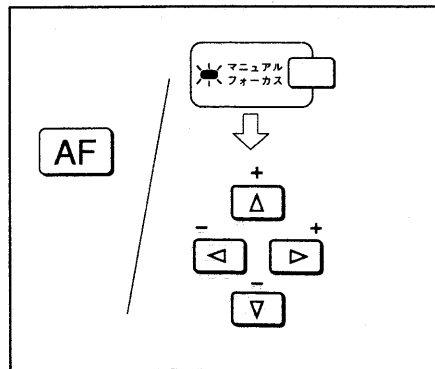
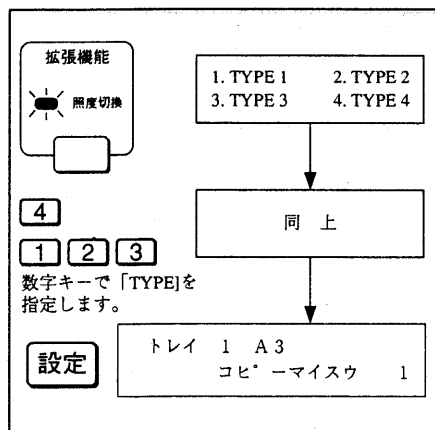
明るさ	ラベルの色	投影レンズの倍率
TYPE1	青	12:1、22:1以上の単倍レンズ
TYPE2	緑	10:1、19:1
TYPE3	黄	9:1、15:1
TYPE4	茶	7.5:1

- 2 ピントを合わせます。

- ① AFキーを押すと自動的にピントが合います。
- ② ピントが合わないときは、もう一度AFキーを押すか、マニュアルフォーカスキーを押してから移動/+-キーを押してピントを合わせます。

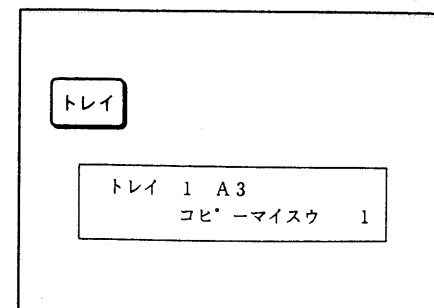
ご注意

フィルムの汚れが著しいとき、フィルムの画像が著しく濃いときまたは薄いとき、画像のコントラストが低いとき、画像が極めて細いときには、オートフォーカスが正しく働いていないことがあります。



3.3 ピント合わせと画像の位置調整

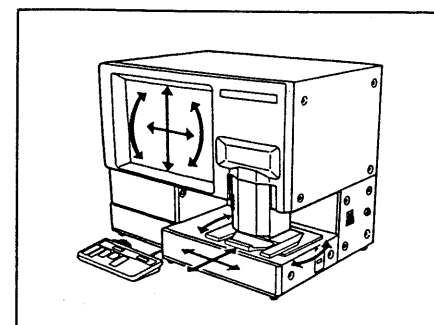
- 3 用紙サイズを確認します。表示パネルには、トレイの「用紙サイズ」と「コピーマウス1」が表示されています。
- ① トレイキーを押して、これからコピーする用紙サイズを選びます。
 - ② 用紙サイズに合わせて、コピー範囲表示ランプが自動的に点灯します。



- 4 スクリーンの画像の位置を調整します。
- 画像の傾きは、FU10を回して調整します。
 - 上下左右の位置は、取手を動かして縦横のコピー範囲内に入るように調整します。

ご注意

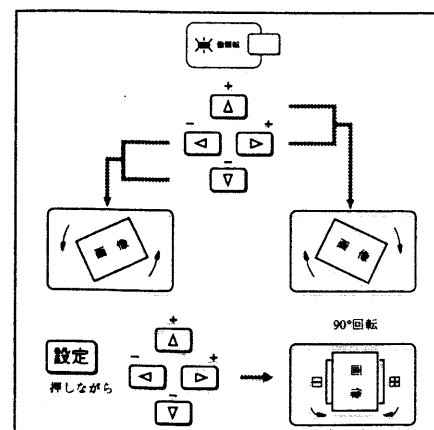
ユニット回転防止用ピンが取り付けられていると画像が傾きを調整することができません。20ページを参照して、ユニット回転防止ピンを上へ抜いてください。



- プリズムユニットやズームレンズを取り付けたときは、つぎのように調整してください。
- プリズムユニットを取り付けたとき
濃度・倍率キーを押して「像回転」ランプを点灯させてから、移動/+-キーを押して画像を回転させます。
プラスのキーを押すと画像が時計方向に回り、マイナスのキーを押すと反時計方向に回ります。

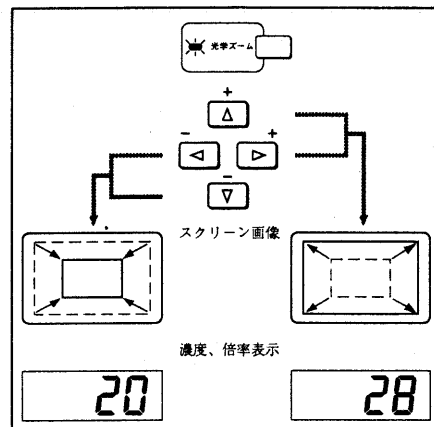
アドバイス

設定キーを押しながら移動/+-キーを押すと、画像を90°回すことができます。



3.3 ピント合わせと画像の位置調整

- ズームレンズを取り付けたとき
濃度・倍率キーを押して「光学ズーム」ランプを点灯させてから、移動／＋キーを押して倍率を変えます。
プラスのキーを押すと倍率が上がり、マイナスのキーを押すと倍率が低くなります。
また、現在の倍率が「濃度・倍率」表示に表示されます。



- ランプキーについて
投影ランプを長持ちさせるために、必要のないときは消しておきましょう
- ランプキーを押すと投影ランプが消灯します。

消灯のランプを点灯させるときは

ランプ キーをもう一度押す

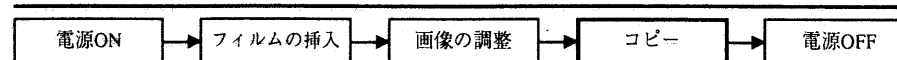
アドバイス

つぎの方法でも消灯しているランプを点灯させることができます。

- AF キーを押す
- コピーキーを押してコピーをとる

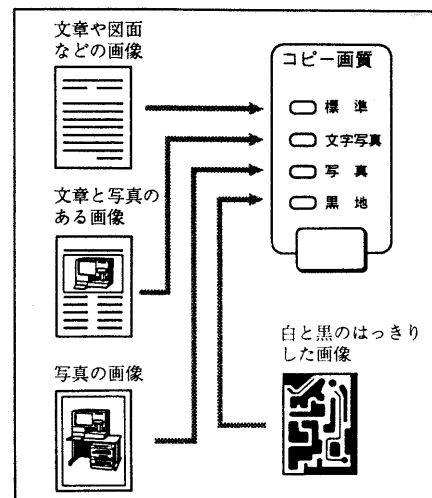
マニュアルフォーカスキーを押して移動／＋キーを押す。

3.4 コピー

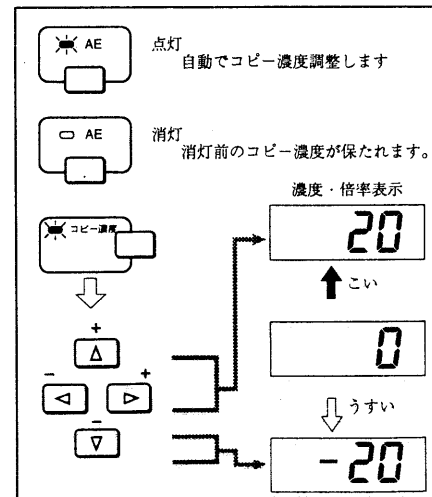


- きれいなコピーをとるために
スクリーンに投影された画像の状態によりつぎの調整をします。

- コピー画質を選びます。
 - ・ 文字だけの画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「標準」ランプを点灯させます。
 - ・ 文字と写真のある画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「文字写真」ランプを点灯させます。
 - ・ 写真など白黒の対象がおだやかな画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「写真」ランプを点灯させます。
 - ・ 白黒の対象がはっきりした画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「黒地」ランプを点灯させます。



- コピー濃度を合わせます。
 - ・ 「AE」ランプが点灯していることを確かめます。「AE」ランプが点灯していれば、コピーする画像ごとに自動でコピー濃度を調整してくれます。
 - ・ 「AE」ランプが消灯しているときは、直前の「AE」ランプ点灯時のコピー濃度が保持されます。(AEロック)
 - ・ 「AE」ランプ点灯／消灯どちらのときでも濃度・倍率キーを押して「コピー濃度」ランプを点灯させるとコピー濃度を変えることができます。
移動／＋キーを押して-20～20の範囲で好みのコピー濃度に設定してください。



- 電子ズームについて
この項では、選ばれたコピー用紙サイズに合わせて電子ズーム倍率「100.0」%でコピーをとることにします。
拡大・縮小コピーをするときは、「4. こんなコピーがとれます」P.35をご覧ください。

3.4 コピー

- 1 コピー枚数を確認めます。
表示パネルは「コピー・マイスウ1」が表示されています。
● 複数枚のコピーをとるときは、コピー枚数を数字キーで指定します。
99枚まで指定できます。

トレイ 1 A3
コピー・マイスウ 1

- 2 コピーキーを押します。
● 複数枚のコピーをとっているときは、1枚コピーするたびに、表示パネルの「コピー・マイスウ」の数字が減っていきます。



- コピーを中止するときは
 - コピーを中止するときは、クリア/ストップキーを押します。
 - 複数枚コピーのときは、残りのコピー枚数を表示して止まります。
複数枚コピーを再び開始するときはコピーキーを押してください。

ご注意

コピーを中止したときすでに、プリンターが次のコピーの準備に入っているときには白紙が出る場合があります。

コピー中止

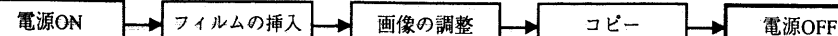


トレイ 1 A3 ストップ
コピー・マイスウ 1

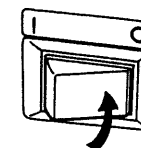
再びコピー開始



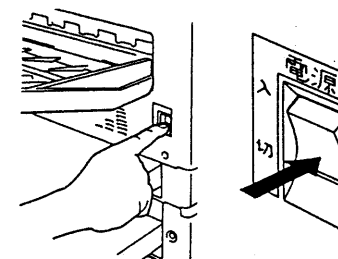
3.5 電源のOFF



- 1 FDIP6200の電源スイッチをOFFにします。
● 左側面の電源スイッチをOFFにします。
(「O」側に押します。)



- 2 LP10の電源をOFFにします。
● LP10の左側の電源スイッチをOFFにします。
(「切」側に押します。)



- 3 電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

コピートレイに、最後のコピーが排出されたのを確かめてから電源スイッチをOFFにしてください。
RU10、CU12、TC12をお使いのときは、フィルムを巻き戻して取り出してください。

これで、電源ONから電源OFFまで一通りの操作が終わりました。簡単な機械であることがおわかりいただけたでしょうか。

ここで行った操作方法は、FDIP6200システムの特機能の基本です。

さらに高度な機能については、「4. こんなコピーがとれます」から「5. 使いこなしていただくために」をあわせてご覧いただき、FDIP6200の全機能をフルにご活用ください。

4 こんなコピーがとれます

この章では、この機械がもつ各機能ごとのコピー方法について説明します。

便利な機能を満載しています。FDIP6200を有効に使うためにも、必ずお読みください。

4.1 コピーの範囲と電子ズーム	36
4.2 拡大コピーをとる	42
4.3 縮小コピーをとる	43
4.4 部分的なコピーをとる	44
① トリミング	44
② マスキング	48
③ 部分コピーの消去	52
4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる	55
4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる	60
4.7 自動的に倍率を計算してコピーをとる	63
4.8 ページ連写コピーをとる	70
4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる	73
4.10 コピー用紙にコピーする位置を決める	80
4.11 白黒反転コピー、反転なしコピーをとる	82
4.12 コピー濃度をこまかく調整する	84
4.13 ファンクションキー (F1～F4) の使い方	87

4.1 コピーの範囲と電子ズーム

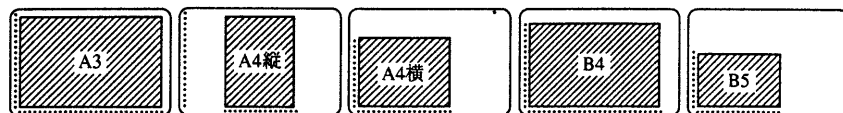
「3. 基本的な操作」では、電子ズーム倍率「100.0%」でコピーをとりました。

「100.0%」とは、スクリーンの画像そのままの大きさでコピーできることを表しています。

ここでは、本機がもつ機能別のコピー操作について記載してあります。どんなコピーをとるときでも「コピー範囲表示ランプ」と「電子ズーム倍率」が関連してきますので、操作の前にお読みください。

■ コピー範囲とは

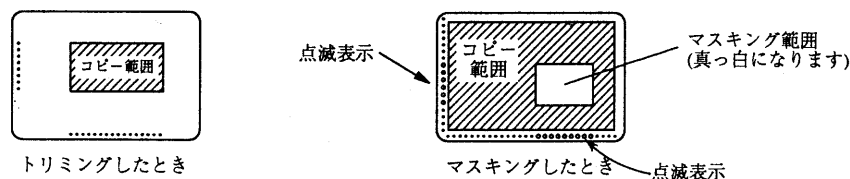
- 点灯しているコピー範囲表示ランプの縦と横が交差した部分、これがコピーの範囲です。
- コピー範囲表示ランプは、選ばれているコピー用紙の大きさに合わせて点灯します。



■部がコピー範囲になります。

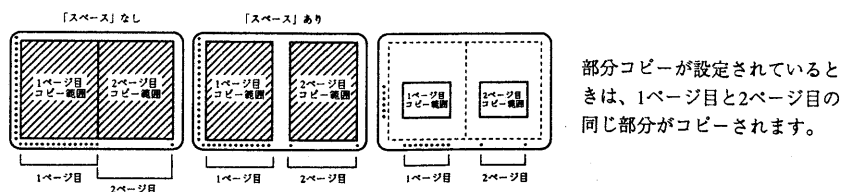
■ 部分コピーを設定したときのコピー範囲は

- トリミングすると、コピー範囲表示ランプが連続して点灯します。
- マスキングすると、その部分のコピー範囲表示ランプは連続して点滅します。



■ ページ連写を設定したときのコピー範囲は

- 縦の範囲は1ページ目と2ページ目にあてはまり、コピー範囲表示ランプは連続して点灯します。
- 横の範囲は、1ページ目が連続して点灯します。2ページ目は右端を示すランプが1個だけ点灯します。
- ページ連写コピーで「スペース」を選ぶと1ページ目と2ページ目のコピー範囲表示ランプがはなれて点灯します。
- 部分コピーでページ連写を設定したときは、2ページ目の両端を示すランプが点灯します。

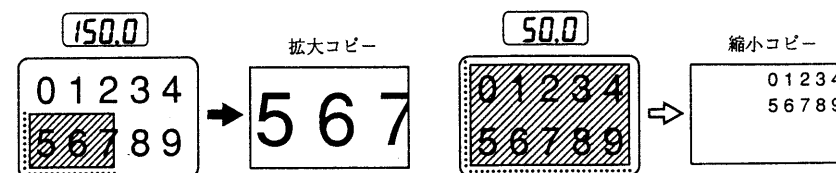


部分コピーが設定されているときは、1ページ目と2ページ目の同じ部分がコピーされます。

4.1 コピーの範囲と電子ズーム

■ 電子ズーム倍率を変えるとコピー範囲は

- 倍率を高くするとコピー範囲は小さくなります。低くすると大きくなります。
- この範囲が拡大または縮小コピーされます。



* コピー位置の設定が「右上寄せ」のとき

■ ご注意

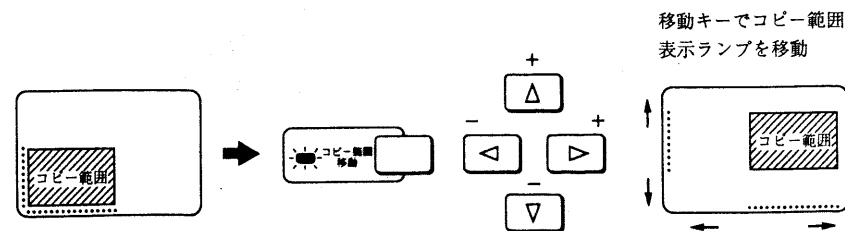
- 倍率を低くするとコピー範囲は広がりますが、スクリーンより外の画像はコピーできません。
- 部分コピーが設定されているときは、部分コピーの範囲が用紙サイズを越えない大きさまで拡大できます。
- ページ連写コピーが設定されているときは、2ページ目のコピー範囲がスクリーンからはみださない倍率まで縮小できます。

■ 部分コピーの範囲と電子ズーム

- 選ばれているコピー用紙サイズよりも、部分コピーの範囲が大きく設定されているときは、部分コピーキーを押して「設定中」ランプを点灯させると、コピー用紙サイズを越えない倍率まで、電子ズーム倍率を自動的に低くします。

■ コピー範囲表示ランプの移動は

- 「トレイ_A_コピーマウス」が表示されているときに、コピー範囲移動キーを押して「コピー範囲移動」ランプを点灯させて、移動/＋キーで縦、横を別々に移動することができます。ただし、移動できる範囲は、スクリーン枠内に限られます。

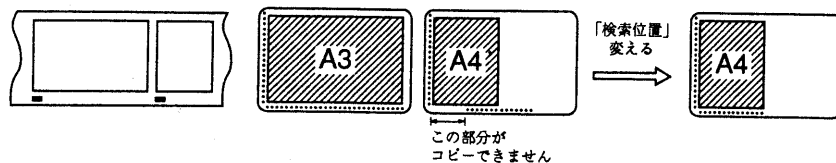


4.1 コピーの範囲と電子ズーム

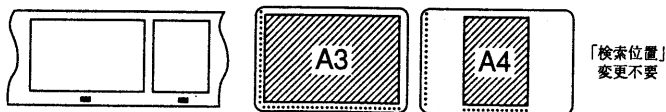
■ 検索位置を変えるとき

- 電源スイッチをONにすると、A4サイズ横方向のコピー範囲は、「センター」に表示されます（工場出荷時）。テンキーコントローラーTC12をお使いのときに、フィルムの検索位置に合わせて「検索位置」を変えておくとう便利です。

ブリップが左下のフィルム 画像の停止位置とコピー範囲



ブリップが中央下のフィルム



A4サイズの「検索位置」を左に変更してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 拡張機能キーを押して、「検索位置・コピー位置」ランプを点灯させます。	拡張機能 コピーモード 検索位置 コピー位置 照度切換	1. ケンサクイチ 2. コピーイチ
2 数字キーの「1」を押して、「1. ケンサクイチ」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	前回設定した番号が点滅します ケンサクイチ 1. ヒタリ 2. センター 3. ミキ

4.1 コピーの範囲と電子ズーム

操 作	キ ー	表示パネル
3 数字キーの「1」を押して、「1. ヒタリ」を選びます。 横のコピー範囲表示ランプが「左」に点灯します。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	1. ケンサクイチ 2. コピーイチ
4 設定キーを押して、「コピーマウス」の表示に戻します。	設定	トレイ 2 A4 コピーマウス 1

アドバイス

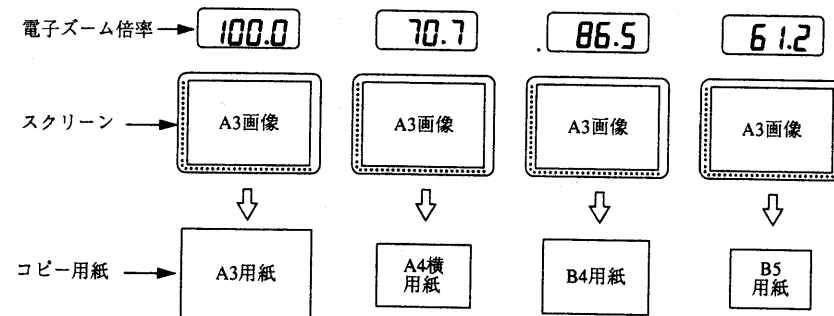
検索位置を変えたあとは、ファンクションキー（F1～F4）のいずれかに自動設定値として設定しておくとう良いでしょう。
設定しておけば、ファンクションキーを押しただけで検索位置が変更できます。

4.1 コピーの範囲と電子ズーム

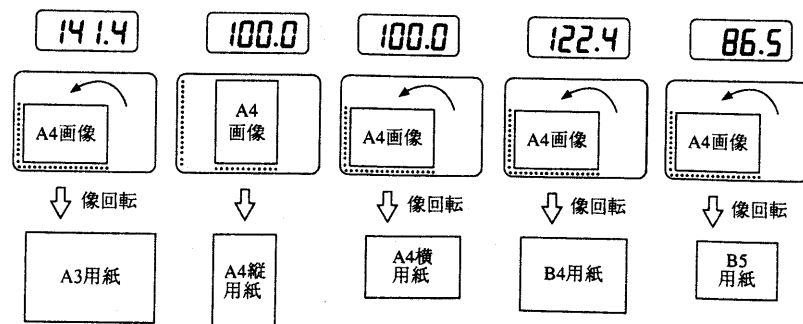
■ 画像のサイズと用紙のサイズについてアドバイス

スクリーンの画像を電子ズームで拡大・縮小して、コピー用紙の大きさに合わせてコピーするときの電子ズーム倍率は、つぎようになります。

● 画像サイズA3のとき

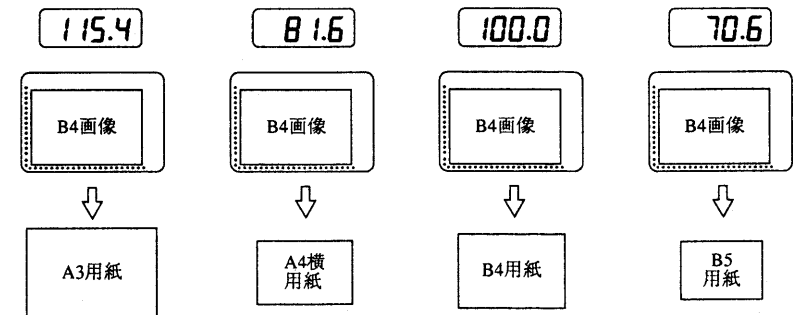


● 画像サイズA4のとき

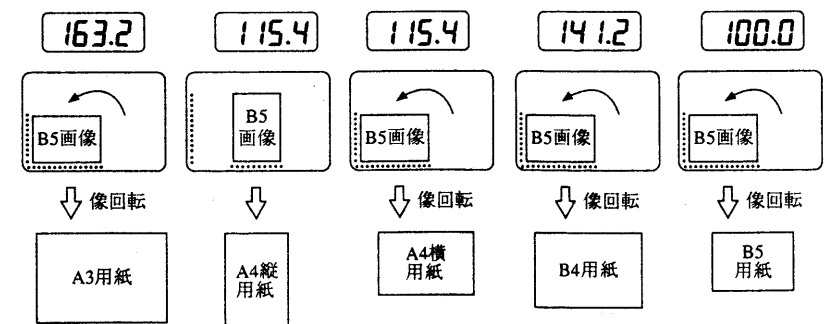


4.1 コピーの範囲と電子ズーム

● 画像サイズB4のとき

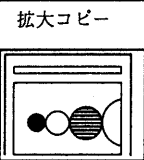
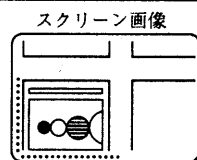


● 画像サイズB5のとき



4.2 拡大コピーをとる

スクリーンに投影された画像を、電子ズームで200%（縦横共2倍）の大きさまで拡大することができます。倍率を高くすると、コピー範囲は小さくなります。この範囲の拡大コピーがとれます。

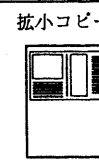
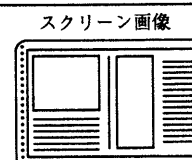


150%に拡大してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 トレイキーを押して、コピー用紙を選びます。	トレイ	トレイ 1 A3 コピーマウス 1
2 濃度・倍率キーを押して、「電子ズーム」ランプを点灯させます。 移動／＋キーを押して、電子ズーム倍率を150%にします。 倍率を高くすると、スクリーンのコピー範囲は小さくなっていきます。 この範囲が150%に拡大されます。		
3 拡大コピーする画像をコピー範囲に入れます。 FU10をお使いのときは、取手を操作してコピー範囲に画像を移動します。 他のユニットをお使いのときは、コピー範囲移動キーを押した後に移動／＋キーを押して、画像の位置へコピー範囲表示ランプを移動します。		
4 コピーキーを押します。		

4.3 縮小コピーをとる

スクリーンに投影された画像を、電子ズームで50%（縦横共1/2）の大きさまで縮小することができます。倍率を低くすると、コピー範囲は大きくなります。この範囲の縮小コピーがとれます。



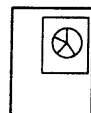
50%に縮小してコピーしてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 トレイキーを押して、コピー用紙を選びます。	トレイ	トレイ 2 A4 コピーマウス 1
2 濃度・倍率キーを押して、「電子ズーム」ランプを点灯させます。 移動／＋キーを押して、電子ズーム倍率を50%にします。 倍率を低くすると、スクリーンのコピー範囲は大きくなっていきます。 この範囲が50%に縮小されます。		
3 縮小コピーする画像をコピー範囲に入れます。 FU10をお使いのときは、取手を操作してコピー範囲に画像を移動します。 他のユニットをお使いのときは、コピー範囲移動キーを押した後に移動／＋キーを押して、画像の位置へコピー範囲表示ランプを移動します。		
4 コピーキーを押します。		

4.4 部分的なコピーをとる

① トリミング

スクリーンに投影された画像から、必要な部分だけを選び出してコピーをとることができます。この方法を「トリミング」といいます。



設定したコピー範囲だけがコピーされます。

*コピー位置の設定が「右上寄せ」のとき

トリミングの範囲を設定しましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 部分コピーキーを押して「部分コピー」ランプを点灯させます。 すでに部分コピーの範囲が設定されているときは、コピー範囲表示ランプが点灯または点滅します。部分コピーが設定されていないときは、用紙サイズのコピー範囲表示ランプが点灯します。	部分コピー 設定中	部分コピー 設定なし 部分コピー 設定あり
2 数字キーの「3」を押して、「3. セッテイ」を選びます。 表示パネルは右のようになります。ここでトリミングの縦、横いずれかを選びます。		トリム 1. タテ 2. ヨコ マスク 3. タテ 4. ヨコ

4.4 部分的なコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
3 縦方向のトリミングを実施します。 数字キーの「1」を押して、トリミングの縦方向のコピー範囲を選びます。 スクリーンには、縦方向の基準ランプが一番下に点灯します。		トリム 1. タテ カイシ イト* ウキーヲ オンテクト* サイ
4 移動/＋キーを押して基準ランプをトリミング開始位置に合わせます。		基準ランプ
5 設定キーを押します。 これで縦方向のトリミング開始位置が決まります。		トリム 1. タテ オワリ イト* ウキーヲ オンテクト* サイ
6 移動/＋キーを押して、トリミングする画像の範囲を指定します。 指定した部分は、コピー範囲表示ランプが連続的に点灯していきます。		縦のトリミング範囲
7 コピー範囲を設定した後、設定キーを押します。 これで縦方向のトリミングの範囲が設定されました。		トリム 1. カイシ 2. キョク 3. セッテイ

4.4 部分的なコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
8 横方向のトリミングを実施します。 数字キーの「3」を押して、「3. セッティ」を選びます。 表示パネルは、右のようになります。 こんどは、トリミングの横を選びます。		
9 数字キーの「2」を押してトリミングの横方向のコピー範囲を選びます。 スクリーンには、横方向の基準ランプが一番左に点灯します。		
10 移動/＋キーを押して基準ランプをトリミング開始位置に合わせます。		
11 設定キーを押します。 これで横方向のトリミング開始位置が決まります。		
12 移動/＋キーを押して、トリミングする画像の範囲を指定します。 指定した部分は、コピー範囲表示ランプが連続的に点灯していきます。		

4.4 部分的なコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
13 トリミング範囲を指定した後、設定キーを押します。 これで横方向の範囲が設定されました。 ご注意 ここでクリア/ストップキーを押すといままで設定してきた部分コピーの範囲が消えてしまいますので注意してください。		
14 数字キーの「1」を押して「1. カイシ」を選びます。 これで縦、横のトリミング範囲が決まりました。 部分コピーキーの「設定中」ランプが点灯します。		
15 コピーキーを押します。 指定した範囲の画像がコピーされます。		

ご注意
操作6と12で、トリミング設定した範囲が用紙サイズよりも大きいときは、自動的に電子ズーム倍率が低くなります。
このときトリミング範囲を小さく戻しても、電子ズーム倍率は高くなりません。

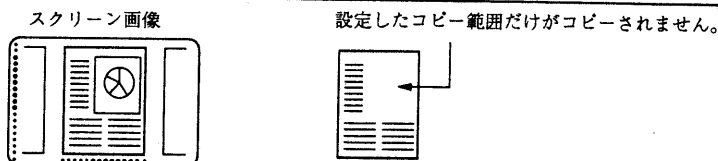
アドバイス

- 操作14で数字キーの「2」を押して、「2. キオク」を選べば部分コピーの範囲をおぼえさせることができます。
コピー範囲表示は、部分コピー設定前の表示に戻ります。
部分コピーが必要なときは、部分コピーキーを押して、「1. カイシ」を選べば記憶していた部分コピーを呼び出し、コピーすることができます。
- 記憶していた部分コピーは、つぎの操作をするまで保持されます。
 - ① 電源スイッチをOFFにしたとき
 - ② 次の部分コピーを設定したとき
 - ③ ファンクションキー (F1～F4) を押したとき
- トリミングの設定は、縦/横どちらか一方の設定だけでもかまいません。

4.4 部分的なコピーをとる

② マスキング

スクリーンに投影された画像から、不要な部分を消してコピーをとることができます。
この方法を「マスキング」といいます。



ご注意

マスキングの設定は、トリミング設定範囲および用紙サイズの範囲で行えません。
また、マスキングの設定は、必ず縦／横両方向の設定が必要です。

マスキングの範囲を設定してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 部分コピーキーを押して、「部分コピー」ランプを点灯させます。 まず、画像の必要な部分をトリミングします。 (①トリミング、44ページを参照してトリミングしてください。) トリミングをしないときは用紙サイズのコピー範囲のままでかまいません。		1. カイシ 2. キオク 3. セッティ 画像の必要な部分をトリミングします。

2 数字キーの「3」を押して、「3. セッティ」を選びます。 表示パネルは右のようになります。 ここでマスキングの縦、横いずれかを選びます。		トリム 1. タテ 2. ヨコ マスク 3. タテ 4. ヨコ
---	--	--

4.4 部分的なコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
3 縦方向のマスキングを実施します。 数字キーの「3」を押して、マスキングの縦方向のコピー範囲を選びます。 スクリーンには、縦方向の基準ランプが一番下に点滅します。		マスク 3. タテ カイシ イト・ウキーヲ オシテクタ・サイ
4 移動／＋キーを押して基準ランプをマスキング開始位置に合わせます。		基準ランプ
5 設定キーを押します。 これで縦方向のマスキング開始位置が決まります。		マスク 3. タテ オワリ イト・ウキーヲ オシテクタ・サイ
6 移動／＋キーを押して、マスキングする画像の範囲を指定します。 指定した部分は、コピー範囲表示ランプが連続的に点滅していきます。		縦のマスキング範囲
7 マスキング範囲を指定した後、設定キーを押します。 これで縦方向のマスキングの範囲が設定されました。		1. カイシ 2. キオク 3. セッティ

4.4 部分的なコピーをとる

操作	キー	表示パネルとコピー範囲表示
8 横方向のマスキング設定をします。 数字キーの「3」を押して、「3. セッティ」を選びます。 表示パネルは、右のようになります。 こんどは、マスキングの横を選びます。		トリム 1. タテ 2. ヨコ マスク 3. タテ 4. ヨコ
9 数字キーの「4」を押して、マスキングの横方向のコピー範囲を選びます。 スクリーンには、横方向の基準ランプが一番左に点滅します。		 マスク 4. ヨコ カイシ イト* ウキーラ オシテクタ* サイ
10 移動/+-キーを押して基準ランプをマスキング開始位置に合わせます。		 基準ランプ
11 設定キーを押します。 これで横方向のマスキング開始位置が決まります。		マスク 4. ヨコ オワリ イト* ウキーラ オシテクタ* サイ
12 移動/+-キーを押してマスキングする画像の範囲を指定します。 指定した部分は、コピー範囲表示ランプが連続的に点滅していきます。		 横のマスキング範囲

4.4 部分的なコピーをとる

操作	キー	表示パネルとコピー範囲表示
13 マスキング範囲を指定した後、設定キーを押します。 これで横方向の範囲が設定されました。 ご注意 ここでクリア/ストップキーを押すといままで設定してきた部分コピーの範囲が消えてしまいますので注意してください。		1. カイシ 2. キオク 3. セッティ
14 数字キーの「1」を押して「1. カイシ」を選びます。 これで縦、横のマスキング範囲が決まりました。 部分コピーキーの「設定中」ランプが点灯します。		 トレイ 2 A4 コピ°ーマイスウ 1
15 コピーキーを押します。 スクリーンに表示されている画像のうち、指定した範囲がマスキングされてコピーされます。		

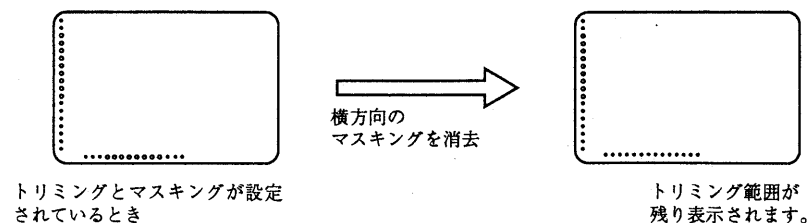
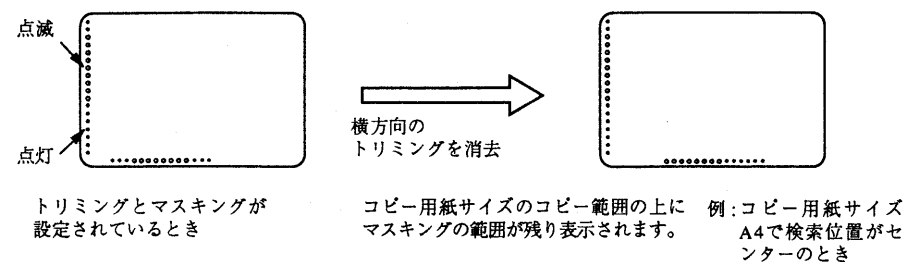
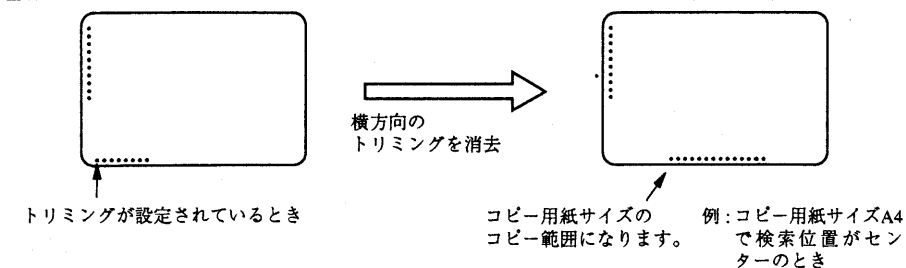
アドバイス

- 操作14で数字キーの「2」を押して、「2. キオク」を選ぶと部分コピーの範囲をおぼえさせることができます。
コピー範囲表示は、部分コピー設定前の表示に戻ります。
部分コピーが必要なときは、部分コピーキーを押して、「1. カイシ」を選ぶと記憶していた部分コピーを呼び出し、コピーすることができます。
- 記憶していた部分コピーは、つぎの操作をするまで保持されます。
 - 電源スイッチをOFFにしたとき
 - 次の部分コピーを設定したとき
 - ファンクションキー (F1~F4) を押したとき

4.4 部分的なコピーをとる

③ 部分コピーの消去

部分コピーを消去するときは、トリミングの縦、横、またはマスキングの縦、横を別々に消去します。トリミングを消去すると、いま選ばれているコピー用紙サイズに対応するコピー範囲が表示されます。マスキングが設定されているときは、コピー用紙サイズのコピー範囲の上にマスキングの範囲を残して表示します。また、マスキングを消去すると、トリミングの範囲またはコピー用紙サイズのコピー範囲を残して表示します。



ご注意

1. マスキングを消去するときは、縦／横両方向の設定を消去して下さい。
2. 縦／横どちらかだけの設定では、マスキングのコピーはできません。

4.4 部分的なコピーをとる

● 部分コピーの消去

部分コピーの消去は、次の表示のときにクリア／ストップキーを押して消去します。

トリム 1. タテ カイシ
イト* ウキーヲ オシテクタ* サイ
縦方向のトリミング範囲を消去するとき

マスク 3. タテ カイシ
イト* ウキーヲ オシテクタ* サイ
縦方向のマスキング範囲を消去するとき

トリム 2. ヨコ カイシ
イト* ウキーヲ オシテクタ* サイ
横方向のトリミング範囲を消去するとき

マスク 4. ヨコ カイシ
イト* ウキーヲ オシテクタ* サイ
横方向のマスキング範囲を消去するとき

横方向のトリミング範囲を消去してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 部分コピーキーを押して、「部分コピーランプ」を点灯させます。	部分コピー 設定中	1. カイシ 2. キオク 3. セッティ
2 数字キーの[3]を押して、「3. セッティ」を選びます。		トリム 1. タテ 2. ヨコ マスク 3. タテ 4. ヨコ
3 数字キーの[2]を押して、横方向のトリミングの範囲を選びます。		トリム 2. ヨコ カイシ イト* ウキーヲ オシテクタ* サイ
4 クリア／ストップキーを押します。これでトリミングの横方向の範囲が消去されます。用紙サイズのコピー範囲の表示になります。		トリム 1. タテ 2. ヨコ マスク 3. タテ 4. ヨコ

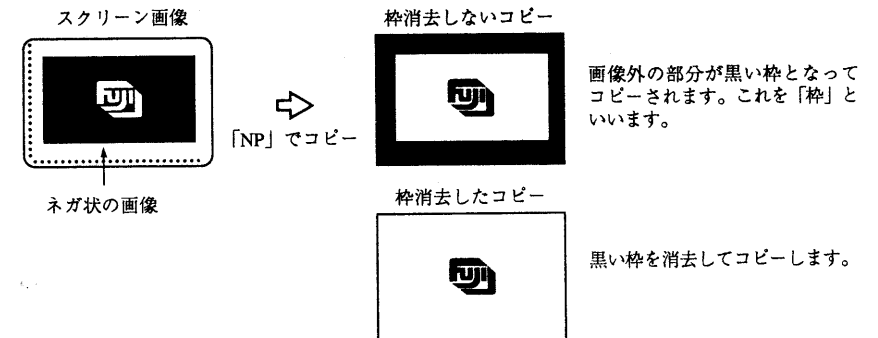
4.4 部分的なコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
5 数字キーの 1 または 2 を押して、「1. カイシ」または「2. キオク」を選びます。 ご注意 右の表示になったときにクリア/ストップキーを押すと、いままでの消去操作が取り消しになってしまいますので注意してください。 必ず「1. カイシ」または「2. キオク」を選んでください。		
6 もう一度クリア/ストップキーを押します。 これで横方向のマスキング範囲が消去されました。		

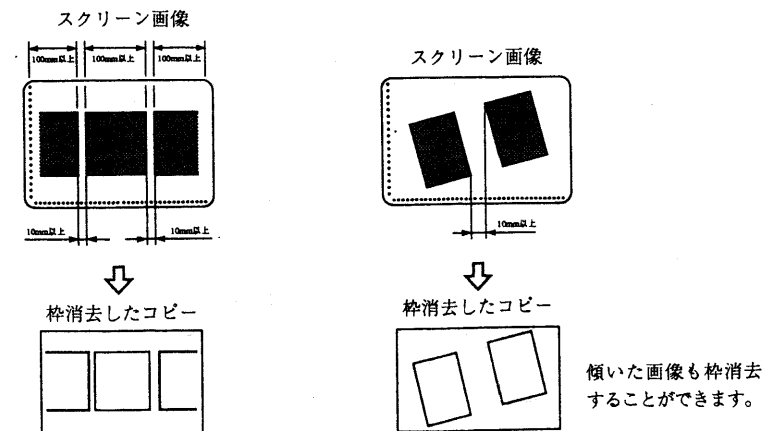
4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる

この機能は、コピーしたときに周囲に黒くする部分を自動的に検出し、消す機能です。黒い部分が少なくなりますので、きれいなコピーがとれます。

■ 枠消去とは？



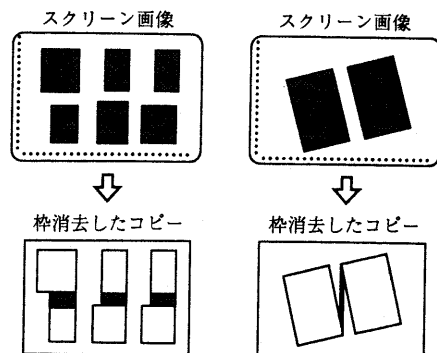
■ つぎのような画像が枠消去できます。



- ① スクリーン上で幅100mm以上の画像は画像と認められて、それ以外の部分は消去されます。
- ② 画像と画像の間は10mm以上あると消去されます。
- ③ コピー範囲内の画像が枠消去できます。

4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる

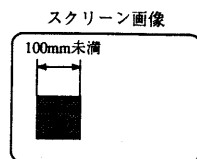
■ つぎのような画像は一部の枠消去ができません。



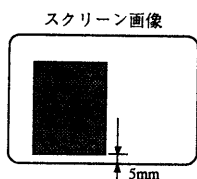
上下に画像があるときは、
その間が枠消去されません。

画像間が10mm未満のときは
間が枠消去されません。

■ つぎのような画像は枠消去ができません。



スクリーン上で画像の幅が100mm未満の画像は、枠消去されない
ときがあります。

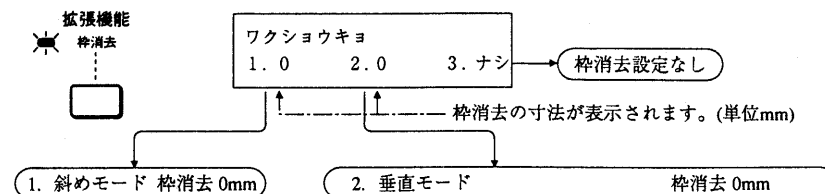


画像の下端がスクリーン枠に近いときは、スクリーン枠から5mm
までの画像はコピーされません。
枠消去してコピーをとるときは、必要な画像の下端をスクリーン
枠から5mm以上（コピー範囲表示ランプ1個分）あけてください。

- ・ ネガ状の画像は、ネガポジ選択の「PP」を指定すると枠消去できません。「NP」にしてください。
- ・ ポジ状の画像は、ネガポジ選択の「NP」を指定すると枠消去できません。「PP」にしてください。
- ・ 縦横が100×100mm未満のトリミング範囲が設定されているときは、枠消去できません。表示パネルに「トリムハンイカ* チイサイタメワクショウキョテ* キマセン」と表示されます。トリミング範囲を100×100mm以上に設定しなおしてから枠消去してください。
- ・ ページ連写コピーが設定されているときは、枠消去できません。表示パネルに「へ* レンシャテ* ハワクショウキョテ* キマセン」と表示されます。ページ連写コピーを解除してから枠消去してください。

4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる

■ 枠消去には2つのモードがあります。



画像が斜のとき

↓「NP」でコピー



検出した枠の外側を
消去します。



垂直な画像

↓「NP」でコピー

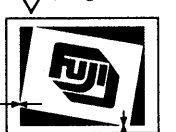


検出した枠の外側を
消去します。



画像が斜のとき

↓「NP」でコピー



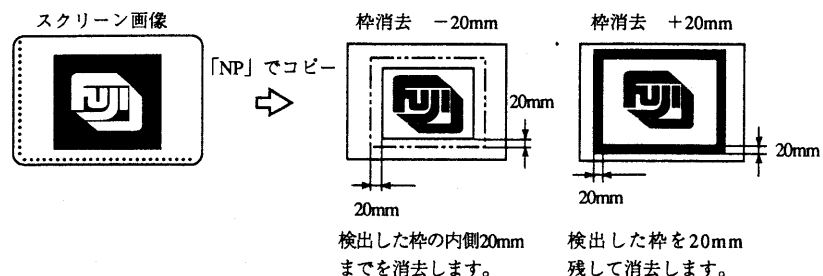
画像と検出された最大寸法の四角
形の外側を枠として、スクリーン
に対して垂直に消去します。

4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる

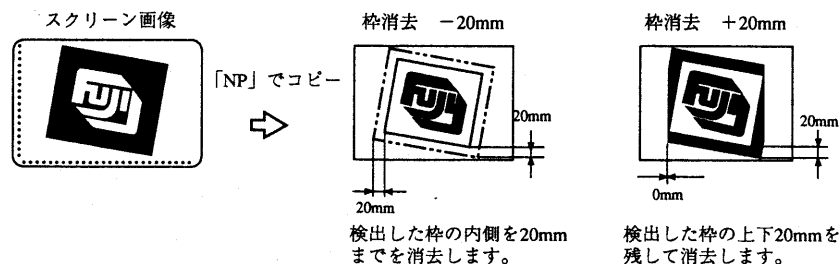
- 枠消去の寸法は、-20～+20mmまで変更することができます。

標準は、0mmになっています。変更はサービスマンが行いますので、弊社のサービスマンまたは販売店にお問い合わせください。

垂直モード



斜めモード



アドバイス

斜めモードの左右方向は、-20～0mmの範囲しか消去できません。

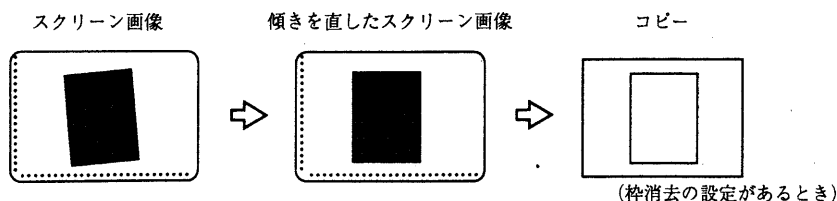
4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる

枠消去の「斜めモード」を設定してコピーしてみましょう。

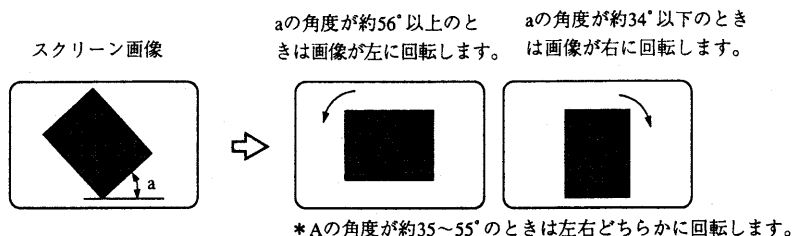
操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「枠消去」ランプを点灯させます。	拡張機能 枠消去 傾き補正 ... 	前回設定した番号が点滅します。 ワクショウキョ 1. 0 2. 0 3. ナシ
2 数字キーの「1」を押して、「斜めモード」を選びます。 (1: 斜めモード 2: 垂直モード)		ワクショウキョ 1. 0 2. 0 3. ナシ
3 設定キーを押して、表示パネルを「コピーマウス」の表示に戻します。		トレイ 1 A3 コピーマウス 1
4 コピーキーを押します。		

4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

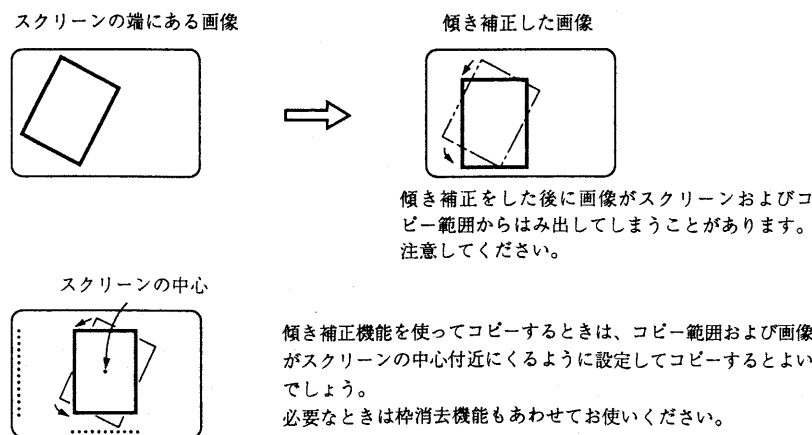
スクリーンに投影された画像の傾きを自動でまっすぐに直してコピーすることができます。これが傾き補正機能です。



■ 傾き補正の動作は

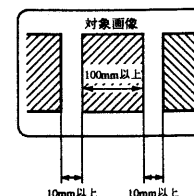


- 傾き補正の動作は、スクリーンの中心を軸としてプリズムユニットを回して行います。このため、スクリーンの端に近い画像は、傾き補正すると元の位置から大きくずれてしまいます。できるだけスクリーンの中心で画像を回転させるように、コピー範囲および画像位置を調整してください。



4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

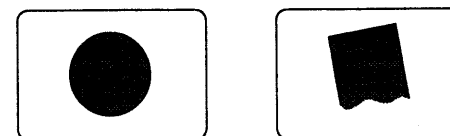
■ 傾き補正できる画像とできない画像



左から検索し、10mm以上のすき間のあとの1つ目の画像（幅100mm以上）を対象に傾き補正します。

- 画像の幅が100mm未満で、すき間が10mm未満のときは、対象となる画像が検出できず、傾き補正機能が正しく働かないことがあります。またつぎのような画像も傾き補正機能が正しく働かないことがあります。

丸い画像（四角のない画像） 下端が直線になっていない画像



ご注意

1. トリミングの範囲を設定するときは、100×100mm以上の範囲を設定してください。
2. マスキングの範囲を設定することもできますが、傾き補正すると画像の位置がずれますので、設定したマスキングの範囲と画像がずれてしまいます。注意してください。
3. 傾き補正と枠消去機能を同時に設定したときは、傾き補正で対象となった画像以外は、消去されてしまいます。注意してください。
4. 傾き補正を設定する前に、プリズムユニットが取り付けられていることを確認してください。傾き補正の設定中は、プリズムユニットを抜かないでください。

アドバイス

傾き補正した画像は、設定したコピー範囲またはトリミング範囲に対して、ずれてしまいます。あらかじめ、コピー範囲またはトリミング範囲を画像の大きさよりも広く設定し、枠消去機能を同時に設定して、不要な部分を消してください。

4.6 傾いた画像をまっすぐに直してコピーをとる

傾き補正機能を設定してコピーしてみましょう。		
操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「傾き補正」ランプを点灯させます。	拡張機能 ☐ 枠消去 ☒ 傾き補正 ... 	前回設定した番号が点滅します。 カタムキホセイ 1. スル 2. シナイ
2 数字キーの「1」を押して、「1. スル」を選びます。	7 8 9 4 5 6 2 3 0	カタムキホセイ 1. スル 2. シナイ
3 設定キーを押します。 傾き補正のモードから、「コピーマイスウ」の表示に戻ります。	設定	トレイ 1 A3 コピーマイスウ 1
4 コピーキーを押します。 傾いた画像がまっすぐに直されてコピーされます。		

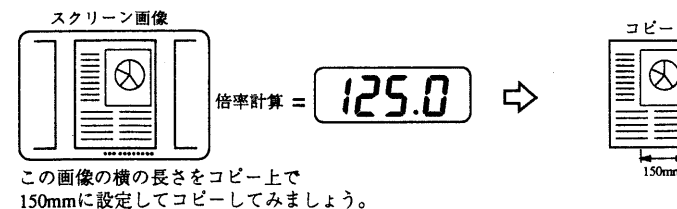
4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

画像の長さと、コピーの用紙上の長さを指定することで自動的に拡大／縮小の電子ズーム倍率を計算してコピーをとることができます。

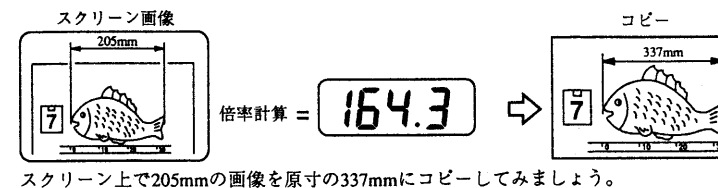
これにより、いままでのように、計算機を使って倍率を計算する必要がありません。

次の3種類の方法で倍率を計算することができます。

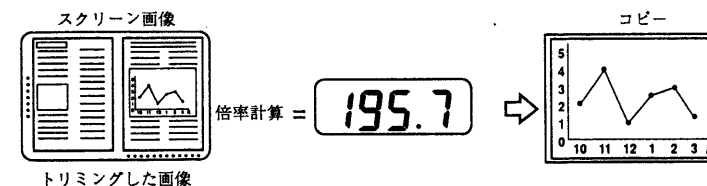
1. 長さ指定： コピー範囲表示ランプを点灯させた長さを、数字キーで入力した長さにするとき



2. 数値指定： 目的の画像の長さをスクリーン上または100%コピー上で測定し、コピーする長さとともに数字キーで数値を入力するとき



3. フルフレーム： トリミングした画像を用紙サイズいっぱいにコピーするとき。



ご注意

電子ズーム倍率が100%のときでもスクリーンに投影された画像とコピー上の画像とは、わずかに寸法の違いがでることがあります。
コピー画像の寸法精度は、本体の光学機械精度、レンズの歪、コピー用紙の伸縮等の影響により、少しの誤差が生じることがあります。

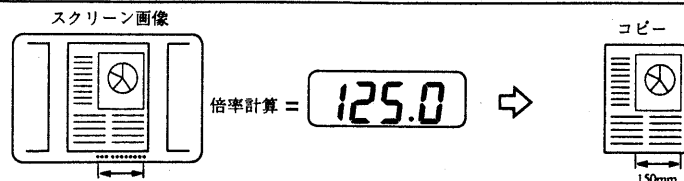
アドバイス

倍率計算された電子ズーム倍率は、小数以下2桁目を切り捨てた倍率になります。

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

① 長さ指定

コピー範囲表示ランプを点灯させた長さを、数字キーで入力した長さにします。



この画像の横の長さをコピー上で150mmに設定してコピーしてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
1 拡張機能キーを押して、「倍率計算」ランプを点灯させます。 表示パネルには、倍率計算の種類が表示されます。	拡張機能 枠消去 横き補正 倍率計算 コピーモード ME 	1. ナカ*サ 2. スウチ 3. フルフレーム
2 数字キーの 1 を押して、「1. ナカサ」を選びます。		ナカ*サシテイ センタク 1. タテ 2. ヨコ
3 数字キーの 2 を押して、「2. ヨコ」を選びます。 スクリーンには、横方向の基準ランプが一番下に点灯します。 縦方向の長さを設定するときは、操作2で「1. タテ」を選んでください。		ヨコ カイシ イト*ウキーラ オシテクタ*サイ 基準ランプ
4 移動/+-キーを押して基準ランプを画像の長さ設定開始位置に合わせます。		基準ランプを画像に合わせます。

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
5 設定キーを押します。 これで横方向の基準位置が決まりました。		ヨコ オワリ イト*ウキーラ オシテクタ*サイ
6 移動キーを押して横の範囲を指定します。 指定した部分は、コピー範囲表示ランプが連続的に点灯していきます。		
7 設定キーを押します。 これでスクリーン上の長さが決まりました。		コピ*ー ノ ナカ*サ 0 mm
8 数字キーで用紙上にコピーする長さを 入力します。 ここでは数字キーで 1 5 0 と 押します。		コピ*ー ノ ナカ*サ 150 mm
9 設定キーを押します。 電子ズーム倍率が倍率を自動的に計算 して表示します。		1. ナカ*サ 2. スウチ 3. フルフレーム

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
10 もう一度設定キーを押します。 倍率計算モードから「コピーマウス」の表示に戻ります。		トレイ 2 A4 コピーマウス 1
11 コピー範囲に画像を合わせて、コピーキーを押します。 画像が表示されている倍率でコピーされます。		

アドバイス

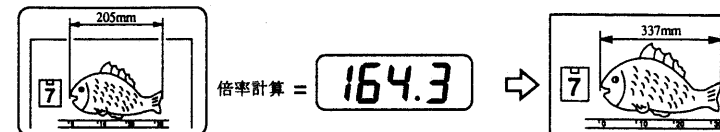
- 計算の結果が50%以下または200%以上のときは、表示パネルに「ハンイカ* イテ* ータ* ス」が表示されます。同時に倍率の表示も計算結果が50.0%以下であれば50.0%に、また200.0%以上のときは200.0%になります。
操作1.からやり直してください。
- 計算された電子ズーム倍率に合わせて、コピー範囲表示も変わります。
ただし、部分コピーの「設定中」ランプが点灯しているときは、変わりません。

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

② 数値指定

画像の長さを数字キーで入力し、さらにコピーする長さも数字キーで入力します。

スクリーンまたは100%のコピー上で長さを測定



スクリーン上で205mmの画像を、337mmにコピーしてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「倍率計算」ランプを点灯させます。 表示パネルには、倍率計算の種類が表示されます。	拡張機能 ☐ 特消去 ☐ 傾き補正 ☒ 倍率計算 ☐ コピーモード ☐ ME	1. ナカ* サ 2. スウチ 3. フルフレーム
2 数字キーの 2 を押して、「2. スウチ」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	カ* ソ* ウ ノ ナカ* サ 0 mm
3 スクリーン上の画像の長さを図ります。 スクリーンの目盛は10mm間隔ですので、長さを測るときに目安にしてください。 ここでは、数字キーで 2 0 5 と押します。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	カ* ソ* ウ ノ ナカ* サ 205 mm
4 設定キーを押します。 これでスクリーン画像の長さが設定されました。		コピ* - ノ ナカ* サ 0 mm

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネルとコピー範囲表示
3 コピー上の長さを入力します。 ここでは数字キーで 3 3 7 と押します。 入力をまちがえたときは、クリア/ストップキーを押してもう一度入力しておしてください。		コピー ノ ナカ サ 3 3 7 mm
4 設定キーを押します。 電子ズーム倍率を自動的に計算して表示します。		1. ナカ サ 2. スウチ 3. フルフレーム 164.3
5 もう一度設定キーを押します。 倍率計算モードから「コピーマウス」の表示に戻ります。		トレイ 1 A3 コピーマウス 1
6 コピー範囲に画像を合わせて、コピーキーを押します。 表示されている倍率でコピーされます。		

ご注意

コピー画像の寸法精度は、本体の光学機械精度、レンズの歪、コピー用紙の伸縮等の影響により、少しの誤差が生じることがあります。

アドバイス

正確な寸法を求めるときは、一度100%のコピーをとりコピー上で長さを測定して入力しますと、より高い精度でコピーの寸法が得られます。

4.7 自動的に倍率計算してコピーをとる

③ フルフレーム

トリミングした画像を用紙サイズいっぱいにコピーします。

操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能を押して、「倍率計算」ランプを点灯させます。 表示パネルには、倍率計算の種類が表示されます。	拡張機能 ☐ 伸縮 ☐ 傾き補正 ☒ 倍率計算 ☐ コピーモード ☐ ME	1. ナカ サ 2. スウチ 3. フルフレーム
2 数字キーの 3 を押して、「3. フルフレーム」を選びます。 指定のトリミング範囲が用紙サイズから、はみださない最大倍率を自動的に計算して表示します。		1. ナカ サ 2. スウチ 3. フルフレーム 195.7
3 設定キーを押します。 倍率計算モードから「コピーマウス」の表示に戻ります。		トレイ 1 A3 コピーマウス 1
4 コピー範囲に画像を合わせて、コピーキーを押します。		

ご注意

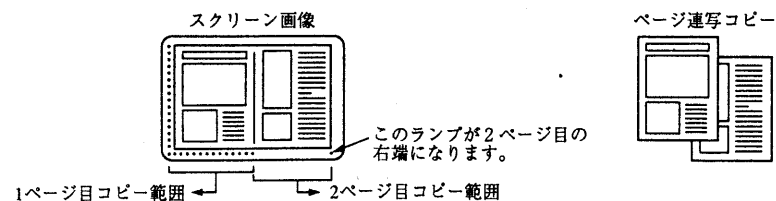
この機能はトリミングが設定されているときに働きます。
先に必要な部分のトリミング範囲を設定してください。

4.8 ページ連写コピーをとる

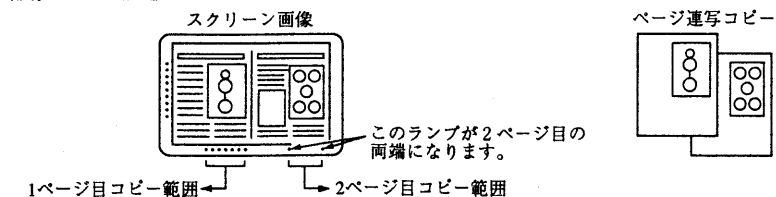
本のように見開きで撮影した画像から、下のように左右1ページずつに分割してコピーを取ることができます。これをページ連写コピーといいます。

ご注意

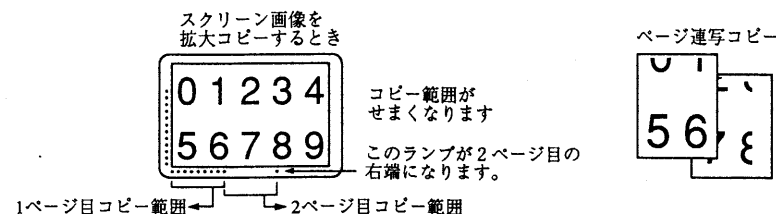
ページ連写コピーができる用紙は、A4サイズです。A3、B4またはB5サイズを使用することはできません。



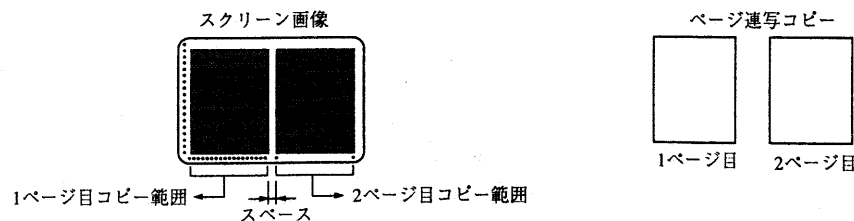
■ 部分コピーが設定されているときのページ連写コピー



■ 電子ズームで拡大、縮小したときのページ連写コピー

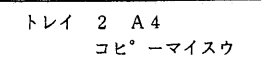
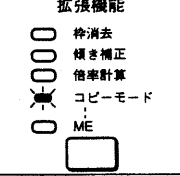
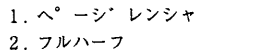
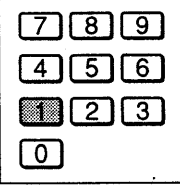
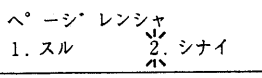
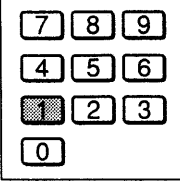
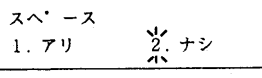
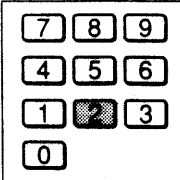
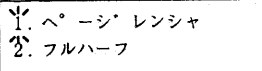


■ 1ページ目と2ページ目の間にスペースを空けたときのページ連写コピー



4.8 ページ連写コピーをとる

ページ連写コピーのスペースなしを設定してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 トレイキーを押して、A4サイズのトレイを選びます。		
2 拡張機能キーを押して「コピーモード」ランプを点灯させます。 表示パネルには、コピーモードの種類が表示されます。		
3 数字キーの 1 を押して、「ページレンシャ」を選びます。 いま選ばれている数字が点滅します。		
4 数字キーの 1 を押します。		
5 数字キーの 2 を押します。 これで「ページ連写コピーのスペースなし」が設定されました。コピー範囲表示ランプは、ページ連写コピー用に変わります。		

4.8 ページ連写コピーをとる

操 作	キ ー	表示パネル
6 設定キーを押します。 コピーモードから「コピー・マウスウ」の表示に戻ります。		トレイ 2 A4 コピー・マウスウ 1
7 コピーキーを押します。 ページ連写コピーがはじまります。		

ページ連写コピーをとるときのご注意

- 操作4で「A4サイズ・ノコピー・ヨウシラエランテ・クタ・サイ」が表示されたときは、操作1でA4サイズ以外のトレイが選ばれています。
クリア/ストップキーを押してもう一度操作1からやりなおしてください。
- ページ連写コピーが設定されているときに、トレイキーを押してA4サイズ以外のコピー用紙を選ぶと、表示パネルに「ヘーシ・レンシャヲカイシ・ヨシマシタ」が表示され、自動的にページ連写コピーの設定が解除されます。
- 枠消去が設定されているときに、ページ連写コピーを設定しようとする（操作4）、表示パネルに「ヘーシ・レンシャテ・ハワクショウキョテ・キマセン」「ワクショウキョヲカイシ・ヨシマシタ」が表示され、自動的に枠消去の設定が解除されます。
同時に枠消去の設定を解除します。
- ページ連写コピーのときは、1ページ目のコピーになる左側の画像に合わせてAE（自動コピー濃度調整）をします。
左右の画像の濃度が極端にちがうときは、適正な濃度のコピーに仕上がらないことがあります。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

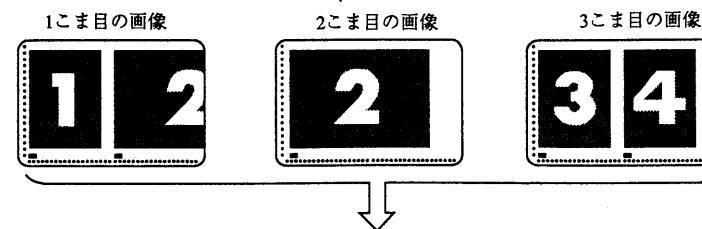
■ フルハーフ機能とは

A4の画像の画像はA4サイズのコピー用紙に、またA3の画像はA3サイズのコピー用紙に自動でトレイを選んでコピーすることができます。

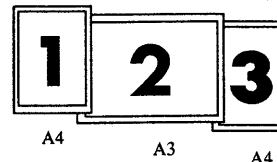
この機能を「フルハーフ」機能といいます。

たとえば、A3、A4の図面が混在している16mmカートリッジフィルムをTC12から検索範囲を指定して、コピーキーを押すと、A3、A4を自動で判断して、それぞれの大きさのコピー用紙にコピーすることができるのです。

「簡単な自動出図機能」と考えればよいでしょう。もちろんFU10、RU10で1こまず検索し、コピー用紙を自動で選ばせてコピーすることもできます。



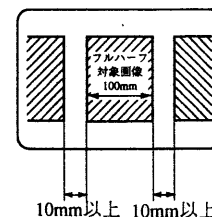
- フルハーフ機能は、枠消去機能と合わせて使います。
このため自動で枠のないきれいなコピーがとれます。



トレイを切り替えなくても、自動で画像に合ったコピー用紙を選んでコピーします。

■ フルハーフ機能がつかえる画像

つぎのような画像が、フルハーフ機能で検出できる対象画像となります。



左から検索し、10mm以上のすき間のあとの1つ目の画像（幅100mm以上）がフルフレームの対象画像となります。

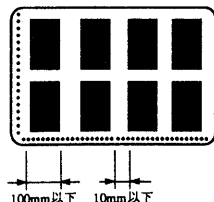
（この画像×電子ズーム倍率）をA4サイズに入るかA3サイズかを判断します。

ご注意

画像の幅が100mmに満たない画像は、フルハーフ機能で検出できないときがあります。
このときは、A3サイズでコピーされます。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

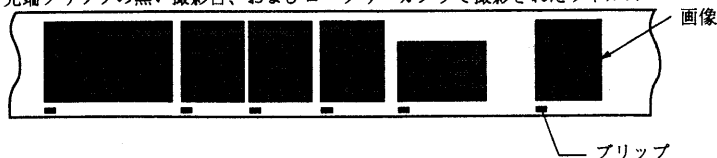
■ フルハーフ機能がつかえない画像



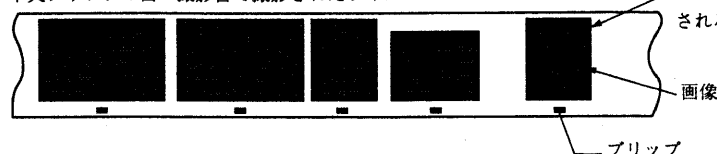
デュプレックスおよびデュオなどのフィルムで幅が100mmに満たない画像、また画像間が10mmに満たない画像は検出できません。このときはA3サイズでコピーされます。

■ フィルム撮影形態と画像停止位置の調整

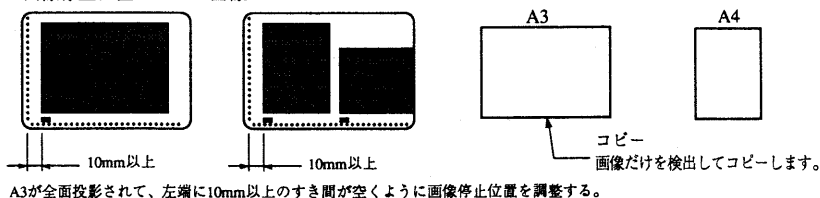
① 先端ブリップの黒い撮影台、およびロータリーカメラで撮影されたフィルム



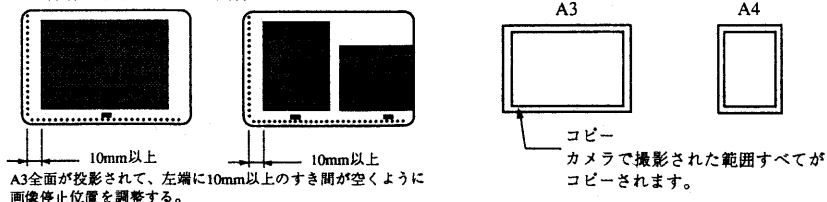
② 中央ブリップの白い撮影台で撮影されたフィルム



③ ①の画像停止位置とコピー画像

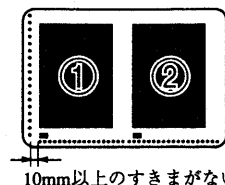


④ ②の画像停止位置とコピー画像



4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

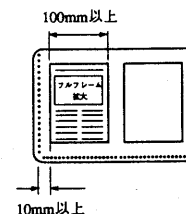
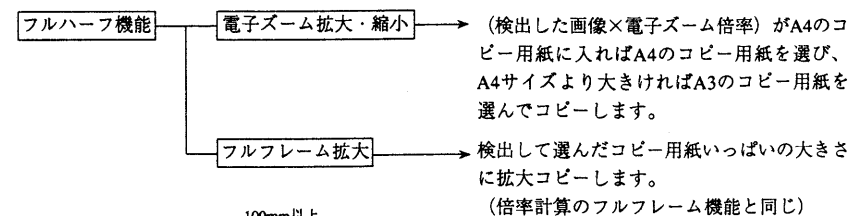
⑤ ⑥で画像停止位置がずれたとき



画像停止位置がずれて、10mm以上のすき間がないときは、②の画像が対象画像となります。

■ フルハーフ機能で画像を拡大・縮小するとき

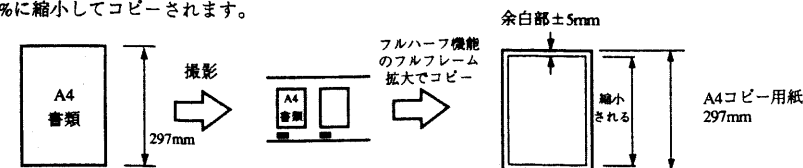
フルハーフ機能を設定しても拡大・縮小コピーをとることができます。



* スクリーンの画像は少し小さめに投影して、「フルフレーム拡大」でコピー用紙サイズいっぱいの大きさにコピーさせると良いでしょう。

ご注意

フルハーフ機能の電子ズーム拡大・縮小およびフルフレーム拡大をしても、撮影した書類の寸法どおりにはコピーできません。コピー用紙の周囲には±5mmの余白部分があり、この余白の内側にコピーされますので約93%~98%に縮小してコピーされます。



4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

ご注意

- フルハーフ機能は、先に枠消去機能を設定しないと働けません。枠消去機能が設定されていないと、表示パネルに「ワクショウキョウシテイシテクタ*サイ」と表示されます。必ず先に枠消去機能を設定してください。
- フルハーフ機能はA3とA4サイズのコピー用紙しか使えません。A3およびA4サイズ以外のコピー用紙が入っていると表示パネルに「トレイニA3トA4ヲセットシテクタ*サイ」と表示されます。フルハーフ機能を設定するまえに、必ずA3とA4サイズのコピー用紙をセットしてください。
- 部分コピーのマスク機能が設定されているときに、フルハーフ機能を設定すると、表示パネルに「フルハーフテ*ハマスクテ*キマセン」「マスクヲカイシ*ヨシマシタ」が表示されて、自動的に部分コピーのマスク機能が解除されます。
- フルハーフ機能が設定されているときは、表示パネルの用紙サイズ表示が「オート」に変わります。

フルハーフ設定なし

トレイ	1	A3
コピー	マイスウ	1

フルハーフ設定中

トレイ	オート
コピー	マイスウ 1

フルハーフ設定中にトレイを切り替えることはできません。

- フルハーフ機能が設定されているときに、トレイキーを押すと表示パネルに「フルハーフチュウハトレイヲヘンコウテ*キマセン」が表示されます。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

■ フルハーフ機能の設定手順

A3、A4サイズのコピー用紙セット

LP10にA3サイズとA4サイズの用紙カセットをセットします。

枠消去機能の設定

「4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる」P.55を参照して、枠消去機能の「斜めモード」または「垂直モード」を設定します。

フルハーフ機能の設定

次ページ以降を参照してフルハーフ機能を設定します。必要なときは、「フルフレーム拡大」機能も設定してください。

フィルムの検索

TC12/CU12、RU10またはFU10で画像を検索します。

コピー範囲の設定

コピー範囲やトリミングの範囲を設定します。

画像の位置調整

フルハーフ機能で検出できる位置に画像を停止させます。画像の幅100mm以上、画像間10mm以上の条件にあてはまるようにしてください。
コピー範囲よりも少し小さめに投影すると良いでしょう。必要であれば、光学ズーム倍率や投影レンズを変えてください。

コピー

コピーキーを押すとフルハーフ機能が動いて自動的に用紙サイズを選んでコピーします。TC12をお使いの方は、コピーの範囲を指定して、コピーキーを押せばあとは自動でコピーできます。

ご注意

用紙カセットは、必ずA3サイズとA4サイズの用紙カセットを使ってください。また、フルハーフ機能設定中は、コピー用紙のサイズをかえないでください。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

フルハーフ機能を設定してコピーしてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 LP10にA3サイズとA4サイズの用紙カセットをセットします。		
2 枠消去機能を設定します。 【4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる】P.55を参照して、枠消去の「斜めモード」または「垂直モード」を設定してください。		ワクショウキョ 1. 0 2. 0 3. ナシ
3 フルハーフ機能を設定します。 ① 拡張機能キーを押して「コピーモード」ランプを点灯させます。	拡張機能 0 枠消去 0 焼き補正 0 倍率計算 X コピーモード !	1. へ°-シ° レンシャ 2. フルハーフ
② 数字キーの「2」を押して、「2.フルハーフ」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	前回設定した番号が点滅します。 フルハーフ 1. スル 2. シナイ
③ 数字キーの「1」を押して、「1.スル」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	フルフレーム 1. スル 2. シナイ
④ フルフレーム拡大するときは、数字キーの「1」を押します。しないときは数字キーの「2」を押します。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	1. へ°-シ° レンシャ 2. フルハーフ

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネル
⑤ 設定キーを押します。 コピーモードから「コピーマウス」の表示に戻ります。 これでフルハーフ機能が設定されました。	設定	用紙サイズが“オート”の表示に変わります。 トレイ オート コピーマウス 1
4 目的のフィルムを検索します。 CU12/TC12、RU10またはFU10で画像を検索します。		
5 コピー範囲を決めます。 ・フルハーフ機能を設定すると、コピー範囲表示ランプはA3の表示になります。 ・トリミングを設定するときは、【4.4 部分的なコピーをとる①トリミング】P.44を参照して設定してください。		トリミングの設定なしで、電子ズーム倍率が100.0%のときはA3サイズのコピー範囲表示になります。
6 画像の位置を調整します。 コピー範囲表示またはトリミング範囲内にA3サイズにコピーしたい画像が入るように、画像停止位置を調整します。 画像の大きさが幅100mm以上、画像間の寸法が10mm以上になるように投影レンズを変えてください。		10mm以上 → 100mm以上 → 10mm以上 A3図面
7 コピーキーを押します。 FDIP6200がスクリーン投影されている画像に合わせて、自動的に用紙サイズを選びコピーします。		

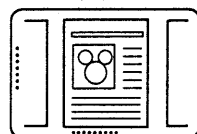
4.10 コピー用紙にコピーする位置を決める

コピーする画像の大きさがコピー用紙サイズより小さいときは、この機能で設定した位置にコピーできます。

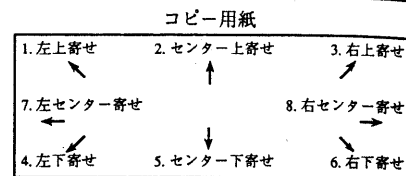
- 設定できる位置は、右の図のように8か所です。設定した方向に画像を寄せてコピーします。

- 画像は、次のようにコピーされます。

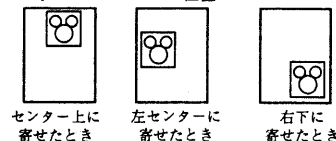
スクリーン



画像の一部をトリミングしている場合



コピー位置



センター上に
寄せたとき

左センターに
寄せたとき

右下に
寄せたとき

コピー位置を「左下寄せ」を設定してみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「検索位置・コピー位置」ランプを点灯させます。	拡張機能 倍率計算 コピーモード 検索位置 コピー位置 照度切換	1. ケンサクイチ 2. コピーイチ
2 数字キーの「2」を押して、「コピーイチ」を選びます。 表示パネルは右のようになります。 「ヒタ*リシタ」がありません そこで...	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	前回設定した番号が点滅します。 1. ヒタ*リウエ 2. センタウエ 3. ミキ*ウエ 0. →
3 数字キーの「0」を押して、つぎの表示に切り替えます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	4. ヒタ*リシタ 5. センタシタ 6. ミキ*シタ 0. →

4.10 コピー用紙にコピーする位置を決める

操 作	キ ー	表示パネル
4 数字キーの「4」を押して、「4. ヒタリシタ」を選びます。 表示パネルは、右のような表示に戻ります。これでコピー位置が「左下寄せ」に設定されました。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	1. ケンサクイチ 2. コピーイチ
5 設定キーを押します。 コピー位置のモードから「コピーマイスウ」の表示に戻ります。	設定	トレイ 2 A4 コピーマイスウ 1
6 コピーキーを押します。		

アドバイス

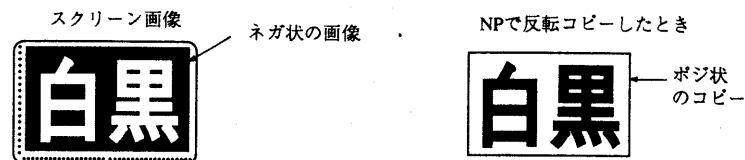
- 「左センター寄せ」および「右センター寄せ」を選ぶときは、操作4.で数字キーの「0」を押すと、右の表示に切り替わります。
この表示のときに、数字キーの「7」または「8」を押して選んでください。
- 点滅している番号は、前回設定した位置を表しています。

7. ヒタ*リセンタ
8. ミキ*センタ 0. →

4.11 白黒反転コピー・反転なしコピーをとる

ネガポジ選択の機能で、ネガフィルムからポジのコピーをとることができます。また、ポジフィルムからポジのコピーがとれます。さらに機械がフィルムのネガ・ポジを自動的に判断して、ポジのコピーをとることができます。

ネガポジ選択 NP : 白黒反転コピー (ネガフィルムからポジのコピーをとります)。
PP : 反転なしコピー (ポジフィルムからポジのコピーをとります)。
オート : フィルムのネガ・ポジを自動的に判断して、ポジのコピーをとります。



ネガポジ選択機能を切り換えてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 拡張機能キーを押して、「ネガポジ選択」ランプを点灯させます。	拡張機能 ☐ 枠消去 ☒ ネガポジ選択 ☐ ME	前回設定した番号が点滅します。 ネカ°ホ°シ°センタク 1. NP 2. PP 3. オート
2 白黒反転コピーをとるとき 数字キーの「1」を押して、「1.NP」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	ネカ°ホ°シ°センタク 1. NP 2. PP 3. オート
■ 反転なしコピーをとるとき 数字キーの「2」を押して、「2.PP」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	ネカ°ホ°シ°センタク 1. NP 2. PP 3. オート

4.11 白黒反転コピー・反転なしコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネル
■ ネガ・ポジを自動的に判断してポジのコピーをとるとき 数字キーの「3」を押して、「3.オート」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	ネカ°ホ°シ°センタク 1. NP 2. PP 3. オート
3 設定キーを押します。 ネガポジ選択のモードから「コピーマイスウ」の表示に戻ります。	設定	トレイ 1 A3 コピーマイスウ 1
4 コピーキーを押します。		

ご注意

- コピー画質が「文字写真」または「写真」になっているときは、ネガポジ選択のオートを設定しようとすると、表示パネルに「モシ°シャシン シャシン デハ オートネガポジテ°キマセン」が表示されます。コピー画質を「標準」または「黒地」にしてから、ネガポジ選択のオートを設定してください。
- 傾き補正と枠消去機能が設定されているときに、ネガポジ選択のオートを設定しようとすると、表示パネルに「カタムキホセイ、ワクショウキョ、オートNP デキマセン」が表示されます。傾き補正または枠消去機能のどちらかを解除してから、ネガポジ選択のオートを設定してください。
- ME (手動コピー濃度調整) が設定されているときに、ネガポジ選択のオートを設定しようとすると、表示パネルに「オートネガポジト MEハ ドウジニ デキマセン」が表示されます。ME (手動コピー濃度調整) を解除してから、ネガポジ選択のオートを設定してください。
- 「AE」ランプが消灯するとき (AEロック状態) に、ネガポジ選択のオートを設定しようとすると、表示パネルに「AE ヲ オン シテ クダサイ」が表示されます。「AE」ランプを点灯させてから、ネガポジ選択のオートを設定してください。
- 単倍レンズ (50:1) およびズームレンズ (38:1~50:1) の50:1付近の倍率では、ネガポジ選択のオートが正しく働かないことがあります。

4.12 コピー濃度をこまかく調整する

操 作

キ ー

表示パネル／濃度・倍率表示

2 数字キーの **1** を押して、「1. スル」を選びます。

マニュアル ノウト・チョウセイ
 スル 2. シナイ

3 設定キーを押して、表示パネルを「コピーマウス」の表示に戻します。

トレイ 2 A4
 コピーマウス 1

4 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」ランプを点灯させます。

5 移動／＋キーを押して任意にコピー濃度を合わせます。
 1～100の範囲で設定できます。

6 コピーキーを押します。

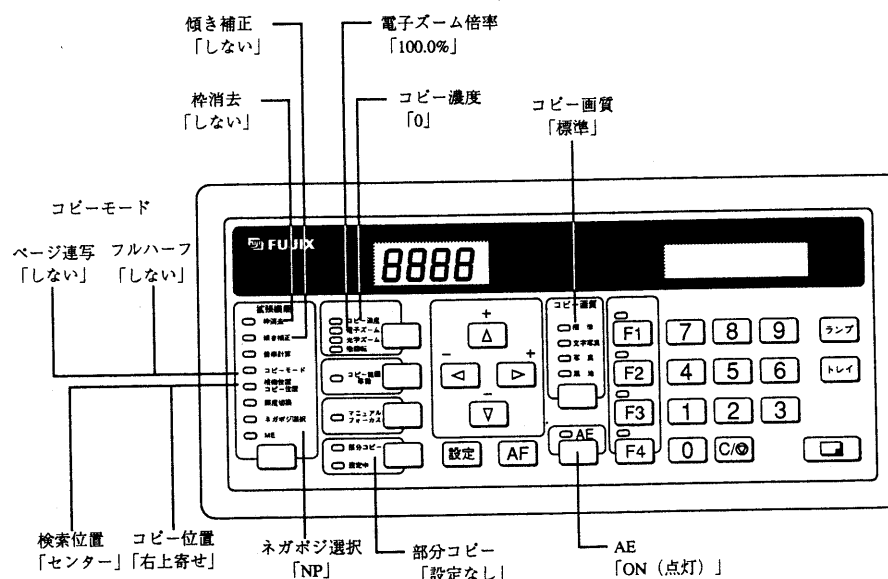
4.13 ファンクションキー（F1～F4）の使い方

ファンクションキー（F1～F4）には、コピー画質、コピー濃度、電子ズーム倍率などの各機能の内容をおおえさせていただきます。

よくお使いになる機能を設定しておけばF1～F4キーを押したときに、それぞれの内容ですぐにお望みのコピーをとることができます。

このファンクションキー（F1～F4）に設定できる内容を「自動設定値」といい、F1～F4まで4とおりの設定をすることができます。

■ 工場出荷のときから、あらかじめ設定されている自動設定値は、つぎの12項目です。



●たとえば、コピー画質は「標準」が自動設定されていますが、写真の画像をコピーするために「写真」を点灯させたとします。しかし、F1～F4キーを押すと、コピー画質は「標準」に戻ります。お客様が最も多くお使いになるフィルムに合わせて自動設定値を変更しておくことで、機能を変更してもすぐにそのフィルムに合った自動設定値に戻すことができます。自由に設定してください。

4.12 コピー濃度をこまかく調整する

操 作

キ ー

表示パネル／濃度・倍率表示

2 数字キーの **1** を押して、「1. スル」を選びます。

マニュアル ノウト・チョウセイ
 スル 2. シナイ

3 設定キーを押して、表示パネルを「コピーマウス」の表示に戻します。

トレイ 2 A4
 コピーマウス 1

4 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」ランプを点灯させます。

5 移動／＋キーを押して任意にコピー濃度を合わせます。
 1～100の範囲で設定できます。

6 コピーキーを押します。

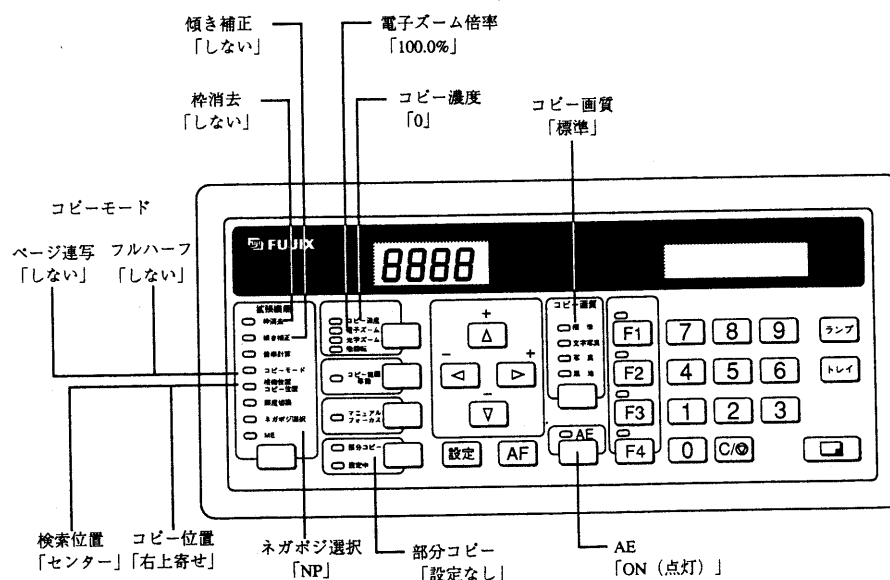
4.13 ファンクションキー（F1～F4）の使い方

ファンクションキー（F1～F4）には、コピー画質、コピー濃度、電子ズーム倍率などの各機能の内容をお伝えしておくことができます。

よくお使いになる機能を設定しておけばF1～F4キーを押したときに、それぞれの内容ですぐにお望みのコピーをとることができます。

このファンクションキー（F1～F4）に設定できる内容を「自動設定値」といい、F1～F4まで4とおりの設定をすることができます。

■ 工場出荷のときから、あらかじめ設定されている自動設定値は、つぎの12項目です。



●たとえば、コピー画質は「標準」が自動設定されていますが、写真の画像をコピーするために「写真」を点灯させたとします。しかし、F1~F4キーを押すと、コピー画質は「標準」に戻ります。お客様が最も多くお使いになるフィルムに合わせて自動設定値を変更しておくことで、機能を変更してもすぐにそのフィルムに合った自動設定値に戻すことができます。自由に設定してください。

4.13 ファンクションキー (F1～F4) の使い方

① 自動設定値の変更

F2キーを押したときに、コピー画質が「文字写真」、枠消去が「斜めモード」、電子ズーム倍率が「120.0%」になるように自動設定値を変更してみましょう。

操 作	キ ー	濃度・倍率表示/表示パネル
1 コピー画質キーを押して、「文字写真」ランプを点灯させます。	コピー画質 標準 文字写真 写真 黒地	
2 濃度・倍率キーを押して、「電子ズーム」ランプを点灯させます。	コピー濃度 電子ズーム 光学ズーム 像回転	
3 移動/+-キーを押して、電子ズーム倍率を「120.0%」にします。	+ - △ ▽	120.0
4 拡張機能キーを押して、「枠消去」ランプを点灯させます。	拡張機能 枠消去 横き補正 倍率計算	前回設定した番号が点滅します。 ワクショウキョ 1. 0 2. 0 3. ナシ
5 数字キーの「1」を押して「斜めモード」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	ワクショウキョ 1. 0 2. 2 3. ナシ

4.13 ファンクションキー (F1～F4) の使い方

操 作	キ ー	表示パネルとコピーの範囲表示
6 設定キーを押します。 枠消去のモードから「コピーマウス」の表示に戻ります。	設定	トレイ 2 A4 コピーマウス 1
7 設定キーを押しながらF2キーを押します。 ご注意 このキーを押す前に「コピーマウス」の表示に戻っているか確かめてください。	設定 + F2	シートウセッティ F2 1. スル 2. シナイ
8 数字キーの「1」を押して、「1.スル」を選びます。 これでF2キーの自動設定値が変更されました。 数字キーの「2」またはクリア/ストップキーを押すと、変更せずに「コピーマウス」の表示に戻ります。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	F2 トレイ 2 A4 コピーマウス 1

アドバイス

部分コピーを設定した状態をそのまま自動設定値として、ファンクションキーに設定することもできます。

F1～F4キーを押したときに自動的に設定した部分コピーがセットされます。

設定方法

1. 部分コピーを設定します。（「設定中」ランプが点灯している状態にします。）
2. コピー位置、その他の機能を設定します。
3. 自動設定値の変更操作を行います。

解除の方法

1. F1～F4 キーを押して自動設定値を表示させます。
2. 部分コピーキーを押します。
3. [C] クリアストップキーを押して部分コピーのランプを消します。
4. 自動設定値の変更操作を行います。

これで自動設定値から部分コピーだけが解除されます。

4.13 ファンクションキー (F1～F4) の使い方

② 自動設定のほかに

自動設定できる12の機能のほかに、電源スイッチをONするごとに選ばれるつぎの機能があります。
ただし、この機能は自動設定値のように変更することはできません。

- ・ コピー枚数 → 「1枚」
- ・ トレイ → 「トレイ1」 (上段トレイ)

アドバイス

ファンクションキーに登録してある機能と、検索するフィルムとの対応表を作っておくと良いでしょう。
ここでは、例をご紹介します。

例：ファンクションキー設定内容一覧

		F1	F2	F3	F4
フィルムの種類		図面(A1・A2) アバーチュアカード	図面(A3・A4) 16mmロールフィルム	特許資料 16mmカートリッジ	カタログ 16mm カートリッジ
設定内容	コピー画質	標準	標準	標準	文字写真
	AE	ON	ON	ON	ON
	コピー濃度	+5	+3	-2	0
	電子ズーム倍率	100.0%	97.0%	100.0	100.0
	部分コピー	トリミング設定有	トリミング設定有	なし	なし
	枠消去	「斜めモード」設定有	「斜めモード」設定有	なし	「垂直モード」設定有
	傾き補正	なし	有	なし	なし
	コピーモード ページ連写	なし	なし	有	なし
	フルハーフ	なし	有	なし	なし
	検索位置	左	左	中央	中央
	コピー位置	左上寄せ	左上寄せ	左上寄せ	左上寄せ
	ネガボジ選択	NP	NP	PP	NP

5 使いこなしていただくために

この章では「4. こんなコピーがとれます」の各機能を組み合わせた操作をするための、手順、注意事項を記載しています。
FDIP6200の機能を十分にご活用いただくために、ぜひお読みください。

5.1 組み合わせて使える機能一覧表.....	92
5.2 拡張機能の設定内容を見るときは.....	96



5.1 組み合わせて使える機能一覧表

ここでは、どの機能を組み合わせて使えるのか、また組み合わせて使えないのはどの機能なのかを表にしています。

【4. こんなコピーがとれます】の各機能を使ってFDIP6200の多彩なデジタル編集コピーをご活用ください。

① コピー画質、コピー濃度調整およびネガポジ選択の組み合わせ

ネガポジ選択	コピー濃度	コ ピ ー 画 質			
		標 準	文 字 写 真	写 真	黒 地
NP	AE点灯	○	○	○	○
	AE消灯 (AEロック)	○	○	○	○
	ME	○	× 注1	× 注1	○
PP	AE点灯	○	○	○	○
	AE消灯 (AEロック)	○	○	○	○
	ME	○	× 注1	× 注1	○
オート	AE点灯	○	× 注2	× 注2	○
	AE消灯 (AEロック)	× 注3	× 注2 注3	× 注2 注3	× 注3
	ME	× 注4	× 注2 注4	× 注2 注4	× 注4

○： 組み合わせて使える機能 ×： 使えない機能

5.1 組み合わせて使える機能一覧表

注1： コピー画質の「文字写真」または「写真」とME（手動コピー濃度調整）の組み合わせはできません。

この組み合わせを選ぶと表示パネルにつぎのメッセージが表示されます。どちらかの機能を解除してください。

ME テ* ハ モシ* シャシン ト
シャシン ハ テ* キマセン

注2： コピー画質の「文字写真」または「写真」とネガポジ選択の「オート」の組み合わせはできません。

この組み合わせを選ぶと表示パネルにつぎのメッセージが表示されます。どちらかの機能を解除してください。

モシ* シャシン シャシン テ* ハ
オートネカ* ホ* シ* テ* キマセン

注3： AEランプ消灯（AEロック）とネガポジ選択の「オート」の組み合わせはできません。

この組み合わせを選ぶと表示パネルにつぎのメッセージが表示されます。どちらかの機能を解除してください。

オートネカ* ホ* シ* ハ
AE オフ テ* キマセン

注4： ME（手動コピー濃度調整）ネガポジ選択の「オート」の組み合わせはできません。

この組み合わせを選ぶと表示パネルにつぎのメッセージが表示されます。どちらかの機能を解除してください。

オートネカ* ホ* シ* ト MEハ
ト* ウシ* ニ テ* キマセン

5.1 組み合わせて使える機能一覧表

② 画像編集機能の組み合わせ

この表を見て各機能を組み合わせて使ってください。各機能の設定手順は「4.こんなコピーがとれます」をご覧ください。
また表中の「注」は、次ページに注意事項がありますのでよくお読みになり、それから設定してください。

	トリミング						
マスキング	○	マスキング					
枠消去	△ 100×100mm以上 注1	○	枠消去				
傾き補正	○	○ 注2	△ 注3	傾き補正			
ページ連写	△ 注4	○	×	○	ページ連写		
フルハーフ	○	×	◎ 注5	○	×	フルハーフ	
コピー位置	○	○	○	○	○	○	コピー位置
トレイ	○	○	○	○	A4 注6	A4/A3 注7	○

○： 組み合わせて使える機能
◎： 必ず組み合わせて使う機能

×： 使えない機能
△： 条件つきで組み合わせて使える機能

5.1 組み合わせて使える機能一覧表

注1： 縦横100×100mm未満のトリミングが設定中のときは、枠消去できません。トリミングを解除するかまたは縦横100×100mm以上のトリミングを設定してから枠消去の設定をしてください。

また、枠消去の設定がされているときに、縦横100×100mm未満のトリミングを指定して「カイシ」を選ぶと、自動的に枠消去が解除されます。

注2： 傾き補正とマスキングを組み合わせてコピーすることはできませんが、傾き補正する前とあとでは画像の位置がずれることがあります。

指定した位置の画像がマスキングできないことがありますので注意してください。

注3： 傾き補正と枠消去を組み合わせてコピーすることはできませんが、ネガボジ選択の「オート」を入れた3つの組み合わせはできません。

注4： A4サイズのコピー範囲（スクリーン左半分）からはみだしてトリミングが設定中のときは、ページ連写の設定はできません。

トリミングを解除するか、またはトリミングの指定をA4サイズのコピー範囲内にずらしてから、ページ連写の設定をしてください。

注5： フルハーフを設定するときは、枠消去も同時に設定しなければなりません。必ず枠消去の設定をしてから、フルハーフの設定をしてください。

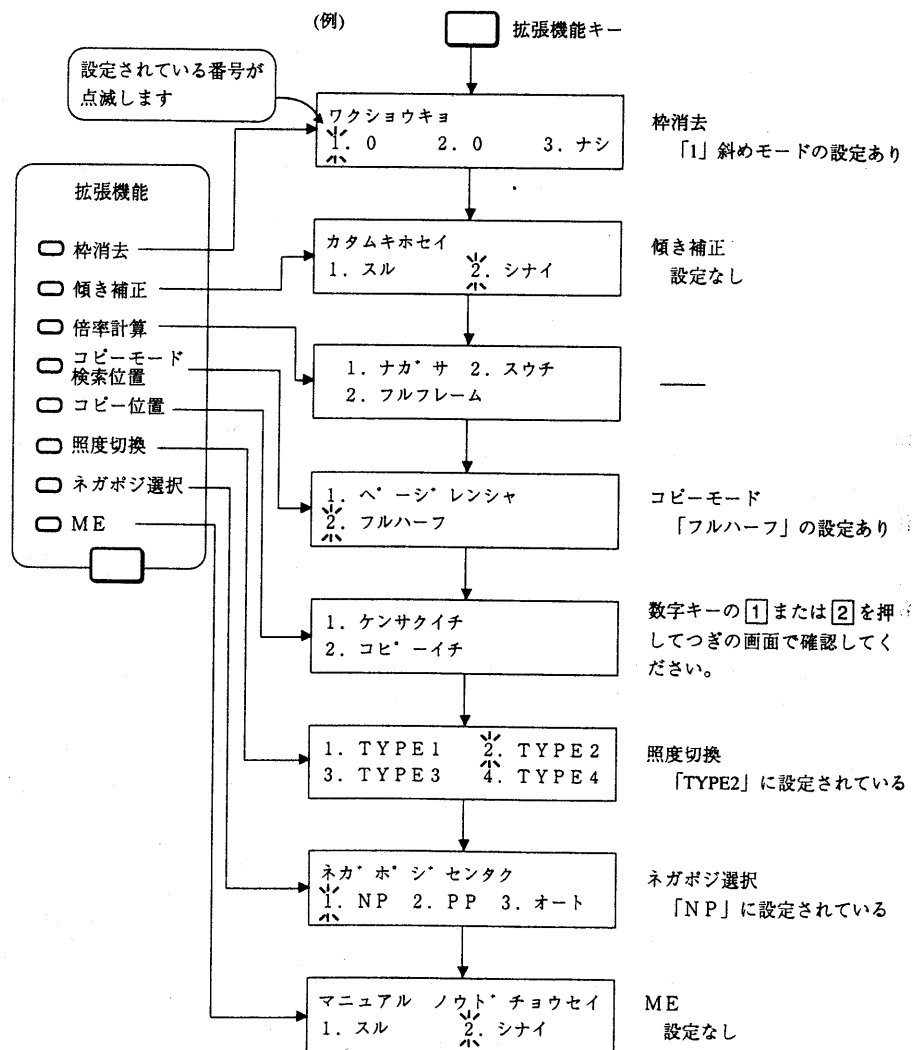
注6： A4サイズ以外のコピー用紙では、ページ連写できません。
ページ連写を設定するときは、必ずA4サイズのトレイを選んでください。

注7： A4サイズとA3サイズ以外のコピー用紙では、フルハーフできません。
フルハーフを設定するときは、必ずA4サイズとA3サイズのコピー用紙をセットしてください。

5.2 拡張機能の設定内容を見るときに

拡張機能の各設定がどうなっているかを番号の点滅表示により、確かめることができます。

拡張機能キーを押したときの各項目の最初の画面を見ることで各機能の設定内容の有無を確認することができます。

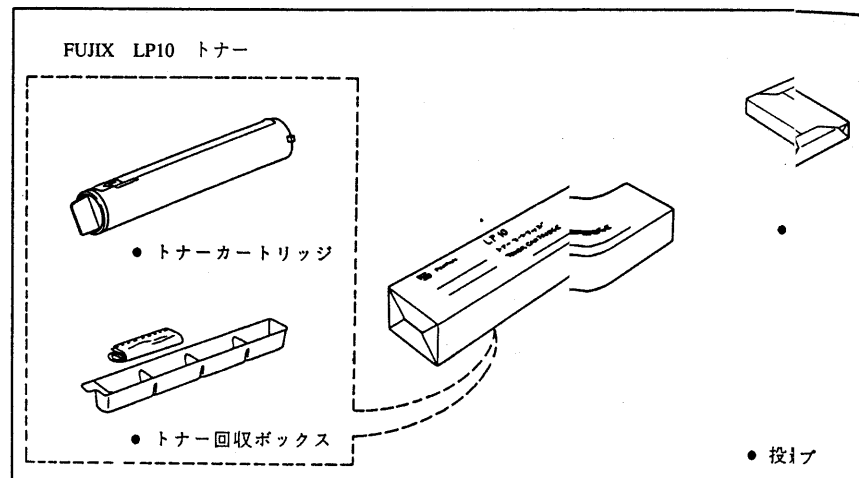


6 消耗品の取り扱い

6.1 消耗品の種類と取り扱い上のご注意.....	98
6.2 用紙のセット	99
6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換	101
6.4 投影ランプの交換	106

6.1 消耗品の種類と取り扱い上のご注意

■ 種類について



■ 取り扱い上のご注意

1. トナーは、LP10専用消耗品のため指定のトナーをお使いください。
また他の機械には使わないでください。
2. トナーが手に付着した場合は、セッケンまたは水で洗ってください。
3. 使用済のトナー、感光体はサービンマンが回収します。捨てないでください。
4. 用紙は当社指定品（FUJI FILM PPCペーパー）を使ってください。
5. 消耗品は高温、高湿を極端にきらいます。湿気やほこりの少ない冷暗所に保管してください。

ご注意

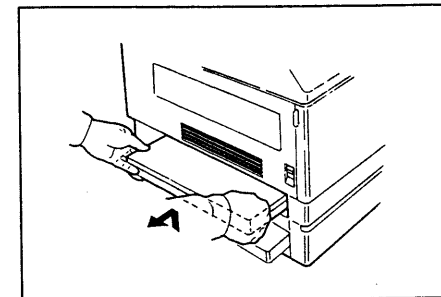
トナー、回収トナーおよび感光体は産業廃棄物となります。お客様ご自身で廃棄するとお持ちの処理設備で処理されるか、または許可を得た「産業廃棄物専門処理業者」に委託してください。

6.2 用紙のセット

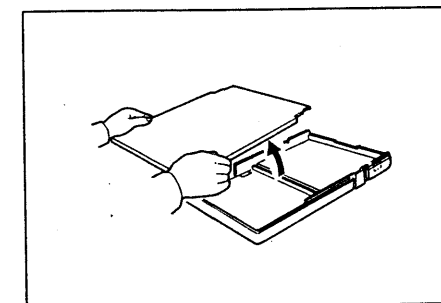
用紙がなくなると表示パネルに「コピー・ユーシカ・アリマセン」というメッセージが表示されます。またLP10の用紙補給表示 $\square$ が点灯し、動作が停止します。
次の手順で用紙を補給してください。

操作手順

- 1 用紙カセットを両手で持ち、引き上げた後にまっすぐ引き出します。

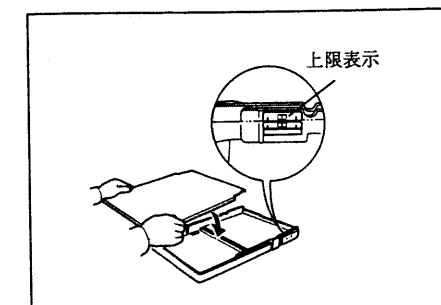


- 2 用紙カセットのカセットカバーをはずします。



- 3 用紙を指定面を上にして用紙カセットにセットします。

用紙はFUJI FILM PPCペーパーを使ってください。
用紙は、用紙カセット内の上限表示以上（ $\square$ 以上）に入れないでください。（約250枚入ります。）

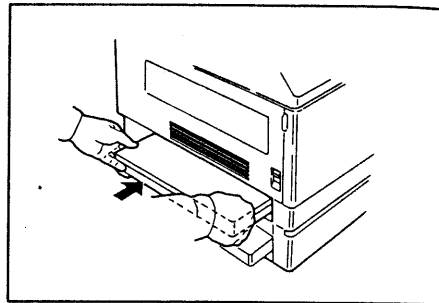


6.2 用紙のセット

操作手順

- 4 カセットカバーを用紙カセットに取り付け、用紙カセットをLP10に装着します。

表示パネルの「コピー・ヨウシカ・アリマセン」のメッセージが消えます。
また、プリンターの用紙補給表示  が消え、レディー表示  が点灯します。



- 5 中断したコピーを続けてとるとき
スクリーンに表示された画像のコピーを複数枚とっていたときは、コピーキーを押すと残りの枚数がコピーされます。

ご注意

用紙カセットをLP10に1度装着してから再度装着し直すときは、必ず用紙カセット全体を引き出して先端からはみ出している用紙を用紙カセットの中に戻してからLP10に装着してください。（用紙がはみ出していると紙づまりの原因になります。）

6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換

トナーの残量が少なくなると、表示パネルの左下に「トナー」が点滅表示されます。また、LP10のトナー補給表示  が点灯します。

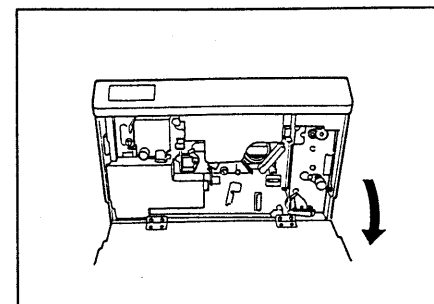
このときは、トナーカートリッジ内のトナーが少なくなっていますので、新しいトナーカートリッジと交換してください。

トナーカートリッジは次の手順で交換します。

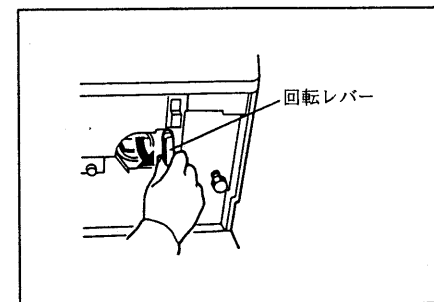
なお、トナーカートリッジの交換時には、トナー回収ボックスも同時に交換してください。

操作手順

- 1 LP10の前カバーを開きます。



- 2 回転レバーを、止まるまで反時計方向に回します。

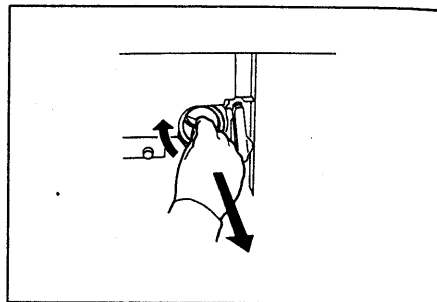


6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換

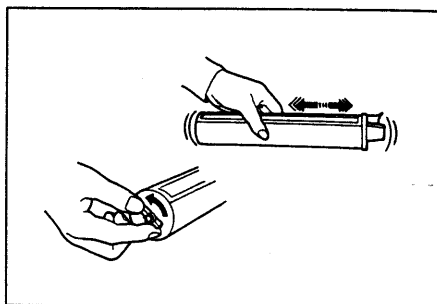
操作手順

- 3 トナーカートリッジの緑色のツメを持って止まるまで時計方向に回し、そのまま手前にゆっくりと引き出します。

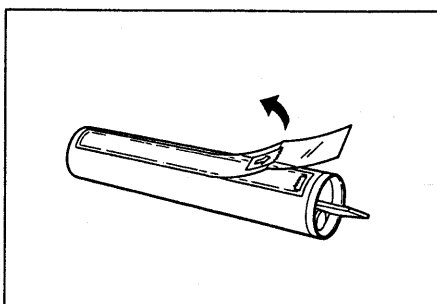
取り出したトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように新しいトナーカートリッジの入っていた袋に入れて封をしてください。



- 4 新しいトナーカートリッジのシールを上にして水平に持ち、左右に10～15回振ってください。このとき、トナーカートリッジの奥側のツメが反時計方向に軽く回るようになるまで振ってください。



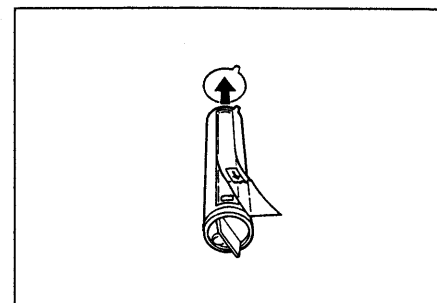
- 5 新しいトナーカートリッジのシールの矢印が印刷されている部分をはがします。



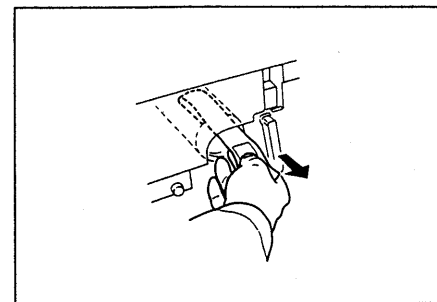
6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換

操作手順

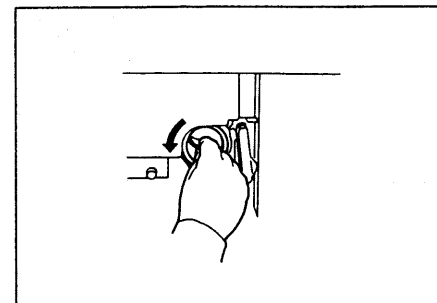
- 6 新しいトナーカートリッジのシールと緑色のツメを持ち、トナーカートリッジの凸部を現像ユニットの凹部に合わせてゆっくりと挿入します。



- 7 トナーカートリッジを片手で押さえながら、シールをゆっくりと引いてはがします。



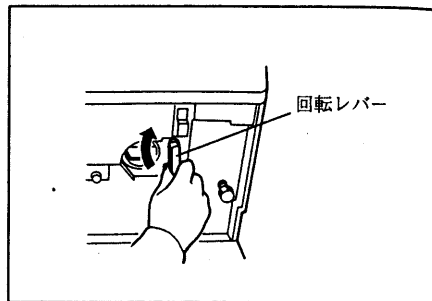
- 8 トナーカートリッジの緑色のツメを持って止まるまで反時計方向に回します。



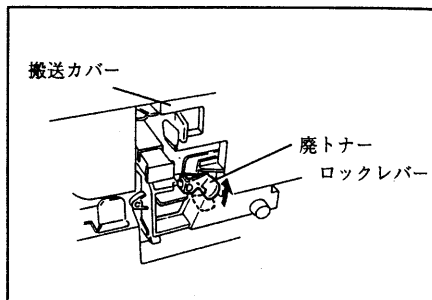
6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換

操作手順

- 9 回転レバーを、止まるまで時計方向に回します。

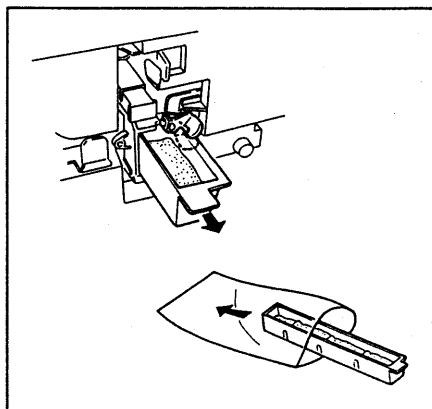


- 10 廃トナーロックレバーを、反時計方向に回し、搬送カバーの突起に引っ掛けて止めます。



- 11 トナー回収ボックスを軽く2~3回たたいた後に、水平に引き出します。

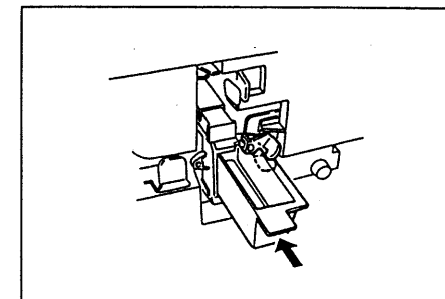
取り出したトナー回収ボックスは、トナーが飛び散らないように付属のビニール袋に入れて封をしてください。



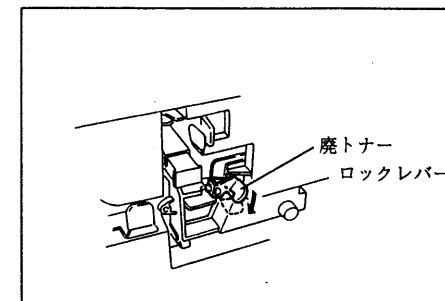
6.3 トナーの補給とトナー回収ボックスの交換

操作手順

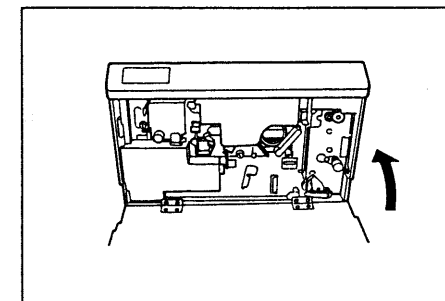
- 12 新しいトナー回収ボックスを取り付けます。



- 13 廃トナーロックレバーを、止まるまで時計方向に回します。



- 14 LP10の前カバーを閉じます。



6.4 投影ランプの交換

投影ランプが切れると、スクリーンに画像が投影されません。必ずランプ交換を行ってください。ランプが切れたままの状態のコピーを行うと、正常なコピーがとれませんのでご注意ください。

■ ランプを交換する前に

ランプが切れたことを知らせるメッセージはありません。したがって、ランプを交換する前にランプが切れたことを次の手順で確かめてください。

- ・ 投影ランプが消灯中ではありませんか？ランプキーを押してみてください。消灯中ならランプが点灯します。

- ・ ランプボックスが確実に押し込まれていないときがあります。

→ ランプボックスをしっかり押し込んでください。

以上のことを行ってもスクリーンが明るくならないときにランプ交換を行ってください。

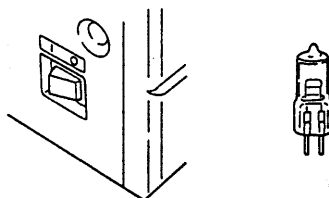
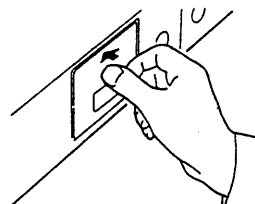
⚠ 警告

ランプを交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにして、ランプが充分に冷えてから交換してください。

⚠ 注意

故障の原因になりますので、ランプは、当社指定品（商品番号：122T13-0713、24V／150Wハロゲンランプ）以外は使用しないでください。

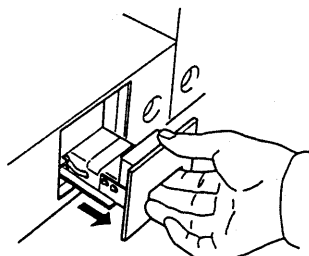
ランプ



- 1 ランプボックスを引き出します。
静かに引き出してください。

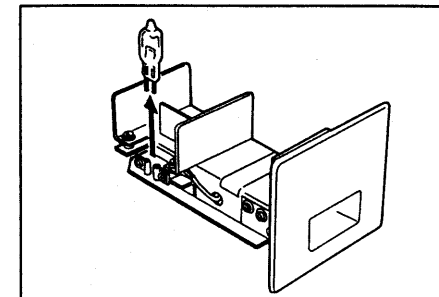
⚠ 警告

点灯中は、ランプボックスを引き出さないでください。
消灯直後はランプボックスが大変熱くなっています。
充分に冷えてから引き出してください。



6.4 投影ランプの交換

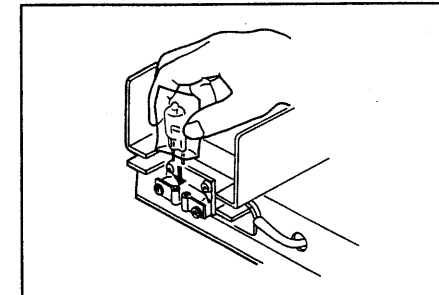
- 2 切れたランプを抜きます。
ランプをまっすぐ上に抜きます。
やけどをしないよう、充分に冷えていることを確かめて行ってください。



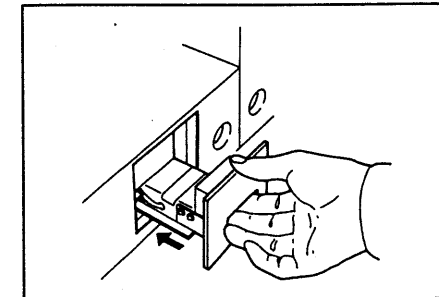
- 3 新しいランプを差し込みます。
新しいランプをポリ袋ごとつまみ、2本の足をソケットにしっかりと止まるまで差し込みます。

ご注意

新しいランプは絶対に素手で持たないでください。指紋をつけたまま点灯すると、それが焼き付いて取れなくなり、スクリーンやコピー上の照度ムラとなって現れます。万一誤って指紋をつけたときは、取り付け前に、アルコールなどでふきとってください。



- 4 ランプボックスを戻します。
ランプボックスを止まるまで押し込みます。



7 こんなときには

7.1	メッセージが表示されたとき	110
7.2	故障かなと思ったら	116
7.3	日常のお手入れ	118

7.1 メッセージが表示されたとき

FDIP6200は、操作上の誤りや機械が異常を検知したときに、表示パネルにメッセージが表示されます。

メッセージ	原因と処置
レンズカバーが開 トシテクタサイ	レンズカバーが開いています。 → 閉じてから操作してください。コピー中に開くとコピーが中止されます。閉じるとコピーが再開されます。
レンズホルダー開 イレテクタサイ	レンズホルダーが取り付けられていません。 → お使いになる単倍レンズ、ズームレンズおよびプリズムユニットを取り付けてください。
トレイ 1 A3 ストップ コピーマウス 1	コピー中にクリア/ストップキーを押すと表示されます。 → コピーが中断したことを表わしています。 ふたたびコピーをはじめるときは、コピーキーを押してください。
ページレンジャーハ ワクショウキョテキマセン ↓ ワクショウキョ カイシヨシマシタ	① ページ連写が設定されているときに枠消去を設定しようとした。 → ページ連写を解除してから、枠消去を設定してください。 ② 枠消去が設定されているときにページ連写を設定しました。 → 左のメッセージが表示されて、枠消去の設定を自動的に解除します。
トリムハンイカチサイタメ ワクショウキョテキマセン	縦横100×100mm未満のトリミングが設定されているときに、枠消去を設定しました。 → 縦横100×100mmより広いトリミング範囲を設定してから、枠消去を設定してください。
トリムハンイカチサイタメ ワクショウキョテキマセン ↓ ワクショウキョ カイシヨシマシタ	枠消去が設定されているときに、縦横100×100mm未満のトリミングを指定し、「カイシ」を選びました。 → 左のメッセージが表示されて、枠消去の設定を自動的に解除します。
カタムキホセイハプリズム イレテクタサイ	プリズムユニットが取り付けられていません。 → プリズムユニットを取り付けてから、傾き補正を設定してください。

7.1 メッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と処置
ハンイカイデータス	倍率計算機能で計算した結果、電子ズーム倍率が50～200%の範囲に入りません。 → クリア/ストップキーを押してもう一度計算しなおしてください。再び、同じ表示がでるときは倍率を変えてください。
A4サイズノコピーヨウシ ヲエラントクタサイ	A3サイズ、B4サイズまたはB5サイズのコピー用紙が選ばれているときにページ連写を設定しました。 → A4サイズを選んでからページ連写を設定してください。
トリムハンイカフテキトウ データス	① 部分コピーが設定されていてページ連写を設定したとき、スクリーン上で2ページ分の範囲がとれないときに表示されます。 → 部分コピーの範囲を変更するかまたは解除してから、ページ連写の設定をしてください。 ② 部分コピーが設定されていて、いまよりも小さいコピー用紙に切り替えたとき、自動で電子ズーム倍率を50%まで低くしても、コピー用紙に入らないときに表示されます。 → コピー用紙をもとの大きさに戻すかまたは部分コピーの範囲をせまくしてください。
ページレンジャー カイシヨシマシタ	① ページ連写が設定されているときにトレイキーが押されページ連写の設定が解除されました。 ② ページ連写が設定されているときにページ連写の設定がないファンクションキー(F1～F4)が押されて、ページ連写の設定が解除されました。
トレイニA3トA4ヲ セットシテクタサイ	A3サイズおよびA4サイズ以外のコピー用紙が入っているときにフルハーフ機能を設定しました。 → A3サイズとA4サイズのコピー用紙をセットしてから、フルハーフの設定をしてください。
フルハーフチュウハトレイ ヲヘンコウテキマセン	フルハーフ機能が設定されているときに、トレイキーを押して用紙サイズを変えようとした。 → フルハーフ機能では、A3サイズとA4サイズのコピー用紙しか使えません。

7.1 メッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と処置
ワクショウキョ ラ シテイ シテ クタ サイ	枠消去を設定しないで、フルハーフ機能を設定しようとした。 → 枠消去を設定してから、フルハーフ機能を設定してください。
フルハーフ テ ハ マスク テ キマセン	① マスキングの設定があるときにフルハーフ機能を設定しました。 → マスキングは自動的に解除されます。
↓	
マスク ラ カイシ ヨ シマシタ	
フルハーフ テ ハ マスク テ キマセン	② フルハーフ機能が設定されているときに、マスキングを設定しようとした。 → フルハーフ機能を解除してから、マスキングを設定してください。
フルハーフ ラ カイシ ヨ シマシタ	フルハーフが設定されているときに枠消去の設定が解除されたので、同時にフルハーフの設定も解除されました。
モシ シャシン シャシン テ ハ オートネカ ホ シ テ キマセン	コピー画質が「文字写真」または「写真」のときに、ネガボジ選択の「オート」を設定しようとした。 また、ネガボジ選択の「オート」が設定されているときにコピー画質が「文字写真」または「写真」が選ばれました。 → 同時に設定することはできません。 ネガボジ選択の「オート」を設定するときは、コピー画質の「標準」または「黒地」を選んでください。 コピー画質の「文字写真」または「写真」を使うときはネガボジの選択の「NP」または「PP」を選んでください。

7.1 メッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と処置
オートネカ ホ シ ト MEハ ト ウシ ニ テ キマセン	ネガボジ選択の「オート」が設定されているときに、MEを設定しようとした。 また、MEが設定されているときに、ネガボジ選択の「オート」を設定しようとした。 → 同時に設定することはできません。 MEを設定するときは、ネガボジ選択の「NP」または「PP」を選んでください。 ネガボジ選択の「オート」を設定するときは、MEを解除して、「AE」点灯または「AE」消灯（AEロック）を選んでください。
オートネカ ホ シ テ ハ AE オフ テ キマセン	ネガボジ選択の「オート」が設定されているときに、「AE」ランプ消灯（AEロック）しようとした。 → 同時に設定することはできません。 「AE」ランプ消灯（AEロック）にするときは、ネガボジ選択の「NP」または「PP」を選んでください。
AE ラ オン シテ クタ サイ	「AE」ランプ消灯（AEロック状態）のとき、ネガボジ選択の「オート」を設定しようとした。 → 同時に設定することはできません。 ネガボジ選択の「オート」を設定するときは、「AE」ランプを点灯させてください。
カタムキホセイ、ワクショウキョ、 オートNP テ キマセン	傾き補正と枠消去が設定されている時に、ネガボジ選択の「オート」を設定しようとした。 → 3つ同時に設定することはできません。 ネガボジ選択の「オート」を設定するときは、傾き補正または枠消去のどちらかを解除してから、設定してください。
カタムキホセイ、ワクショウキョ、 オートNP テ キマセン	傾き補正とネガボジ選択の「オート」が設定されているときに、枠消去を設定しようとした。 また、枠消去とネガボジ選択の「オート」が設定されているときに、傾き補正を設定しようとした。 → 3つ同時に設定することはできません。 → この場合、ネガボジ選択の「オート」は自動的に解除されます。
↓	
オートネカ ホ シ ラ カイシ ヨ シマシタ	

7.1 メッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と処置
ME テ* ハ モシ* シャシン ト シャシン ハ テ* キマセン	コピー画質が「写真」または「文字写真」のときに、ME（手動コピー濃度調整）を設定しようとした。 また、ME（手動コピー濃度調整）が設定されているときに、コピー画質の「写真」または「文字写真」が選ばれました。 → 同時に設定することはできません。 MEを設定するときは、コピー画質の「標準」または「黒地」を選んでください。 コピー画質を「写真」または「文字写真」を使うときは、MEの設定を解除してください。
ME ラ カイシ* ヨ シテクタ* サイ	ME（手動コピー濃度調整）が設定されているときに、AEキーを押しました。 → MEの設定を解除してから、AEキーを押して、「AE」ランプを点灯させてください。
オート フォーカス エラー	オートフォーカスができなかったときに表示されます。 → もう一度AFキーを押すか、マニュアルフォーカスキーを押して、手動でピントを合わせてください。
プ* リンター ノ ト* ア ラ トシ* テクタ* サイ	LP10のドアが開いています。 → ドアを閉じてから操作しなおしてください。
トナリ 1 A3 トナリ コピ* -マイスウ 1	トナーが少なくなりました。 → 新しいトナーカートリッジに交換してください。
コピ* -ヨウシ カ* アリマセン	コピー用紙がなくなりました。または用紙カセットが取り付けられていません。 → コピー用紙を補給して、用紙カセットを装着してください。
コピ* -ヨウシ カ* ツマツテ イマス	LP10内部に用紙がつかまっています。 → LP10の使い方を参照して、つままった用紙を取り除いてください。

7.1 メッセージが表示されたとき

メッセージ	原因と処置
プ* リンター ラ カクニン シテ クタ* サイ	この表示がでたときは、レーザープリンターLP10の電源スイッチをOFF→ONしてもう一度操作します。 → 同じメッセージが表示されたときは、LP10の使い方を参照して点検し、異常があるときはプリンターに出ている表示内容とともにサービスマンにお問い合わせください。
スキャナ* カ* イシ* ヨウテ* ス コンテ* ンサーレンス* カ* イシ* ヨウデス	この表示がでたときは、電源スイッチをOFF→ONしてもう一度操作をします。 → 同じメッセージが表示されたときは、サービスマンにお問い合わせください。
ス* -ムモーター カ* イシ* ヨウテ* ス プ* リス* ム カ* イシ* ヨウデス サービ* スマン コール トレイ チェンシ* エラー サービ* スマン コール サブ* CPUカ* ト* ウサシマセン	この表示がでたときは、電源スイッチをOFF→ONしてもう一度操作します。 → 同じメッセージが表示されたときは、サービスマンにお問い合わせください。
 点滅	電源をONしてからキーボードのコネクターを接続しました。 → 電源スイッチをOFF→ONしてください。 同じメッセージが表示されたときは、サービスマンにお問い合わせください。

7.2 故障かなと思ったら

FDIP6200が正しく作動しないときには、次のような処置を行ってください。
それでも正しく動作しないときには、サービスマンにお問い合わせください。

現 象	原因と処置
電源スイッチをONにしても作動しない。	電源コードが正しく接続されているかどうかチェックしてください。
スクリーンに画像が投影されない。 (このとき、表示パネルは「コピーミスウ」などが正しく表示されている)	- 投影ランプが消灯しています。 → ランプキーを押して点灯させます。 - ランプボックスが正しく取り付けられていません。 → 正しく差し込んでください。 - 投影ランプが切れています。 → 投影ランプを交換してください。
スクリーンが暗い。	- スクリーンに直射光または室内光が反射しています。 → カーテンで遮光し、天井灯を消してください。 - 投影レンズに適した明るさに調整されていません。 → 拡張機能の照度切換モードで明るさを切り替えてください。 - レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。
ピントが合わない	- レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。 - 投影レンズが正しく取り付けられていません。 → 正しく取り付けてください。 - フィルムユニットの押えガラスに異物が混入しています。 → 押えガラスを点検し清掃してください。 - 撮影された画像のピントが合っていません。 → ピントの合ったフィルムを使用してください。 - 押えガラスやフィルムのキズ、ゴミ、汚れ等にフォーカスが合っています。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。 - フィルムの濃度が著しく高い、または低い。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。 - フィルムの画線がきわめて細い、または画像が細かい。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。

7.2 故障かなと思ったら

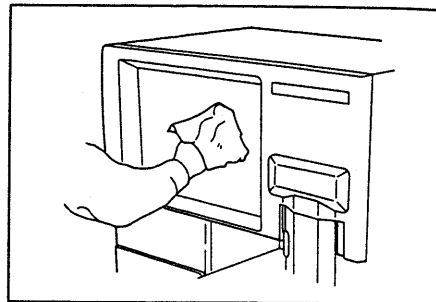
現 象	原因と処置
コピーの濃度が濃い。	コピー濃度の設定が濃くなっています。 → 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」を選び、移動/+-キー (-) で表示されている数字を下げてください。
コピーの濃度が薄い。	コピー濃度の設定が薄くなっています。 → 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」を選び、移動/+-キー (+) で表示されている数字を上げてください。
コピーの濃度にムラがある。	- スクリーンに直射光または室内光が反射しています。 → カーテンで遮光し、天井灯を消してください。 - 投影レンズに適した明るさに調整されていません。 → 拡張機能の照度切換モードで明るさを切り替えてください。 - レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。 - 投影ランプが指紋などで汚れています。 → ランプを点検し、汚れているときは、ランプが冷えてから清掃してください。 - 投影ランプが正しく取り付けられていません。 → ランプを点検し、冷えてから指紋をつけないよう正しく取り付けてください。 - 投影レンズや集光レンズに指紋、ほこり、汚れ等が付着しています。 → ブロワーブラシや、メガネを拭くクリーナークロス等でキズをつけないように注意しながら清掃してください。
コピーの画質がよくない。 ・コピー用紙の画像をコスルと画像が消える。 ・白紙がでる。 ・コピーに白線がでる。 ・コピーに黒線がでる。 ・コピー全体に黒い部分が濃い。 ・コピー全体に黒い部分が薄い。	LP10の使い方の「7.こんなときには」を参照して処置してください。

7.3 日常のお手入れ

より良い仕上がりを保ち、機械を長持ちさせるためには汚れたらすぐに清掃することが大切です。スクリーン、カバーは常にきれいにしておいてください。

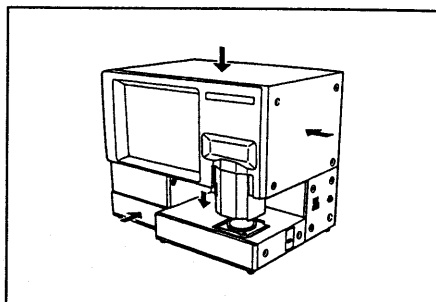
■ スクリーン清掃

乾いた柔かい布などで軽くふきます。落ちにくい汚れは、水に浸してよく絞った布で拭いてください。



■ カバーの清掃

水に浸してよく絞った柔かい布でふいてください。特によごれのひどいときは、中性洗剤を水で薄めたもので拭いてください。

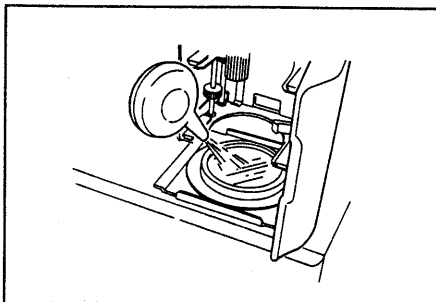


ご注意

シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や研磨材を含んだクリーナーは使わないでください。

■ 集光レンズの清掃

集光レンズの上面のほこりを、ブロワーブラシで吹きとばしてください。

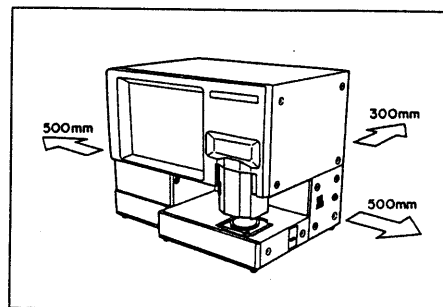


8 設置と仕様

8.1 設置と準備	120
8.2 外形寸法・重量	122
8.3 電源	123
8.4 別売品	124
8.5 FDIP6000をお使いの方に	133
8.6 製品仕様	135

8.1 設置と準備

設置場所については、次のような条件で設置してください。

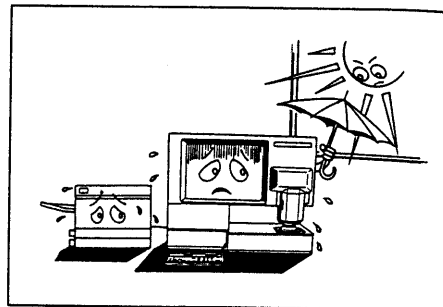


設置場所の広さ

機械の操作、日常の点検、清掃、消耗品の交換などを行うために、機械の両横と背面は図のようにとってください。

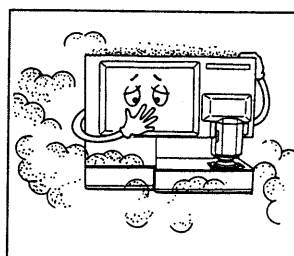
ご注意

背面の排気口はふさがないように注意してください。

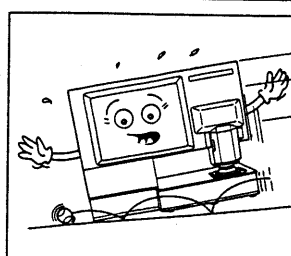


設置する環境についての注意

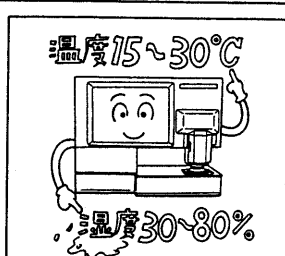
- ・ 直射日光の当たらない場所を選んでください。
- ・ 水平な床に設置してください。
- ・ スクリーン部には、天井灯の直射光が入らないように注意してください。



- ・ 換気の悪い場所やほこりの多い場所は避けてください。



- ・ 振動しやすい場所は、コピーなどに悪影響を与えますから避けてください。

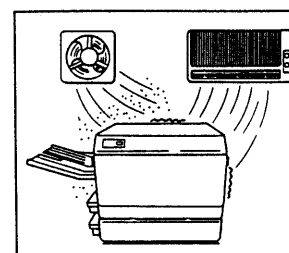


- ・ 極端に温度や湿度の高い場所に設置しないでください。また、極端に温度や湿度の低い場所にも設置しないでください。使用時は、次の環境を保ってください。

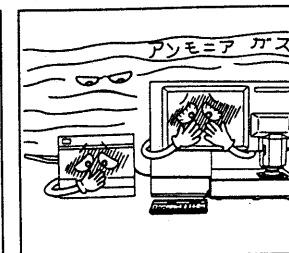
温度：15～30℃

湿度：30～80%

8.1 設置と準備



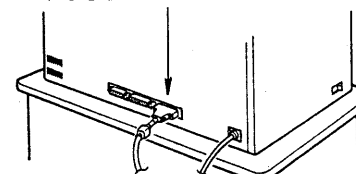
- ・ LP10はクーラー、換気口などの風が直接当たらない場所でお使いください（温度、湿度変化の激しい場所は避けてください。）



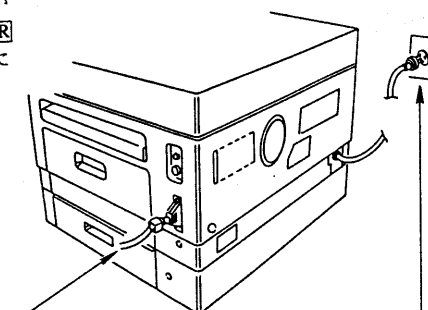
- ・ アンモニアガスが発生する場所では使わないでください。

■ FDIP6200とLP10の接続について

- ① FDIP6200に付属されているケーブルの大きい方のコネクタをFDIP6200背面の **PRINTER** のコネクタに差し込み、ゆるまないようにねじをしめつけます。



- ② もう片方のコネクタをLP10右側面のコネクタに差し込み、上下の止め具でパチンと音がするまではさみ込みます。



- ③ LP10の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

■ 機械の移動について

FDIP6200は精密機械です。設置後機械を移動するときには、サービスマンにお問い合わせください。

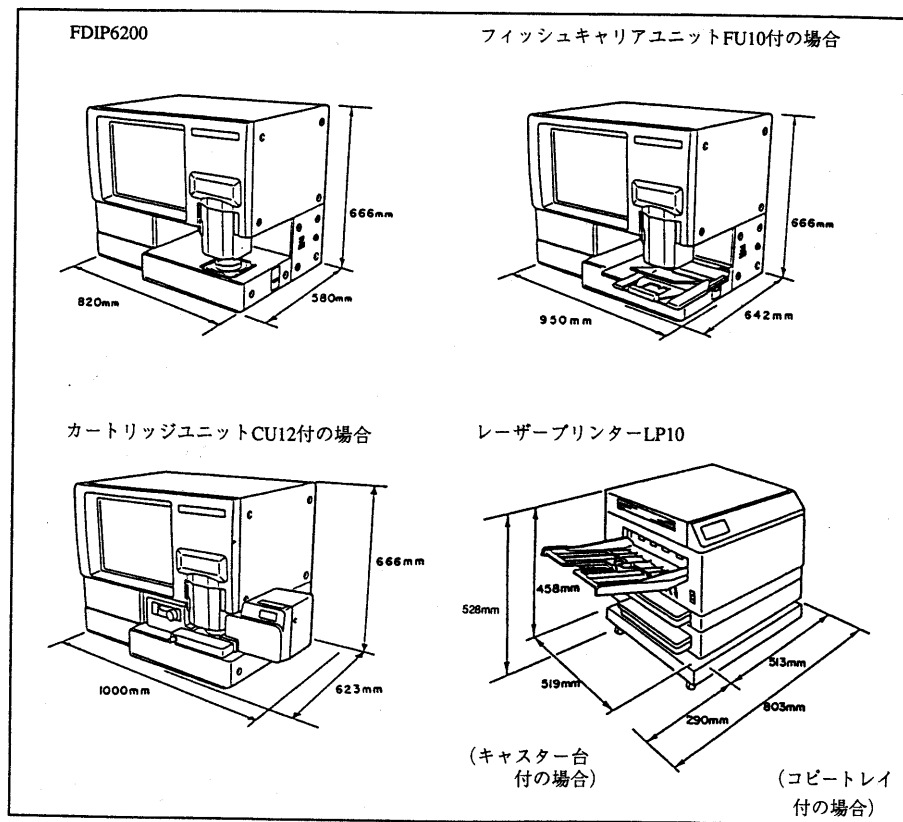
8.2 外形寸法・重量

■ 外形寸法

FDIP6200 : 高さ666×幅820×奥行580mm
 LP10 : 高さ458×幅519×奥行513mm
 (コピートレイとキャスター台を除く)

■ 重量

FDIP6200 : 75 kg
 LP10 : 49 kg



8.3 電源

■ 電源

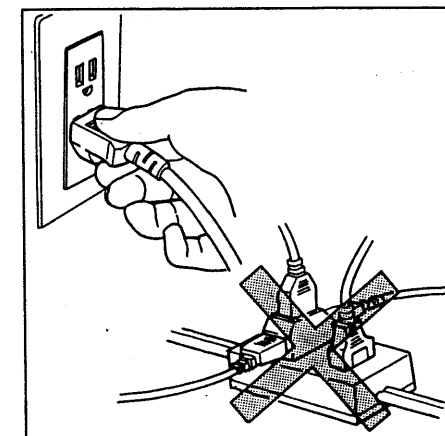
AC 100V $\pm 10\%$ 50-60Hz 共用
 消費電力はFDIP6200とLP10を合わせて最大1.7kWです。
 FDIP6200とLP10の電源は、必ずそれぞれ独立したコンセントをお使いください。

ご注意

電圧が90～110Vに保たれていないと、機械が正常に作動しない場合があります。また、電圧が90～110Vの範囲でも変動が激しいと、コピーの仕上がりが均一にならなかったり、鮮明なコピーがとれない場合があります。必ず、正常な電圧でお使いください。

ご注意

- ・ コピー中に電源がされると、1枚分ムダになる可能性があります。このようなトラブルを防ぐためにも、電源プラグは正しく配線されたアース付きの専用コンセントを使用し、電源プラグがコンセントから抜けないようにしてください。
- ・ また、タコ足配線はしないでください。
- ・ LP10から最後のコピーが排出されるまで電源スイッチをOFFにしないでください。



8.4 別売品

別売品には次の物があります。(消耗品は除きます。)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 投影レンズ 単倍レンズ | 7.5:1、 9:1、 10:1、 12:1、 15:1、 19:1、 22:1、 25:1、 29:1、
39:1、 44:1、 50:1 |
| ズームレンズ | 10:1～16:1、 20:1～28:1、 38:1～50:1 |
| 2. フィッシュユニット | FU10 |
| 3. 16mm カートリッジユニット | CU12 |
| 4. テンキーコントローラー | TC12 |
| 5. ロールユニット | RU10 |
| 6. オートストッカー | AS10 |
| 7. マイクロスキャナー
インターフェースユニット | MS10 |
| 8. プリズムユニット | |
| 9. FDIP専用デスク | |
| 10. ズームレンズ改造キット | |
| 11. RU10変換ケーブル (2種類) | |

8.4 別売品

■ 投影レンズの取り付け方

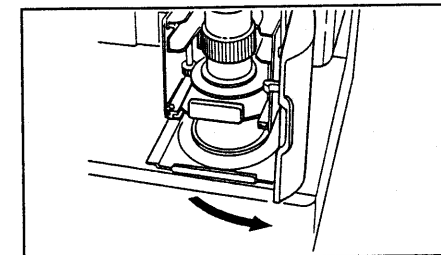
単倍レンズを交換したときは、投影レンズに合わせて照度を切り替えてください。

照度の切り替えは、キーボード上の **拡張機能** キーで「照度切換」を選び、表示されたTYPE番号を投影レンズに表示されたTYPE番号に合わせてください。

△ 注意

レンズホルダーやズームレンズの歯車リングを絶対に手でまわさないでください。スイッチの破損等故障の原因になります。

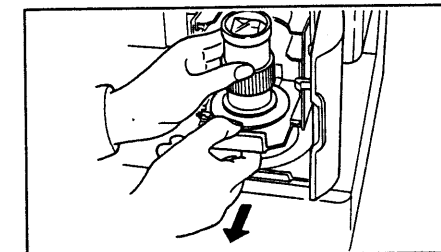
- 1 レンズカバーを開きます。



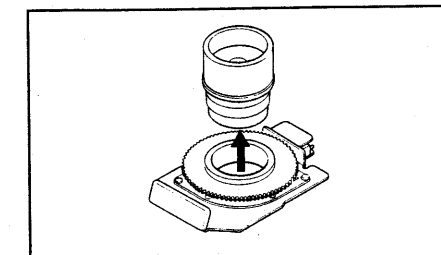
- 2 レンズホルダーの取手をつまみ、ゆっくりと引き出します。

△ ご注意

プリズムユニットが取り付けられているときは、プリズムユニットの鏡胴を手で支えながら、レンズホルダーを引き出してください。

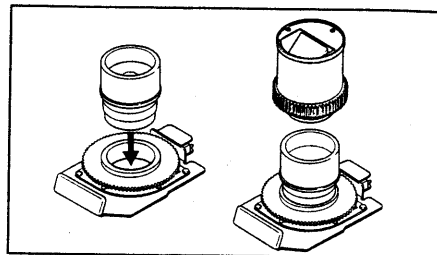


- 3 取り付けられている投影レンズをまっすぐ上に抜きます。

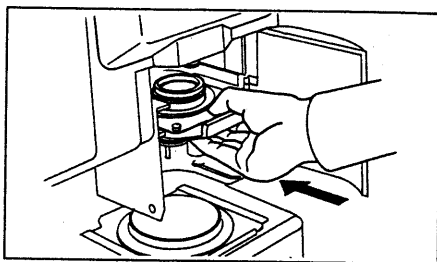


8.4 別売品

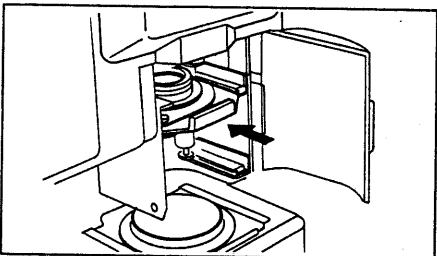
- 4 使用する投影レンズをレンズホルダーに差し込みます。
倍率表示が19:1以上の投影レンズにはプリズムユニットが使用できます。
プリズムユニットを使用するときは、投影レンズの上に差し込みます。
・使用する投影レンズに表示されたTYPE番号を確認してください。



- 5 レンズホルダーを差し込みます。
・倍率表示が7.5:1~12:1の投影レンズは、上段に差し込んでください。
・倍率表示が15:1~50:1の投影レンズとズームレンズは、下段に差し込んでください。



- 6 差し込んで止まったら、もう一度押してください。位置が決まります。



- 7 レンズカバーを閉じます。
レンズカバーが開いていると右のように表示されます。しっかり閉じて表示を消してください。
・単倍レンズのときは、投影レンズに合わせてスクリーンの照度を切り替えます。

レンズ カバー ラ
トシ テクタ サイ

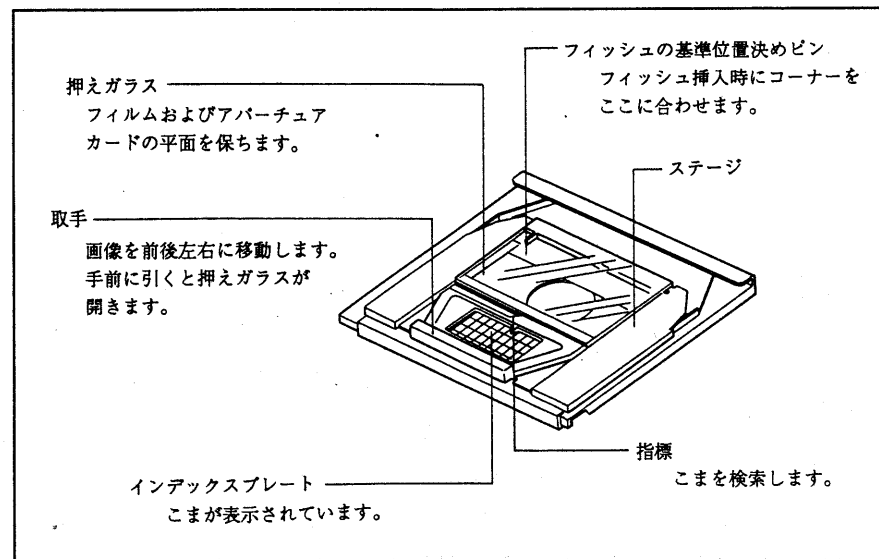
8.4 別売品

■ フィッシュユニットFU10

1. 製品仕様

使用フィルム	A6サイズマイクロフィッシュ、ジャケットフィルム
検索	タブカードサイズマイクロフィッシュ、アパーチャカード
スキャンニング	指標とインデックスプレートによる
ローテーション	縦: 100mm、横: 180mm
外形寸法	360°
重量	幅360×奥行330×高さ50mm
付属品	4.0kg
別売品	インデックスプレート
	(60F/98F、PRISM 60F/PRISM 98F、JACKET 60F/PRISM、JACKET 60F)
	インデックスプレート
	(60F/98F、PRISM 60F/PRISM 98F、JACKET 60F、PRISM/JACKET 60F、270F/208F、PRISM 270F/PRISM 208F)

2. 各部の名称

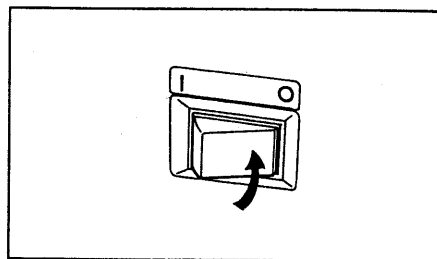


8.4 別売品

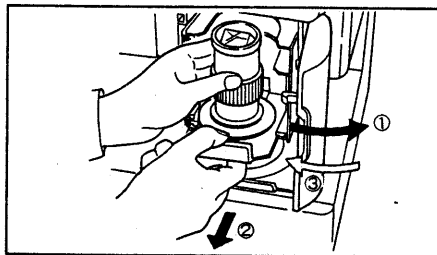
3. FDIP6200への取り付け、取り外し

次の手順は、すでにFDIP6200に他のユニットが取り付けられている場合の手順です。
FU10の取り付け、取り外しの場合は、操作1. 3. 4. 5を省略してください。

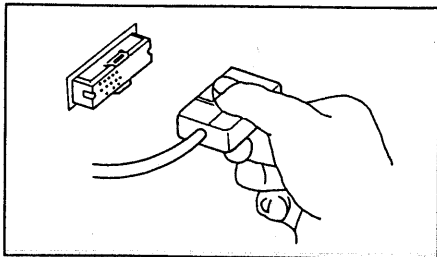
- 1 電源をスイッチOFFにします。
(「O」側に押します。)



- 2 レンズホルダーを抜きます。
19ページをご覧ください、レンズホルダーを抜きレンズカバーを閉じます。

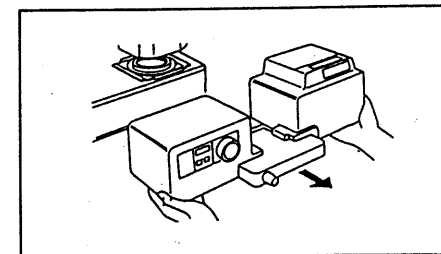


- 3 現在取り付けられているフィルムユニットのコネクターを外します。
CU12のコネクターは両側の金具を押さえながら抜きます。
RU10のコネクターは外側のリングを反時計方向に回してゆるめてから抜きます。

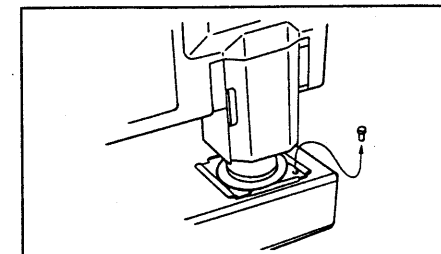


8.4 別売品

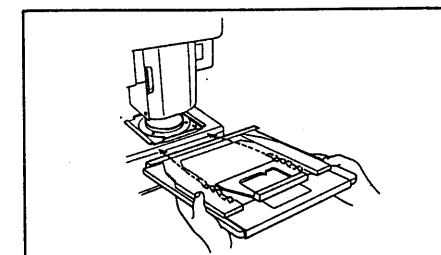
- 4 フィルムユニットを正面に向けて両手で持ち、まっすぐ手前に抜きます。



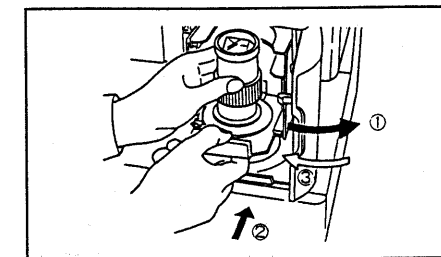
- 5 ユニット回転防止用ピンを取り外します。
・このピンを取り外さないと、画像の傾きを調整することができません。



- 6 FU10を取り付けます。
ユニット下側のレールをガイドレールに差し込み、止まるまで押し込みます。



- 7 レンズホルダーを取り付けます。
19ページをご覧ください、レンズホルダーを取り付けてください。

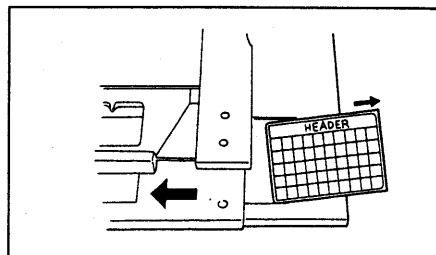


8.4 別売品

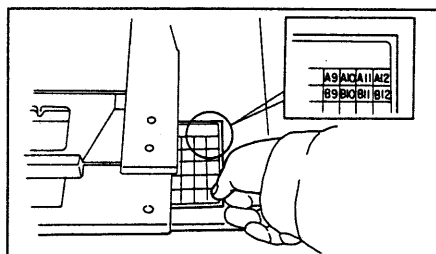
■ インデックスプレートの交換

インデックスプレートは、ご使用になるマイクロフィッシュのこま数に合ったものに交換してください。

- 1 取手を一番左に寄せて、インデックスプレートを取り出します。



- 2 インデックスプレートをステージの枠に入れます。
・数字が正しく見えるようにして入れてください。

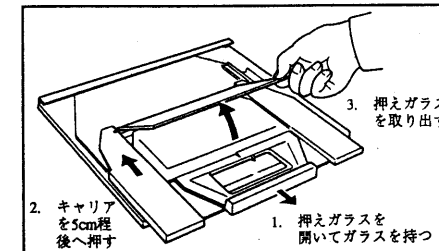


8.4 別売品

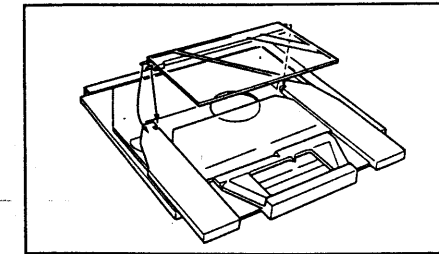
■ 押えガラスの清掃

押えガラス内側の汚れは、次のように上側押えガラスを外して清掃します。
清掃の前に、FU10をFDIP6200から外してください。
また、清掃用のクリーナークロスを用意してください。

- 1 押えガラスの取り外し
・ 押えガラスを開いて、ガラスの手前を持ちます。
・ そのまま取手を後ろへ5cm程押してから、押えガラスの手前を持ち上げながら後ろへずらして外します。
・ 上下の押えガラスを清掃します。



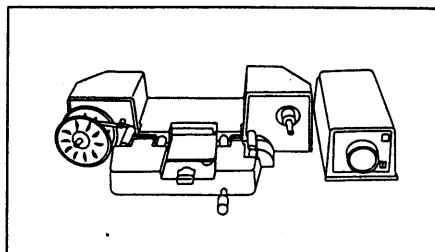
- 2 押えガラスの取り付け
・ 左右のピンをキャリアにはめます。
長いピンはキャリアの下に入れます。
短いピンはキャリアの溝に入れます。
・ 取手を手前に引いて、押えガラスが開くことを確かめてください。



8.4 別売品

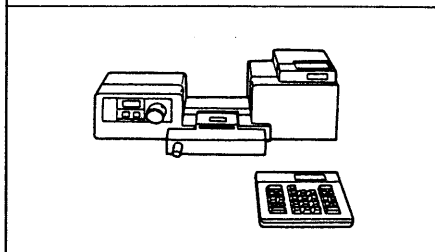
■ ロールユニットRU10

35mmロールフィルム、16mmロールフィルムの画像を検索します。



■ テンキーコントローラTC12

カートリッジの画像を、キーボードの操作で検索・コピーします。

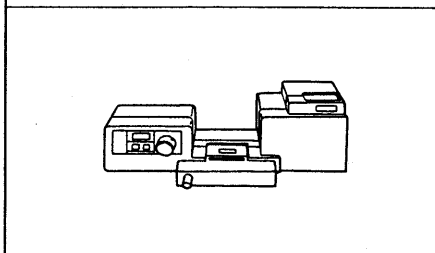


■ 16mmカートリッジユニットCU12

16mmカートリッジフィルムの画像を検索します。

* CU12を使用するときは、プリズムユニットを取り付けてください。

* これらのユニットの「使い方」については、各ユニットに付属の「使い方」をご覧ください。



■ FDIP専用デスク

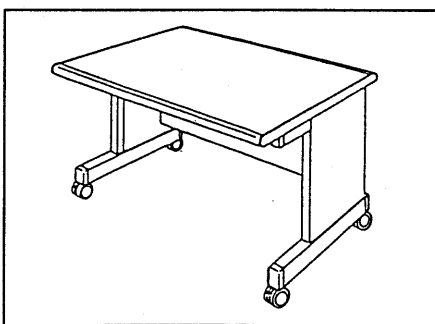
FDIP6200を載せる専用のデスクです。

外形寸法

高さ 680mm

幅 1200mm

奥行 800mm



8.5 FDIP6000をお使いの方に

FUJIXデジタルイメージプリンターFDIP6000をお使いの方に、システムの互換性についてご紹介します。

■ FDIP6000システムの機械をFDIP6200システムで使うとき

FDIP6000システム		FDIP6200システム
FDIP6000本体	× 使えません。	FDIP6200本体
LP10	○ 使えます。	LP10
FU10	○ 使えます。	FU10
RU10	△ 変換ケーブル (別売品) が必要です。	RU10
CU10	× 使えません。	CU12
TC10	× 使えません。	TC12
単倍レンズ	○ 使えます。	単倍レンズ
ズームレンズ (10:1~16:1, 20:1~28:1)	△ 改造が必要です。注1	ズームレンズ (10:1~16:1, 20:1~28:1)
ズームレンズ (38:1~50:1)	× 使えません。	ズームレンズ (38:1~50:1)
プリズムユニット	△ 改造が必要です。注1	プリズムユニット

注1: FDIP6000システムのズームレンズおよびプリズムユニットをFDIP6200システムで使うときは、改造が必要です。ただし、一度FDIP6200システム用に改造すると、FDIP6000システムでは使えなくなります。改造については、サービスマンまたは弊社営業担当までお問い合わせください。

8.5 FDIP6000をお使いの方に

■ FDIP6200システムの機械をFDIP6000システムで使うとき

FDIP6000システム		FDIP6200システム
FDIP6000本体	← × 使えません。	FDIP6200本体
LP10	← ○ 使えます。	LP10
FU10	← ○ 使えます。	FU10
RU10	← △ 変換ケーブル (別売品) が必要です。	RU10
CU10	← × 使えません。	CU12
TC10	← × 使えません。	TC12
単倍レンズ	← ○ 使えます。	単倍レンズ
ズームレンズ (10:1~16:1, 20:1~28:1)	← × 使えません。	ズームレンズ (10:1~16:1, 20:1~28:1)
ズームレンズ (38:1~50:1)	← × 使えません。	ズームレンズ (38:1~50:1)
プリズムユニット	← × 使えません。	プリズムユニット

8.6 製品仕様

形 式	ユニバーサルタイプデジタルリーダープリンター
使 用 フ ィ ル ム	各ユニット交換による FU10使用時: マイクロフィッシュ、ジャケットフィルム、アパーチュアカード RU10使用時: 35mm/16mmロールフィルム (オープンリール) CU12使用時: 16mmカートリッジフィルム (JISタイプ専用)
リ ー ダ ー 部	透過形スクリーン300×420mm (A3サイズ) オート/マニュアルフォーカス
ス ク リ ー ン	単倍レンズ 7.5:1, 9:1, 10:1, 12:1, 15:1, 19:1, 22:1, 25:1, 29:1, 39:1, 44:1, 50:1
焦 点 調 整 方 式	ズームレンズ 10:1~16:1ズームレンズ, 20:1~28:1ズームレンズ 38:1~50:1ズームレンズ
レ ン ズ 倍 率	電動ズーム変倍 (ズームレンズ使用時) マニュアル交換 ① 電動プリズムローテーション (360°) 19:1以上のレンズにプリズムユニットを取り付けたときに可能 ② ユニットローテーション (180°) FU10, RU10使用時 24V 150W専用ハロゲンランプ
変 倍 機 能	CCDラインセンサーによるデジタルスキャニング方式 400dpi (16ドット/mm相当) ネガ/ポジ両極性、自動極性判別機能付
レ ン ズ 交 換	AE/AEロック/マニュアル 標準/文字写真/写真 (64階調) /黒地
像 回 転	① 電子ズーム (50~200%) ② トリミング ③ マスキング ④ 自動黒枠消し ⑤ 自動傾き補正機能
投 影 ラ ン プ	① ページ連写 ② 自動用紙選択 ③ コピー位置指定 ④ コピー倍率計算
ス キ ャ ナ ー 部	4種類まで登録可能 随時変更可能 スクリーンの左と下に5mm間隔で配置されたLEDが点灯
画 像 読 み 取 り 方 式	レーザービームプリント (間接静電写真方式)
読 み 取 り 解 像 力	400dpi
フ ィ ル ム 極 性	A3 (横)、A4 (縦・横)、B4 (横)、B5 (横) ()内の縦横はスクリーン上のイメージ
露 光 調 整 方 式	FUJI FILM PPCペーパーまたは普通紙 (64g/m ²)
画 質 モ ー ド	上下2段のカセットによる自動給紙
画 像 操 作 機 能	250枚収納可能 1~99枚
コ ピ ー 補 助 機 能	
コ ピ ー 操 作 登 録 機 能	
読 み 取 り 範 囲 表 示	
プ リ ン タ ー 部	
コ ピ ー 方 式	
記 録 密 度	
コ ピ ー サ イ ズ	
コ ピ ー 用 紙	
給 紙 方 式	
給 紙 カ セ ャ ッ ト	
連 続 コ ピ ー 枚 数	

8.6 製品仕様

ウォームアップ時間	70秒以内
ファーストコピー時間	20秒以内／A4縦（スタンバイ時） 11.5秒以内／A4縦（前回コピーより3分以内）
コピースピード	A4で14枚／分（連続コピー時）
使用環境	
室温	15～30℃
湿度	30～80%RH（結露しないこと）
周囲の明るさ	スクリーン部で1000lux以下 スクリーンへの直射光は避けること
大きさ・重量	FDIP6200：高666×幅820×奥行580mm 75kg LP10：高458×幅519×奥行513mm（コピートレイとキャスター台を除く） 49kg
電源・消費電力	AC100V±10V 50,60Hz共用 FDIP6200：0.5kw LP10：1.2kw 計1.7kw
付属品	レンズホルダー 1 プリンター接続ケーブル 1 ユニット回転防止ピン 1 使い方 1式 保証書
別売品・オプション	フィッシュユニット FU10 16mmカートリッジユニット CU12 テンキーコントローラー TC12 ロールユニット RU10 オートストッカー AS10 マイクロスキャナー インターフェースユニット MS10 単倍レンズおよびズームレンズ プリズムユニット FDIP専用アスク ズームレンズ改造キット RU10変換ケーブル（2種類）
消耗品	投影ランプ 24V 150Wハロゲンランプ 商品番号 122T13-0713 FUJIFILM PPCペーパー FUJIX LP10トナー

*仕様、外観および表示は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。